

特70
467

國會ニ對スル勅諭及教書集

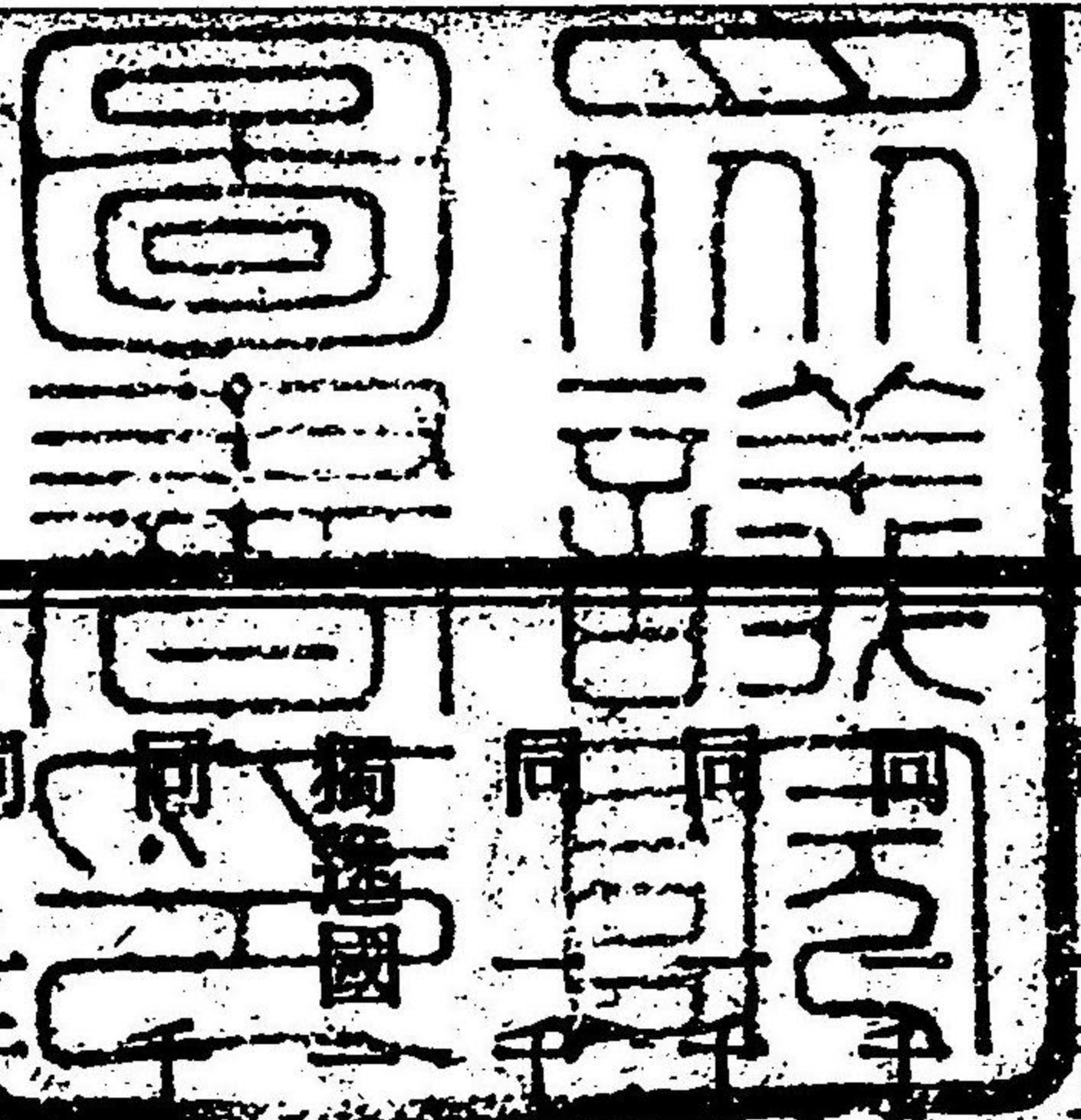
明治二十三年五月印刷
禁販賣

臨時帝國議會事務局

國會ニ對スル敕諭及教書集

目 録

英國一千八百八十六年六月二十五日閉會ノ敕諭	一
同 一千八百八十六年八月十九日開會ノ敕諭	三
同 一千八百八十六年九月二十五日閉會ノ敕諭	三
同 一千八百八十七年九月十六日閉會ノ敕諭	五
同 一千八百八十八年二月九日開會ノ敕諭	七
同 一千八百八十八年十二月二十四日閉會ノ敕諭	九
同 一千八百八十九年二月二十一日開會ノ敕諭	一一
同 一千八百八十九年八月三十日閉會ノ敕諭	一三
同 一千八百九十年二月十一日開會ノ敕諭	一五
獨逸國一千八百八十八年六月二十五日開會ノ敕諭	一七
同 一千八百八十八年六月二十六日奉答書	一九
同 一千八百八十八年十一月二十二日開會ノ敕諭	二二
同 一千八百八十九年十月二十二日開會式並ニ敕諭	二五



普瀟生國一千八百五十年開會ノ敕諭
 同 一千八百八十年六月二十七日開會ノ敕諭
 同 一千八百八十六年一月十四日開會ノ敕諭
 同 一千八百八十八年一月十四日開會ノ敕諭
 米國一千八百八十七年十二月六日ノ敕書
 同 一千八百八十八年十二月三日ノ敕書
 同 一千八百八十九年十二月三日ノ敕書
 伊國一千八百八十九年一月二十八日開會ノ敕諭
 瑞典國一千八百八十五年一月十九日開會ノ敕諭
 和蘭國一千八百八十八年九月十八日開會ノ敕諭

二九丁
 三三丁
 三七丁
 四〇丁
 四三丁
 五四丁
 八五丁
 一〇三丁
 一〇六丁
 一〇八丁

國會ニ對スル敕諭及敕書集

一千八百八十六年六月廿五日女皇ノ敕語

赤司新三郎譯

貴族諸卿及縉紳諸士

朕ハ現國會既定ノ議事未タ其完成ヲ告ケサルニ先チ今ヤ卿等至高ノ責ヲ釋カントス是レ愛蘭ノ處
 理ヲ帝國政務ノ外ニ置キ愛蘭ニ一ノ立法體ヲ設ケントスル緊要ノ發議ニ付キ臣民ノ感情如何ヲ審
 カニセンカ爲メナリ

朕ハ此ノ目的ヲ以テ直ニ現國會ヲ解散セントス

朕尙幸ニ諸外國ト最モ親密ナル關係ヲ保續ス

バルガリヤニ對スルサーヴィヤノ挑戰モ諸強國ノ調停ト土帝ノ忍容トニ依リテ遂ニ假武ノ局ヲ結
 ヘリ又希臘政府モ平和調停ノ策ヲ用ヒ命ヲ下シテ解隊ノ處置ニ出テタルヲ以テ歐洲東部ノ平和モ
 復タ破ル、ノ憂ナキニ至レリ朕カ之ヲ諸卿ニ報スルノ幸運ニ遭過セシハ喜悅ニ堪ヘサル處ナリ
 埃及ニ於ケル政務ノ形勢ハ大ニ其歩ヲ進メタリ朕ハ武ヲ其國ニ用井ルノ必要ナク軍ヲ收メテ埃及
 本州ノ南境ニ屯セシムルヲ得ルニ至レリ

朕ハ西班牙政府ト一ノ規約ヲ訂結セリ若シ該國ノ國會ニシテ之ニ贊同セハ兩國間商業上ノ交通ヲ
 頻繁ニシ殖民地酒精ノ輸入ヲ盛大ニスルニ至ルハ朕ノ確信スル所ナリ

斯ノ首府ニ開設シタル殖民地及印度領ノ物産、製造品、及美術品ノ博覽會ハ朕喜テ之ヲ獎勵セント
 ス是レ帝國各部ヲ合同シテ一視同仁ノ感アラシメ大ニ相感應スルノ情ヲ惹起振興スルノ具タルヲ

信ス

庶民院ノ縉紳諸士

次ノ國會ニ於テ歳費ノ全額ヲ議定スルハ尙日子ヲ要スルヲ以テ其間ニ起ル公務ノ緊急ニ應スル爲メ諸士カ特ニ寛容ノ供給ヲ與ヘタルハ朕深ク之ヲ謝ス

貴族諸卿及縉紳諸士

山國ノ牧畜者ニ關スル法律修正ノ法案、及醫業上至要ノ改善ヲナサントスル法案、及小兒ノ懲治及後見ニ關スル法律修正ノ法案ハ、朕既ニ之ヲ裁可セリ

斯ノ國チシテバーンニ於テ調印セントスル協議會カ既ニ審議ヲ遂ケタル國際的版權同盟ニ加入セシメシカ爲メ國際的版權ニ關スル法律ヲ變更セントスル法案ハ朕既ニ之ヲ嘉納セリ此ノ法案ハ殖民地及印度ノ學者ヲシテ版權ノ利ヲ享有セシメ版權ニ關シテ朕カ領土ノ各部ヲ平一ニ歸セシムルモノナリ

最後ニ一言スヘキコアリ新ニ開カントスル國會ハ朕カ人民ノ平穩、福祉、安泰ヲ増進シ帝國ノ實力、結合ヲ鞏固ニスルノ方針ヲ執ランコト朕ノ切ニ希望スル所ナリ

是ニ於テ國會停會ノ令狀ヲ朗讀ス次ニ大法官曰ク

貴族諸卿及縉紳諸士

余輩及他ノ諸卿ニ向テ今朝讀セラレタル女皇陛下ノ鈐璽令狀ニ依リテ余輩ハ女皇陛下ノ敕命ヲ遵奉シ女皇陛下ノ御名ヲ以テ現國會ヲ來ル七月十五日即チ木曜日マテ停會シ其日ヲ以テ復タ茲ニ會議スヘシ故ニ現國會ハ來ル七月十五日即チ木曜日マテ停會スルモノナリ

一千八百八十六年八月十九日女皇ノ敕語

麻生繁雄譯

朕カ諸卿及諸士

朕今緊急ナル事務ヲ整理センカ爲メ臨時ニ爾等ヲ召集シテ茲ニ會同セシム

前國會ノ開期ハ本年度ニ於ケル通常ノ議事ヲ完結スルニ至ラスコト停止シタルハ愛爾蘭土ノ政務ニ關シタル肝要ノ諸議題ニ就キ之ヲ朕カ臣民ノ感情ニ訴ヘ其意見ヲ採ランカ爲ナリキ而シテ其歸着スル所ハ以テ前會ノ決議ヲ確固ナラシメタリ

前會ノ議定セル本年度ノ公共負擔ニ關スヘキ條件ハ一時應急ノ性質ヲ有スルヲ以テ今ヤ財政上必要ノ法案ヲ審議ニ附スルコト更ニ之ヲ延期スル能ハサルノ場合ニ至レリ

朕カ下議院ノ諸士

今爾等ニ附スヘキ豫算案ハ既ニ前國會ニ之ヲ提出シ其一部分ハ議了セラレタルモノナリ

朕カ諸卿及諸士

今ヤ休會ノ時期ニ際シ殊ニ爾等多クハ繼續ノ事務及特別ノ勤勞ニ從事シタル後ナレハ朕ハ本會計年度ノ殘期ニ當リ國務ヲ掌理スルニ必要缺ク可カラサルノ處分ヲ諮詢ニ付スルノ外其他ハ盡ク之ヲ止メタリ朕ハ信ス爾等慎重ヲ旨トシ速ニ審議ヲ盡サンコトヲ

一千八百八十六年九月二十五日國會兩議院ニ對シテ勅使カ演シタル女皇ノ敕語

貴族諸卿及縉紳諸士

朕ハ御等至難ノ責ヲ釋クニ至リタルヲ悦ブ
諸外國トノ關涉ハ増々親密ナリ

バルカリヤ軍一部ノ背反ハアレキサンダー王ノ讓位トナリ、攝政政體ヲ組織シテ、該國ノ諸政ヲ司
リ、伯林條約ノ條項ニ遵由シテ、諸位推選ノ準備中ナリ、

朕ハ夫ノ條約ニ調印シタル諸強國ニ對シ、土廷カ陳說シタル通信ニ答ヘテ、斯ノ邦ノ關係ヲ有スル
點ニ付キテハ、該條約ヲ以テバルカリヤニ附與シタル條件ニ違背アルヘカラスト申言セリ、諸強國
モ亦同様ノ保確ヲナセリ

アフガニスタン境界ノ檢定ハ、既ニオクサス河敷哩ノ内ニ進メリ、嚴冬ノ近邇ニ來リタルヲ以テ、
其任ヲ釋クノ命ヲ下セリ、然レトモ已ニ還リ報シタル所ノモノハ、兩朝廷間ノ直接ナル商議ニ依
リテ、未タ檢定ヲ經サル境界ノ確定ヲ見ルニ充分ナルヘシ

朕ハ御等カ公事ノ需要ニ應スル供給ヲ協賛シテ、之ヲ決議シタルヲ謝ス
貴族諸卿及縉紳諸士

朕ハ愛蘭ニ於ケル土地ノ貸借買賣ニ關スル曩日ノ條例ヲ豫行スルヲ防カントスル事情調査ノ命ヲ
下スヘキ指令ヲナセリ

朕ハ斯ノ邦人民カ殖民地及印度ニ於ケル其同胞ノ福祉ヲ增進セントカメタルヲ嘉ス且ツ帝國諸邦
ノ人民ヲ總合スルノ繩緒ヲ糾結スルノ望多キハ朕カ欣喜ニ堪ヘサル所ナリ朕已ニ共同ノ福利ヲ充
分ニ審議スルノ目的ヲ以テ諸殖民政府ト商議通信スルコトヲ許セリ

朕ハ天神ノ餘惠、御等ヲ纏附センコトヲ祈ル

次ニ國會停止ノ令狀ヲ朗讀シ

次ニ大法官曰ク

貴族諸卿及縉紳諸士

余輩及他ノ諸卿ニ向テ今朝讀セラレタル女皇陛下ノ鈐璽令狀ニ依リテ余輩ハ陛下ノ命令ヲ遵奉シ
女皇陛下ノ御名ヲ以テ現國會ヲ來ル十一月十一日即チ木曜日マテ停會シ其日ヲ以テ復タ茲ニ開會
スヘシ故ニ現國會ハ來ル十一月十一日即チ木曜日マテ停會スルモノナリ

千八百八十七年九月十六日英國議院閉會ニ同女皇ノ勅諭

貴族及ヒ縉士各位

朕ト諸外國トノ關係ハ依然トシテ友誼ヲ保有ス

亞非業斯坦ノ北境ヲ劃定セシカ爲メ其疆界線ニ關シ露西亞皇帝ト朕トノ間ニ開キタル商議ハ荏苒
歲月ヲ經過シ終ニ満足ニ屆リ且ツアミールハ容易ニ英露兩國ノ劃定セル境界ヲ肯諾セリ
驚クハ該條約ハ能ク中央亞細亞ニ於ケル永久ノ平和ヲ維持スルニ與リテ大ニカアラフコトヲ

支那、緬甸兩國間ノ關係ニ屬スル大不列顛及ヒ支那間ノ條約ハ已ニ批准ヲ了シタリ抑モ緬甸國一
般ノ鎮靜ハ本年中ニ其奏功ニ至ラントハ朕カ固ク信スル所タル旨曾テ明言セシニ今ヤ其果シテ然
ルヲ見ル、且ツ其施政ノ基礎ヲ確定シテ漸次政令ヲ邊陲ノ地ニ及ホスニ至レリ

朕ハ土耳其皇帝ト一ノ條約ヲ締結シ之ニ依テ在埃及ノ我軍隊ヲ撤去スヘキ期限ヲ規定セントセリ

然レトモ土耳其皇帝ハ該條約ヲ批准セス之ニ因テ朕ハ埃及國主宰及ヒ其ノ臣民ニ對シ盡スヘキノ義務アルヲ以テ朕カ彼國ニ對スル處置ハ依然トシテ更ニ淪ハルコトナシ抑モ我軍ノ該國ニ屯駐スルハ以テ能ク其ノ安寧ヲ保護シ又能ク朕ヲシテケヂーヴノ銳意治ヲ圖カリ國民ノ繁榮ヲ増進スルノ政務ヲ幫助スルヲ得セシメタリ

過般以來英米兩國間ノ商議ニ係レル北米漁業ノ難問題ハ之ヲ兩國共同委員ニ附スルコトニ合衆國大統領ト協議セリ

茲ニ當府ニ於ケル我諸殖民地代表者ノ第一回ノ會同ヲ報告スルハ朕カ殊ニ満足ノ感ヲ有スル所ナリ蓋シ該會ノ審議セル所ハ委員ノ代表セル各地方ニ取リテ重大ナル實際ノ利害ニ關スル事件多ク且ツ其ノ審議中各員同心協力ノ精神ヲ表セルヲ以テ我帝國ノ各部ヲ合同一致セシムル所以ノ親愛ノ情ヲシテ愈々鞏固ナラシムヘキハ朕カ信シテ疑ハサルトコロナリ

庶民院諸士各位

各位カ國事ノ需要ニ對シテ贏裕ナル費額ヲ備ヘタルハ朕カ謝スル所ナリ

貴族及ヒ紳士各位

我國一般ノ商工業上ノ景況ハ數年間甚シク沈滞セルモ今ヤ恢復ノ緒ニ就キタルナラント冀望スルノ根據ハ一ニシテ足ラスト雖モ農業社會ニ在リテハ多クハ仍ホ依然トシテ毫モ其ノ艱苦ヲ減殺スルニ至ラサル旨ヲ述フルハ朕カ深ク悲シム所ナリ

愛耳蘭ニ對スル施政ノ方策及ヒ其ノ困難ハ遷延セル開會期限中各位ノ綿密ナル注意ヲ勞シタリ朕ハ賢明ナル各位カ設ケタル救濟法ノ能ク漸々該國ノ秩序ヲ全ク恢復スルニ至リ且ツ平和ノ氣象ト與ニ工業上ノ人氣モ新ニ勇進スヘキヲ信ス而シテ該救濟法ヲ議決センカ爲メ自然合衆王國ノ自餘ノ部分ニ關シ數多ノ重要ナル議事ヲ延期スルノ必要アリタルモ次期ニ於テハ各位カ再ヒ該議事ヲ

提起スルニ障礙ナカルヘキハ朕カ疑ハサル所ナリ

土地配賦ヲ要スル地方ニ施コス法律ニ對シ朕ハ喜テ裁可ヲ與ヘタリ朕冀クハ之ニ依テ該配賦法ノ容易ニ實行ニ至ランコトヲ

又採鑛ニ從事シテ勉勵ナル數萬ノ人民ノ安全繁榮ヲ一層充分ニ保護スヘキ法律竝ニ商品ノ徵號ニ關スル詳僞ノ行爲ハ我貿易及ヒ通商上ノ名聲ニ大害ヲ來タスヘキヲ以テ當ニ之ヲ防遏スヘキ法律モ亦朕之ヲ裁可セリ又蘇格蘭ニ於テハ其治罪法ノ繁ク省キ之ニ改良ヲ加ヘ且ツ蘇格蘭尙書ノ顯職ニハ一層ノ重キヲ加ヘ以テ其實力ヲ附センコトヲ希圖スルナリ

本年ハ恰モ朕カ踐位ノ第五十年期ニ方リ全帝國ノ朕カ臣民ニ取リテ靄然タル忠愛ノ意ヲ表明スルノ機會ニシテ右ノ表明ハ深ク朕ヲ感動セリ又朕カ臣民ヨリ朕ニ致セシ濃厚ナル親愛ノ憑證ハ敦ク朕カ嘉納スル所ナリ茲ニ上帝カ朕及ヒ我國ニ降セル福祉ヲ拜謝シ朕願クハ天佑ヲ享ケ以テ永ク此忠愛ニシテ一致結合シタル國民ニ君臨スルヲ得ン

千八百八十八年二月九日英國議院開會ノ期同女皇ノ敕語

貴族及紳士諸君

現今海外諸國カ朕ニ對シ友愛ノ衷情ヲ表彰シ宇内ノ泰平ヲ維持セントノ冀望ヲ吐露スルコト依然トシテ故ノ如シ客年ノ條約ノ約款ニ依準シテ朕ノ官吏ト露西亞帝ノ官吏ハ亞非干ノ疆界線ヲ協議劃定セリ茲ニ其結了スル所トナリシ事業ハ將來亞細亞屬地ニ關シテ兩國間ニ誤解ノ生スルコトヲ塞クノ功ヲ奏セルナラント朕之ヲ信スルナリ

亞比西尼亞王ノ伊太利ト干戈ヲ交フルコトヲ説破シ以テ流血ノ慘毒ヲ遏止セント欲シ使臣ヲ派シテ之ヲ試ミシカ不幸ニシテ其功ヲ全クセザリシハ朕カ大ニ遺憾トスル所ナリ
 加那陀ト合衆國トノ間ニ生ゼシ疑問ヲ調和センカ爲華盛頓ニ會合セル會議ノ商議ハ今仍ホ繼續セリ

蘇西運河ノ規則ニ關シテ千八百八十五年ニ開キシ商議ハ朕ト佛蘭西共和國トノ間ニ意見ヲ異ニセシ諸點ヲ調和スル迄ニ至レリ
 新彼貌利特群島ニ於ケル生命及ヒ財産ヲ保護スルニ朕ト佛蘭西共和國ト雙方ノ海軍委員ヲ以テセシコトヲ結約セリ

客秋砂糖製造業ニ關シ利害ヲ共ニスル各國ノ委員ヲ龍動ニ招キ以テ有害ナル恩典ノ方法ヲ廢止スルノ方案ヲ審議セシメタリ該委員ノ事務大ニ進歩シテ満足ナル結約ヲ議定スルニ近ツキタリ
 下院ノ議員諸君

諸君ニ下附スル所ノ本年ノ歳費豫算ハ經濟ヲ主トシテ之ヲ調製セリ而シテ朕諸君ニ要求スルモノハ朕カ帝國ノ港口及石炭貯藏所ノ防禦ヲ改良スルニ必要ナル設備ヲ爲スニ在リ是レ軍學進歩上ヨリテ其焦眉ノ急タルコトヲ感スルニ因ルヲ以テナリ又濠太利海岸防禦ノ爲メ特別艦隊ヲ置クノ設備ヲ翼賛セラレンコトヲ希望ス其入費ノ幾分ハ該殖民地之ヲ負擔スヘシ(外務省注 過日英國ノ陸軍大臣ハ一千六百萬磅ノ軍備豫算ヲ下院ニ提出シタリ蓋シ本文ノ趣意ヲ實施スルカ爲メナルヘシ)
 貴族及ヒ紳士諸君
 前會ニ於テ頗ル諸君ヲ煩ハシテ愛蘭ノ爲メニ議決セル條例ハ爾後經過セル期限中ニ之ヲ實施スルコトヲ勸メタリ

此法制ノ結果ハ之ヲ試ムルノ日猶ホ淺シト雖満足ナルモノナリ蓋シ地主ト小作人トノ關係ヨリ生タル犯罪減少シ強迫結黨ノ勢力モ亦鎮靜ニ歸セリ又愛蘭ノ富源ヲ開發シ耕地所有者ノ數ヲ増加スルニ便ナル條例ハ之ヲ他日諸君ノ討議ニ附セントス
 英蘭ニ於ル地方制度ニ關シ諸君ノ注意ヲ喚起スル所アラントス而シテ本件ニ關スル條例ハ地方及ヒ中央ノ財政上ノ關係ヲ整理シ且ツ現今納稅者ノ負擔ヲ輕クスルノ發案ト共ニ諸君ノ審議ニ附セントス

商業ノ前途大ニ望ヲ屬スヘキモノ一ニシテ足ラス過ル數年間朕カ能ク之ヲ假舉セルノ比ニアラサルナリ農業ノ情況ニ於テハ商業ニ對應スヘキ進歩ノ認ムヘキ無キハ朕ノ大ニ憂ヘル所ナリ朕此業ノ利害ヲ擧ケテ諸君ノ深思熟考ニ委シ以テ其ノ困難ニ陷レルヲ救フノ方法ヲ發見センコトヲ望ム
 土地賣買ノ費用ヲ輕減シ十分一借地料徵收法ヲ改メ工業教育ヲ増進シ鐵道會社ニ於テ運輸賃ヲ收ムルニ外國及ヒ內國產物ニ對シ不當ノ選擇ヲナスヲ禁シ有限責任ノ名義ヲ以テ會社ヲ組織スルノ弊害ヲ除去シ災害ノ生ゼシ時雇主ノ責任ニ關スル法律ヲ修正スルコト等ニ關スル議案ヲ諸君ノ審議ニ附セントス
 蘇格蘭ノ各大學校ヲ改良シ又蘭國ニ於ケル市邑警察ヲ規定スルノ方案竝ニ私事ニ關スル議案ニ係ル入費節減ノ方案ヲ諸君ノ審議ニ附スヘシ
 右ノ諸項及ヒ朕ノ臣民ノ幸福ヲ増進センカ爲メ諸君ノ黽勉從事スヘキ所ニ於テ朕願クハ諸君上帝ノ指揮ヲ仰キテ進退センコトヲ

千八百八十八年十二月廿四日ヨリ廿二年一月三十一日迄閉會シタルトキノ英國議院ニ對

上院諸卿及下院諸子

朕ハ今汝等ヲシテ多ハ罷勉ノ勞ヲ解カシムルコトヲ得大ニ満足ヲ覺ユ
朕ト諸外國トノ交ハ依然友睦ノ情誼ヲ存セリ

北米海漁業ニ關シテ起リシ問題ヲ裁制センカ爲メ朕カ合衆國大統領ト訂定セシトコロノ條約ノ該
國憲法ニテ批准ノ權限ヲ附與セラレタル上議院ニテ可決ヲ受クルニ至ラザリシハ朕ノ遺憾トスル
所ナリ然レトモ假リニ極メシトコロノ權宜ノ法亦タ以テ右否決ノタメ直チニ生スルトコロノ不便
ヲ防クニ足ルヘシト信ス
砂糖輸出產出國ヨリ臨會セシメタル代表者ノ同意ヲ得保護金全廢ノ約ヲ成スニ至リ満足ナル結果
ヲ得タリ

頃日スーダンハカスアキンノ港口ヲ占有セント企テシタメ埃及ヲシテ鞏固ノ邦タラシメ亦タ其財
政ヲシテ安全ノ地ニ置カシメントスル經畫ニ障礙ヲ受ケタレトモ埃及兵ハ英軍ノ援助ヲ得攻戰其
宜ヲ制シ以テ圍群ヲ潰散セリ其他ニ於テハ埃及行政上竝理財上ノ改進共ニ満足ナル跡ヲ著ハセリ
ザンズイバー王域ノ大陸ニ屬スル一部ニ於テ騷亂ヲ生シ該沿海ニ居住スル獨國人ノ生命財產ニ言
フヘカラサルノ損害ヲ加ヘタリ目下不幸ニモアフリカ諸方ニテ己ニ其萌芽ヲ顯ハシタル如ク奴隸
販賣再燃ノ勢アルハ主トシテ此擾亂ニ基キシコト明ラカナリ是ヲ以テ朕ハ惟タニ奴隸ノ輸出ノミ
オラス兵器ノ輸入ヲ防カンカタメ日耳曼皇帝ト匡合シテ亂地ノ沿海ニ海軍ヲ以テ封港ヲ施サシメ
タリ
朕カ印度疆域ハ去年中一般ニ靜謐隆盛ナリブラツク、マウンテン接近ノ地及スキイム邊界ニ於テ

不穩ノ警アリシモ難ナク其終ヲ告ゲタリ又アフガニスタンニ於テイシャク汗カ起セシ不軌ノ舉モ
一時ハ驚クヘキ蔓延ニ及ヒシカ遂ニアフガシ王師ヲ以テ威ク之ヲ征服セリ
或ズールー首長等カ起セシ寇亂ハ始メヨリ土人ノ心ヲ得タル舉ニ非サルコトヲ知リシカ遂ニ朕カ
兵旅ト土兵トヲ以テ之ヲ鎮壓シ右凶舉ニ連累セシ酋長等ハ現ニ特別委員ノ審問ヲ待テリ

下院諸子
朕ハ汝等カ國用ノ爲メ充分ナル帑項ヲ供セシコトヲ謝ス而シテ汝等カ可決セシ理材上ノ方案ハ爲
メニ全國ノ負擔ヲ加重セシテ以テ能ク國入ノ源ヲ増スニ足ルヘキコトヲ冀望ス

上院諸卿及下院諸子
汝等カイングリランド地方制度ノ機關ヲ改良シ其職權ヲ擴張セントノ目的ヲ以テ議決セシ方案ハ朕
ノ臣民ヲシテ其制度ニ服スルノ意ヲ多カラシメントスルノ見ニ出ツレハ朕ハ汝等ノ各地方ニ於テ
善ク其釐革ヲ行フコトヲ得且ツ此外凡ヘテ汝等カ任ニ膺リ職ヲ理スルニ當リテ萬能ナル上帝ノ福
祉ヲ垂レ玉フコトヲ祈望ス

千八百八十九年二月廿一日英國議院開會ノ期同女皇ノ敕語

日々新聞

上院諸卿及下院諸子

前會ノ終ヨリ以來今日ニ至ルマテノ間一トシテ朕ト諸外國トノ間ニ存スル親密ナル交誼ヲ障礙ス
ヘキ事件ノ起リシモノナシ

前回ノ議事延期ニ先タツコト數日平定ヲ告ケシ埃及ニ於ケル勦討處分ハ其目的ヲ達スルニ至レリ

而テ朕ハスアキン近傍ニ騷擾ノ再起スヘキ懸念ヲ有セス
朕カシツキム地方ニ有スルトコロノ權理ヲ干犯セラレシコトヲ防クカタメ西藏管轄者ニ向テ開カ
シメタル談判ハ未タ好局ヲ結フニ至ラスト雖モ亦タ更ニ干戈ノ處分ヲ要スルコトナキヲ期セリ
朕ハ先キニワシントンニテ開キシ會議ノ續トシテサモア事件ニ關シベルリンニテ開設ノ日耳曼及
合衆國ノ會議ニ加入スルコトヲ肯諾セリ

下院諸子

本年度ノ國用豫算ヲ爾等ニ示スヘシ他歐洲諸國ニテ軍事準備ノ爲メ陸續公帑ヲ支出スルヲ以テ我
海岸及我貿易ノ安全ヲ保ツタメ從來經營スルトコロノ豫防ニ一層ノ増張ヲ必要トス他諸國カ各々
因テ以テ其方向ヲ定メ且ツ其強大ナル兵力ヲ自由ニ使用スルコトヲ得ヘキ公議國論ハ現ニ咸ク當
國ニ對シテ友厚ノ意ヲ表スルトイヘトモ朕ハ此情況ニ必ス變象顯ハサハルヘシト保證スルコト能
ハス

上院諸卿及下院諸子

イングランド及ウエールスノ地方制度ノ改正ニ關スル議案ノ幾部分ハ去年爾等ニ下附セシモ議事
ノ時間缺乏ナルヲ以テ議及スルコト能ハススコットランド地方制度ノ議題ニモ同上ノ故ヲ以テ議
事ニ取掛ルコト能ハサリシカ茲ニ該件ニ關スル議案ヲ爾等ニ示スヘシ
アイルランドノ實利ヲ培植スルノ方案及該國ニテ不動産ニ對シ特別ノ裁判權ヲ有スル各裁判所ノ
組織ヲ改正スルコトニ關シテ速カニ爾等ノ注意ヲ求ムヘシ爾等カアイルランドノ秩序公信ヲ保維
スルカタメ先キニ議成セシトコロノ律例ハ已ニ効驗アルコトヲ表セリ
砂糖輸出ノ保護金ヲ廢止スルノ目的ヲ以テ朕カ結ヒシトコロノ條約ヲ履行スルタメ竝ニ三朱利子
公債ノ整理ヲ終ルタメ各法令ヲ設ケルコトヲ必要トス金貨幣ノ品位ニ關シ從來數年間至當ナル

苦情アリシカ之ヲ完全ナル位地ニ回復スヘキ方案ヲ爾等ノ議ニ附スヘシ

合衆國文官ニ關スル事項ヲ取調ヘシタメ朕カ命セシトコロノ審査委員ハ未タ其功ヲ竣ラストイ
ヘトモ業已ニ有益ナル復命書ヲ呈出セリ因テ該復命書ニ基キ新法令ヲ設ケルコトヲ要スヘキ提案
ヲ爾等ノ議ニ附スヘシ
從來已ニ爾等ノ意見ヲ詢ヒシモ爾等擔任ノ重ヲ加ヘシタメ考慮ヲ分ツコト能ハサリシ各種ノ問題
ヲ茲ニ再ヒ爾等ノ議ニ附スヘシ該問題中ニハ十分一稅ニ關スル方案スコットランド大學ノ章程、
不慮ノ災害アルニ當リテ備主ノ責任ヲ決スル事、農務省ヲ設置スル事、土地賣買ノ費用ヲ輕廉ニス
ル事及有限責任ノ法ヲ以テ組織スル合同資本會社ニ關スル弊害ヲ修正スル事等ナリ
朕ハ爾等カ辛勞ナル責任ニ從事スルニ當リテ萬能ナル上帝ノ福祉ヲ垂レ玉ハシコトヲ祈望ス

千八百八十九年八月三十日英國々會議院閉院式ニ於ケル女皇ノ敕語

日々新聞

上院諸卿及下院諸子

朕ハ爾等ヲ以テ此延續シタル會期ノ勤勞ヲ解カシムルコトヲ深ク滿悅ス朕ト諸外國トノ間柄ハ
依然トシテ最モ敦厚ニ屬セリ本會期ノ始ヨリ以來朕カ當時言明スルコトヲ得シ所ノ歐洲間ニ保持
セラレ、平和ニ對シ一トシテ之ヲ維持スルノ期望ヲ減殺スヘキ事ノ起リシコトナシ爾來平穩ノ情
況ヲ損セントセシハ曩ニマデニ附從セシ徒相謀リ埃及南疆ヲ侵襲セントスル企圖ノ或ル一隅
ニ於テ再燃セシ一事ナリ然レトモ埃及國王殿下ノ兵ハハダレンフエル將軍ヲ率フル英軍兵ノ援助
ヲ受ケテ善ク戰ヒ遂ニ侵襲ノ衆ヲ逐散防遏セリサモア島事件ニ關シ今春英吉利獨逸及北米合衆國

ノ代理委員カ伯林ニテ開キ會議ハ該島國ノ政務ヲ繩正スルコトニ關シ約ヲ立テ朕竝ニ獨逸皇帝ハ業已ニ之ヲ允准シ現ニ合衆國元老院ノ贊可ヲ俟テリ。白耳義皇常ハ朕カ勸ニ應シテ海陸奴隸買賣ノ現狀ヲ究察シ今日尙ホ人類ニ波及スル處ノ惡業ヲ禁遏輕減スヘキ方法ヲ審議スルタメ今秋歐洲各國ノ會議ヲ比律悉府ニ開クコトヲ肯諾セラレタリ。朕ハ佛蘭西共和國ト協議ノ末亞非利加洲西岸ニ在ル兩國屬地ノ境界ニ關スル紛議ヲ妥當ニ歸セシメタリ又佛蘭西及獨國ト郵便及電信ニ關スル新定約ヲ締結セリ。朕ハ印度各土王及族長カ朕カ英領印度ノ人民ノ負擔スル所ノ軍需ヲ分擔セシトテ自ラ奮ヒテ爲ス所ノ義捐ヲ嘉納シ而シテ我帝國一般ノ防禦ニ向ヒテ其協襄ヲ與ヘシコト朕カ喜ニ禁ヘサル所ナリ

下院諸君

朕ハ卿等カ至當ノ注意ト寛裕ナル度量トヲ以テ國用ニ供スル資金ヲ備ヘタリシコトヲ喜謝ス上院諸卿及下院諸君

卿等カ我帝國ノ海上防禦ヲ強固ナラシムルタメ充分ニ施シタル所ノ方策ハ朕カ臣民ヲシテ一層安穩堅全ニ各自ノ業務ニ從事スルコトヲ得シムルニ足ルヘシ。朕ハ蘇格蘭地方制度改正條例ハ大ニ彼土ニ在ル朕カ衆庶ニ幸福ト満足トヲ與ヘタルコトヲ深信ス。卿等カ議事時間ニ餘暇ナカリシタメ西濠太刺利ニ在ル朕カ臣民ニ責任政治ノ制ヲ授與スヘキ議案ヲ決定スルコト能ハカリシハ朕カ最モ遺憾トスル所ナリ然レトモ朕ハ此最モ望ム所ノ目的ノ遠カラスシテ必ス達シ得ヘキヲ信ス。朕ハ卿等カ蘇格蘭大學ノ制規ニ加ヘタル摘要ナル改正及英蘭及威爾斯ニ於テ技術學校設置ノ爲メ施シタル手段ヲ嘉尚ス。カノ威爾斯中學令ハ以テ該省ニ於テ多年間深ク感セシ所ノ教育法中ノ缺點ヲ補フニ足ル者ナリ。朕ハ愛蘭ノ偏僻ナル地方ヲシテ鐵道延長ノ手段ニ依リテ北米合衆王國ノ重立チタル市場ト迅速ナル交通ヲ爲スコトヲ得シムヘキ議案ヲ喜ヒテ裁可セリ惟ニ該法令ハ農

商業ヲシテ愈々隆盛ニ赴カシムルニ隨ヒテ該國ノ物情ヲ漸次鎮靜ナラシムルノ效アルヘシ。朕ハ新ニ設クル農務省ハ我國カ最モ古ヨリ有スル所ノ産業ヲシテ益々改良進歩セシムルノ具タラシコトヲ冀望ス。朕ハ到ル所ニ萬事隆盛ニ赴クニ徵候即チ敢信斷行ノ成果ヲ見ルコトヲ得ルヲ悦ビ而シテ卿等カ聰敏ナル考案ヲ實行スルニ加フルニ朕カ衆庶ノ誠實ナル協助ヲ以テ益々此成果ヲシテ牢固永遠ナラシメンコトヲ希望シ仰キテ上帝ニ向ヒ厚惠ヲ卿等ニ垂レ給ハンコトヲ禱ル

一千八百九十年二月十一日英國國會ノ開會ニ於ケル敕諭

日置 政 太 郎 譯

縉紳諸士ヨ朕ノ外國ニ對スル關係ハ常ニ親睦平和ノ中ニ在リ朕ノ亞非利加ニ於ケル領地ニハ朕ノ臣民既ニ國ヲ建テ從來ノ土蠻モ亦朕ノ保護ヲ蒙レルニ拘ラス去秋葡萄牙ノ一將兵ヲ率テモザンビキニテ發シテ侵略シタリ是ニ於テ忽チ一場ノ葛藤ヲ生シ遂ニ屍山血河ノ慘毒ヲ見ルニ至ル其舉動ハ誠ニ以テ英國ノ國旗ヲ敬重スルノ意ト對立セス然レトモ葡萄牙政府ハ今日既ニ朕ノ要求ヲ容レテ朕ノ領内ヨリ其兵ヲ撤センコトヲ約セリ

白耳義王ゾラツセルニ於テ奴隸買賣廢止ニ關スル各國會議ヲ開キタリ朕ハ深ク此會議ノ爲ニ奴隸買賣ノ廢止ニ至ランコトヲ望ム

埃及副王トノ商法會議ハ終結シタリ焦眉ノ嚴計問題ヲ整理センカ爲ニバルガリアト假條約ヲ締結シタリ朕ノサモア政府ニ關シテ日耳曼帝及合衆國ト締結セシ條約ハ其本書ヲ汝等ニ下附スヘシ罪人引渡法ノ改正ニ關シ合衆國ト締結セシ條約モ亦汝等ニ下附スヘシ但シ此條約ハ未タ合衆國元老院ノ批准ヲ經ス

スワジランドノ動搖ハ更ニ善政府ヲ建テサルヲ得サルノ域ニ達セリ往年龍動ニ開キ會議ニ於テスワジランドノ獨立ヲ認定シタリト雖モ朕ハ其此ノ如クナルヲ以テ南亞非利加共和國ノ大統領ニ謀リ其土蠻及白人ノ意見ヲ諮問センカ爲ニ按察使ヲ派遣シタリ
朕ハ切ニ夫ノ緊要ナル濠洲殖民地聯合ノ問題ヲ議スルカ爲ニ開カレタル會議ノ結果ヲ聽カンコトヲ望ム善ク此殖民地ノ親和聯合ヲ謀ル者アラハ皆ニ彼等ノ安寧幸福ヲ増進スルノミナラス朕ノ深ク喜フ所ナリ

緝紳諸子ヨ愛蘭土ニ於テハ事務ノ着々トシテ改良ノ緒ニ就キ土地ニ關スル犯罪次第ニ其數ヲ減スルヲ以テ簡便法ヲ執リテ犯罪者ヲ處セサルヲ得サルノ區域ヲ大ニ狹ムルコトヲ得タリ歲計ノ許ス所ニ從ヒ土着所有者ノ數ヲ増加スルノ建議ヲ地方自治ノ主義ハ既ニ英蘭土及蘇格蘭ニ施行シタル所ナルカ事情ノ許ス限リ之ヲ愛蘭土ニモ施行スルノ建議及各地貧民衣食ノ程度ヲ改良スルノ建議等ヲ汝等ニ下附スヘシ

再ヒ英蘭土ノ土地讓渡ヲ容易低廉ニスルノ議案ヲ提出スヘシ蘇格蘭ノ爲ニスル私案ノ通過ニ伴フ所ノ困難及費用ヲ減スルノ規定ヲ汝等ニ下附スヘシ十一稅ヲ徵收シ及其免除ヲ容易ニスルノ議案ヲ下附スヘシ朕ハ西方ノ高地及蘇格蘭諸島ノ人民ニ影響スル所ノ經濟ヲ改良スルノ最好手段ヲ報告セシメシカ爲ニ委員ヲ採用シタリ

雇人ノ蒙レル禍災ニ附キ雇主ノ責任ヲ定ムルノ議案及權利制限條例ニ基ケル會社ノ負債處分法ヲ改良スルノ議案ニ再ヒ汝等ノ注意ヲ要スヘシ

各府ノ衛生及職工ノ家屋ニ關スル法律ヲ編輯改正案竝ニ貯蓄銀行及共濟會社ノ組織改良案モ亦汝等ノ考察ヲ要スヘシ兵營ニ要スル軍需及軍隊ノ配置衛生ニ關スル規定ヲ改良スルニ汝等ノ注意ヲ要スヘシ

朕ハ汝等ノ神明ノ指導ニ從ヒテ其重大ナル責任ヲ盡サンコトヲ望ム
衆議院ノ緝紳諸氏ヨ汝等ニ歲計豫算案ヲ下附スヘシ是レ能ク節約ノ旨ニ適シ又能ク公費ノ必要ニ應スル者ナリ

(千八百八十八年六月二十五日獨逸帝國國會ニ於テ新帝ノ詔敕)

花房直三郎 譯

諸君朕ハ心ニ深く悲哀ヲ懷テ諸君ヲ勞徠ス朕ハ諸君カ朕ト共ニ悲哀スルヲ知ル朕カ慶頼ナル先考ノ重患ニ惱ミ玉ヒシコトノ新近ナル記憶ト及ウ井ルヘルム皇帝陛下崩去ノ後三月ニシテ朕カ帝祚ヲ踐マサルヘカラサルニ至リシ事變トハ凡テノ獨逸人ノ心中ニ同一ノ感動ヲ及ホセリ而シテ吾人ノ痛傷ハ宇内各國ノ誠懇ニ之ヲ共ニシタル所ナリ此痛傷ノ抑壓ノ下ニ在テ朕ハ神明ニ祈願ス神明今朕ニ命シテ高大ノ職務ヲ執ラシム願ハシム朕ニ假スニ此職務ヲ盡スノ力ヲ以テセヨコトヲ此神明ノ命ニ遵ヒツ、朕ハ眼中ニウ井ルヘルム皇帝カ艱難ナル戰爭ノ後平和ヲ愛スル御宇ノ中ニ於テ其承繼者ニ守ルヘキノ模範ヲ貽シ玉ヘルヲ見ル朕ノ慶頼ナル先考ノ御宇ハ其病患晏駕ノ爲ニ遂行ヲ妨ケラレサリシ限ハ亦此模範ニ遵ヒ玉ヘリ
諸君朕ハ朕ノ慶頼ナル祖皇ノ由テ以テ其同盟者ノ信倚獨逸人民ノ愛慕及外國ノ好意アル承認ヲ得玉ヒシ道ニ遵由シテ皇帝トシテ王トシテ行進セント決心シタルコトヲ諸君ノ前ニ於テ獨逸人民ニ告ケンカ爲ニ諸君ヲ召集セリ其果シテ朕ヲシテ之ヲ遂ケシムルト否トハ專神明ノ意ニ存ス朕ハ慎テ之ヲ勉メントス

獨逸皇帝タル者ノ至要ノ職務ハ外ニ對シテハ帝國ノ地位ヲ軍事上及政略上ニ鞏固ナラシムルニア

リ内ニ於テハ帝國諸般法律ノ施行ヲ監守スルニアリ而シテ此等法律ノ中其至高ナル者ハ帝國憲法トス此憲法ヲ遵守シ及之ヲ保護スルコト即チ憲法カ國民ノ立法兩院及各獨逸人ニ保證スル所ノ凡テノ權利及憲法カ皇帝及聯邦ノ各邦竝ニ其君主ニ保證スル所ノ一切ノ權利ニ於テ之ヲ遵守シ之ヲ保護スルハ皇帝タル者ノ至重ノ權利竝ニ義務ニ屬ス

帝國立法ノ事ニ於テハ朕ハ憲法ニ循ヒ皇帝タルノ資格ヨリモ寧ロ王タルノ資格ヲ以テ之ニ叶同スヘキモノトス然レトモ此兩資格ノ何レニ於テスルモ朕ノ勉メントスル所ハ朕ノ慶頼ナル祖考ノ遺志ニ依リ帝國立法ノ事業ヲ紹述スルニアリ就中其千八百八十一年十一月十七日ニ降シ玉ヘル詔敕ハ尤モ朕ノ服膺セントスル所ナリ朕ハ此詔敕ノ旨ニ從ヒ帝國立法ヲシテ法律ト耶蘇ノ德教ト相俟リ相助ケテ將來益生存競争ノ中ニ於ケル弱者困敗者ニ與ヘ得ヘキ保護ヲ勞動社會ニ推シ及サシムルコトニ務ムヘシ庶幾クハ此方法ニ由テ以テ不健全ナル社會的ノ反對ヲ調和スルヲ得メ朕ハ内國ノ福祉安寧ヲ關照保護スルニ方テ帝國ノ忠實ナル臣民竝ニ聯邦ノ各政府カ平生主義黨派ノ異同ニ論ナク協力シテ朕ヲ補翼スヘキヲ信ス

我カ國家及社會ノ發達ヲ法律ノ軌轍内ニ維持スルコト竝ニ凡ソ國家ノ秩序ヲ破壞スヘキ目的及効力ヲ有スル所行ニ對シテハ斷乎トシテ之ニ反對スヘキコト是レ亦朕ノ當ニ務ムヘキ所ナリ

外交政略ニ於テハ朕ハ朕ノ力ノ及フ限り何人ニ對シテモ平和ヲ持セント決心セリ朕カ獨逸ノ軍隊ヲ愛スルト朕ノ獨逸軍隊ニ對スル地位トハ帝國若ハ其聯邦ヲ侵犯スル者アルニ依リ戰爭ヲ已ムヲ得サルニ起サシムルノ外朕カ躬ヲ誘惑シテ我カ國ノ平和ノ幸慶ヲ凋衰セシムルカ如キコトナカルヘシ我カ軍隊ハ吾人ノ爲ニ平和ヲ保全スヘキモノナリ而シテ若平和ヲ破ル者アル時ハ榮譽ヲ以テ之ト争ヒ能フノ位地ニアラサルヘカラサルモノナリ我カ軍隊ハ曾テ諸君カ一致シテ議決セシ新定國防法律ノ與ヘタル力ニ應シテ神明ノ祐助ニ依リ必ス此職ヲ盡スヲ得ヘシ此力ヲ侵攻ニ用井ルカ

如キハ朕ノ曾テ思念セサル所ナリ獨逸國ハ一タロ戰テ既ニ一統獨立ノ人民トシテ成立スルノ權ヲ得タリ今日復テ戰爭ニ依テ新榮譽ヲ買ヒ及境土ヲ侵略スルノ必要アルコトナキナリ

我國ト埃洪國トノ同盟ハ世人ノ知ル所ナリ朕ハ獨逸ノ信義ヲ以テ此同盟ノ約ヲ堅守スヘシ是レ其約ノ既ニ締結セラレタルヲ以テノ故ノミニアラズ朕實ニ此防守同盟ニ於テ歐洲均重ノ基礎ヲ見竝ニ獨逸歴史ノ遺囑書ヲ見レハナリ抑此遺囑ノ精神ハ獨逸民族ノ凡テ懷抱スル所ノモノニシテ亦歐洲公法ノ慣例ニ適スルモノナリ即チ千八百六十六年ニ至ル迄ハ其精神明カニ實行セラレテ曾テ之ニ容喙スルモノアラザリシナリ又同一ノ歴史上ノ關係竝ニ現時ニ於ケル國民ノ同一ノ需要ハ吾人ヲシテ伊太利ト連衡セシメタリ此兩國ハ新ニ創メタル一統ノ業ヲ徐ロニ保護シ國民一統ノ設施ヲ徐ロニ完備シ竝ニ其福祉ヲ徐ロニ進歩セシメ爲ニ平和ノ慶ヲ固持センコトヲ望メリ

我國ト埃伊兩國トノ同盟ハ朕カ身ノ露帝ニ對スル交誼ト竝ニ數百年來成立セル接壤兩國ノ平和ノ關係ヲ益々親密ニスルヲ容スハ朕ノ満足スル所ナリ此交誼ヲ保全スルハ朕ノ感情ヲ完善ニスルノミナラス竝ニ獨逸國ノ利益タルナリ

誠意平和ヲ保ツノ事ニ於テハ朕身ヲ父母ノ國ニ致シ力ヲ我カ軍隊ニ盡スヲ辭セス朕ハ我カ國ノ外國ニ對スル關係ノ舊ニ依テ變セサルヲ喜フ此レ最モ朕ノ志望ヲ助クルモノナレハナリ

神明ノ祐助ト我人民ノ護國ノ誠心ニ倚頼シテ朕ハ確信ス神明ノ膝下ニ安息シ玉ヘル兩先帝カ曾テ其位ニ在テ百戰シテ得玉ヒシ所者ヲ平和ノ事業ノ中ニ保守スルヲ以テ今ヨリ若干歲月ノ間朕ニ惠ミ玉フコトヲ

千八百八十八年六月二十六日獨逸帝國議會奉答書(北獨逸普通新聞)

至明至大ナル皇帝及王

至仁ナル皇帝及君獨逸帝國國會ハ至切ノ哀痛ヲ以テ陛下ト共ニフリードリヒ皇帝ノ崩御ヲ悲ム
 獨逸人民ハ我々ノ忘ル、コト能ハサルウヰルヘルム皇帝カ創建シ玉ヒシ事業ハ先帝ノ手ニ依テ保
 守セラルヘシ獨逸國ノ福祉ハ先帝聖明ノ治下ニ在テ平和ノ事業ノ中ニ發達スヘシト信セシニ神明
 ハ此ノ如クニ裁定セスシテ僅々數月ノ御宇ノ後我々ハ愛戴セシ先帝ノ地下ニ沈ミ玉ヘルヲ見ルニ
 遭遇シ先帝ニ系屬シタル種々ノ期望ヲ失フニ至レリ然レトモ先帝ヲ記念スルノ情感ハ獨逸人民ノ
 心中ニ終世銘刻スヘシ先帝ノ艱難ノ時ニ於ケル信義ト業ヲ執リ事ニ耐フルノ際ニ於ケル剛徳トニ
 依テ示シ玉ヘル模範ハ永久ニ忘ル、者ナク以テ後世ニ強盛ナル感化ヲ及ホスヘシ
 我々ハ陛下カ神明ノ膝下ニ安息シ玉ヘルウヰルヘルム皇帝ノ由テ以テ其同盟者ノ信倚獨逸人民ノ
 愛慕竝ニ外國ノ好意アル承認ヲ得玉ヒシ道ニ遵由シテ進行セント決心シ玉ヘルコトヲ陛下ノ口宣
 ニ聞クコトヲ得テ感激拜謝スルニ堪ヘサルナリ
 陛下ハ帝國憲法ヲ堅固ニ遵守シ立法ヲ獨逸國ノ福祉就中弱者困敗者ノ救護ノ爲ニ完備シ正理及法
 律ヲ保持セムト欲シ玉フ

帝國國會ハ陛下ノ聖志ヲ實行シ玉フニ方リカノ及フ所ヲ竭シテ以テ陛下ヲ補翼スルコトヲ辭セス
 帝國國會ハ神明カ必ス陛下ノ志ヲ助ケ成サムコトヲ期望ス
 陛下ハ戰爭ノ已ムヲ得サルニ起ルニアラサルヨリハ從來保全セラレタル盟約ト交渉トニ倚リ平和
 ヲ維持セムト決心シ玉ヘリ平和ヲ維持スル爲ニ竝ニ之ヲ維持セントシテ而モ尙其破ラレタルニ方
 テハ榮譽ヲ以テ戰フ爲ニ陛下ハ我軍隊ノ力ヲ維持シ養成セントシ玉フ
 獨逸帝國國會ハ陛下ノ此高大ナル諭命ニ對シ充分ナル贊成ヲ表明ス

我々ハ曾テ我々ノ慶頼ナルウヰルヘルム皇帝カ獨逸國ノ平和ヲ保護スル爲ニ我々ニ求メ玉フコト
 アリシニ方リ一致同心シテ之ニ應ジタルカ如ク我々ノ父母ノ國ヲ保全スル爲ニ必要ナル犠牲ハ之
 ヲ避ケサルヘシ而シテ我々ハ皇帝及聯邦政府ト固ク相結合セル獨逸人民ノ平和ハ何人モ之ヲ妨ケ
 サルヘキヲ信ス
 陛下ヲシテ我々ノ父母ノ國ニ長久ナル歲月ノ間純潔ノ幸福ヲ與フル者タラシメヨ
 神明願クハ陛下及陛下ノ家族ニ仁慈ナル保護ヲ與ヘヨ
 神明願クハ我カ獨逸人ノ父母ノ國ヲ祐助シ之ヲ保護セヨ
 深厚ナル恭敬ヲ以テ始終

陛下ノ臣民タルノ義ヲ變セサル

獨逸帝國國會

議長ハ奉答案朗讀ノ後議場ノ説ヲ問ヒタルニ發言ヲ求ムルモノナシ乃全會一致ヲ以テ右ノ奉答
 案ヲ採用セリ

(「ミニオンヘン」新聞)ニ曰ク

議長 予ハ討論ヲ開ク

發言ヲ求ムルモノナシ

議長 予ハ討論ヲ閉ツ予カ唯今朝讀シタル奉答書ヲ陛下ニ捧呈スヘシトスル諸君ハ起立セ
 ラレヨ

帝國國會ハ該奉答書ヲ捧呈スヘキコトヲ全會一致シテ議決セリ

予ハ諸君ニ建議ス奉答書捧呈ノ事ヲ以テ議長ニ委任センコトヲ

帝國國會ハ予ノ建議ヲ採用セリ

内務尙書フオンボテヘル

予ハ貴院ニ詔命ヲ傳ヘントス(全院起立)即チ左ノ如シ

天祐ニ依テ獨逸皇帝及普漏生王タル朕ウ井ルヘルム諭命ス憲法第十二條ニ從ヒ朕及聯邦政府ノ名ニ於テ帝國國會現今ノ會議ヲ本年六月二十六日閉會セシムルコトヲ内務尙書大臣フオンボテヘルニ委任セリ

其證トシテ朕親ヲ名ヲ署シ帝璽ヲ鈐ス

伯林ニ於テ下附ス千八百八十八年六月二十六日

ウ井ルヘルム(親署)

ピスマルク(副署)

予ハ詔命ノ本書ヲ議長君ニ與フルノ榮ヲ有ス

予ハ陛下ノ委任ニ基キ聯邦政府ノ名ニ於テ帝國國會ノ會議ヲ閉ツル旨ヲ宣告ス

議長 諸君我々諸人カ獨逸國ノ將來ヲ確信スルノ意ヲ獨逸皇帝普漏生王ウ井ルヘルム陛下萬

歲ト呼フコトニ依テ表明セン

獨逸皇帝普漏生王ウ井ルヘルム陛下萬歲

(全院ニタヒ之ヲ和ス)

千八百八十八年十一月二十二日獨逸帝國議會開會ノ期同皇帝ノ敕語

議員諸士朕萬機ヲ統ヘ肇メテ諸子ニ面スルニ際リテヤ朕ト諸子トハ共ニ國家カ本年中ニ遭逢シタル厄難中ニ呻吟セリ嗟呼大畏ノ悲恨ハ畢生懷ニ忘ル能ハスト雖モ亦朕ヲシテ祖考ノ憲範ニ從ヒ勇毅ト忠誠トヲ以テ其遺業ヲ成就スルノ義務心ヲ沮喪セシムルヲ得ス蓋シ義務心ノ爲メニ鼓舞セラレシハ諸子モ亦朕ニ異ナラサルヘシ茲ニ再ヒ我共同ノ業務ニ就クニ方リ諸子ノ欣來ヲ謝ス朕帝國諸方ヲ巡狩シ親シク與國上下ノ事情ヲ視獨逸ノ諸侯及人民ハ皆帝國及其制度ニ信服シ協同一致絶ヘテ二心ナキヲ確知セリ諸子ハ之ヲ聞キ帝國內ニ於テ化生シタル協同一致ノ心ハ早既ニ深ク其根柢ヲ人民中ニ蔓延セシヲ知リテ満足スルナラン朕ハ此機會ニ投シテ此満足ノ謝辭ヲ述ヘサルヲ得ス

困難ニシテ且ツ巨費ヲ要スル準備ヲ經テ今ヤ既ニ漢堡及北閩ノ二自由市府カ帝國關稅同盟ニ加入スルコトヲ了シタルハ朕滿悅ニ堪ヘス蓋シ同心同力ノ効果ハ此中ニ胚胎シ關稅區域ヲ擴張シタルカ爲メニ帝國及二大要港ニ屬シタル希望ヲ十分ニ達シ得ヘキハ朕ノ信シテ疑ハサル所ナリ瑞西聯邦政府ハ獨逸通商條約ヲ修正シ兩國隣好的ノ關係ヲ推シテ商業ノ振興上ニ及ホサントノ議ヲ呈出シ朕既ニ之レニ同意シ將サニ聯邦中境ヲ瑞西ニ接スル列國ノ委員ヲ招集シテ此商議ヲ開キタリ條約修正ノ眼目ハ兩國交通條約ノ原基ヲ擴張シテ製造品ノ貿易ヲ容易ニスヘキ條款ヲ追加スルニアリ此條約ハ聯邦集議院ノ同意ヲ經タル後諸子ニ交附シテ憲法的ノ參同ヲ需ムヘシ

次年度ノ歲計表ハ諸子不日ニ之ヲ落掌スヘシ此豫算ニ據レハ帝國ノ財政ハ頗ル満足ノ位地ニアルヲ知ル可シ近年諸子ノ贊助ヲ得テ施行シタル關稅及消耗費稅ノ釐革ハ大ニ收入ヲ増スノ望アルヲ以テ特ニ帝國必須ノ要需ニ供スヘキ費用ヲ得ルノミナラス其目的ノ爲メニ聯邦各國ニ配附スヘキ金額モ亦増加スルヲ得ヘシ

凡ソ利用厚生ニ關スル諸業進步ノ徵候ヲ呈シタルハ朕ノ殊ニ欣喜スル所ナリ農業上ノ困難ニ至リ

テハ未タ排除シ能ハサルモノアルモ近時農産ノ需用ヲ増加シ價格ヲ上騰シ得タルヲ以テ朕ハ此經濟上最モ緊要ナル職業ハ遠カラスシテ其面目ヲ改ムヘキヲ期ス

曩者稟告セル同業組合取締法案ハ應ニ諸子ノ決定ヲ需ムヘシ原案ニ記載スル所ノ如ク制限アル救濟義務(リフト)ヲ帶ブル同業組合ノ設立ヲ許可シテ農業上ノ金融ヲ圓滑ナラシメントノ希望ナリ病工保險上二三ノ缺點ハ法律上之レカ救助ヲ設クルノ必要ヲ來タシ其準備略ホ整ヒタルヲ以テ蓋シ當開會期中ニ於テ其議案ヲ諸子ニ示スニ至ラン

抑モ社會經濟政略ハ祖父皇帝ノ神聖ナル遺業ニ屬ス故ニ朕謹ンテ之ヲ襲繼セン朕ハ時ノ困迫及人ノ不幸ヲシテ地ヲ拂フニ至ラシムルカ爲メニ特ニ法律ノ効力ヲノミ特ムニアラス然レトモ努メテ經濟上現在ノ困難ヲ輕減シ整頓セル秩序ニ依リ基督教旨ニ胚胎セル兼愛ヲ行フハ國民ノ義務タルコトヲ知ラシムルハ政權上ノ一義務ナリト信ス政府ノ法律上悉皆ノ勞役者ヲシテ老廢ノ厄難ヲ免レシムルハ實ニ容易ナラサルヘキモ神助ヲ得テ之ヲ行ヘハ敢テ望ムヘカラサルノ事業ニアラス今此目的ヲ達スルノ道ナリトシテ諸子ニ提示スヘキ法案ハ該博ナル研究ヨリ生シタル結果ナリ

我阿弗利加殖民地ハ獨逸帝國ヲシテ該地方ヲ基督教のノ開化ニ導クコトニ參與セシムルニ至リタリ我友愛スル英國ノ政府及ヒ議院ハ百年以前已ニ此目的ヲ達スルノ第一着トシテ黑奴ノ賣買及賣奴ノ狩捕ヲ停遏スヘキコトヲ知レリ故ニ朕先ツ英國ト協議セリ其條款及目的ハ方ニ諸子ニ告クヘシ尙ホ他ノ關係國ノ政府トノ商議及其方案ハ追テ帝國議會ニ提出セシムヘシ

諸外國政府トノ關係ハ總テ靜謐ナリ朕ハ努メテ此平和ヲ維持セントス埃國及伊國トノ同盟モ亦此目的ニ出タルモノナリ豈他アランヤ假令ヒ必勝ノ策アリテ疲弊ヲ招クノ虞ナキモ苟モ戰爭ノ慘毒ヲ流サシムルハ朕カ基督教のノ良心ト皇帝トシテ獨逸國民ニ對スルノ義務トニ於テ忍フ能ハサル所ナリ是故ニ朕ハ登祚ノ初メニ際リ親シク我聯邦ノ諸君主及善隣ノ君主ニ會合協議シテ此神授ノ

務ヲ盡シ吾人ノ思慮ノ及フ限りハ衆庶ノ爲メニ治安ト幸福トヲ保護スルヲ以テ朕ノ責ニ任セリ朕ハ朕カ訪問シタル諸朝廷ニ於テ朕ノ政略ヲ贊成信用スルヲ見テ朕及朕ノ盟友カ神助ニ依リ能ク歐洲ノ平和ヲ維持シ得ヘキヲ信スルナリ

千八百八十九年十月二十二日獨逸帝國國會開會式並ニ敕諭

帝國國會ハ當立法期最終ノ會議トシテ本日皇城ノ白殿ニ於テ開カレタリ但開會ノ前例ニ依リ新教派ノ議員ハ宮中寺院ニ於テ舊教派ノ議員ハ「ドゥ井ヒ」寺院ニ於テ禮拜ヲ爲セリ當皇帝即位以來他ノ事故ノ爲メ親シク議員ニ接スルコトヲ得サルハ今回ヲ以テ始メトス即チ皇帝ハ皇妹婚儀ノ爲メ希臘國へ旅行ニ附帝國內務長官フォン・ビヨチヘルニ命メ定式ノ如ク開會ノ典ヲ舉ケシム參席ノ人員意外ニ尠ナク僅ニ六十人ニシテ弓形ニ列セリ社會黨及自由黨ノ者ハ一人モ參席セザリキ十二時ヲ過シル頃聯邦參議院議官ハ內務長官フォン・ビヨチヘルノ先導ヲ以テ漸次ニ白殿ニ入り紅色ノ布ヲ以テ蔽ヒタル玉座ノ左ニ列ス議官中軍人ヲ除クノ外皆大臣ノ小禮服ヲ着セリ於是

フォン・ビヨチヘル氏ハ衆員ニ向ヒ一禮シテ左ノ敕諭ヲ朗讀ス

尊重ナル諸君ヨ皇帝陛下ハ小官ニ命スルニ當國會ノ最終會議ヲ開クニ當リ聯邦諸政府ノ名義ヲ以テ諸君ニ祝意ヲ傳フヘキコトヲ以テセリ

抑、當國會ノ從來事務ト爲シタル所ハ内外ノ平和ヲ保ツニ在リキ此會期ニ於テ諸君ノ務メタル、所モ亦此方向ニ異ナラス願ミレハ今ヨリ三年前帝國國會ノ相會シタルヤ主トシテ我兵備擴張ノ事ヲ議セリ當時國會モ亦不拔ノ愛國心ヲ以テ其職務ヲ全フセリ今回ト雖モ時ノ必要ニ準シ

テ兵制ヲ整頓シ以テ皇帝陛下及同盟諸君主ノ平和ヲ愛セラル、聖旨ヲ全クセシカ爲メ諸君ノ協
力ヲ煩ハサント欲ス即チ從來兵員増加及隊伍組替ノ爲メ往々編制上錯綜ヲ來シタルヲ以テ此弊
ヲ一掃スルノ主意ニ依リ千八百七十四年五月二日裁可ノ帝國軍制ノ修正ニ係ル草案アリ不日將
ニ會議ニ提出セントス

右軍隊編制ノ改正及海軍擴張ノ爲メ豫算表ニ載スル如ク自ラ増費ヲ要スルニ至レリ依テ各聯邦
負擔ノ費用ハ之ヲ現年度ニ比スルニ稍増額シタルナリ然レトモ帝國國庫ノ收入ヨリ各聯邦ニ
配布スル所ノ額ニ比スレハ其及ハサルコト猶遠シトス

曩ニ議員諸君ノ贊同ヲ得テ遂ニ成功シタル癘疾及老後保險法ハ社會小民ノ苦惱ヲ救済スルノ一
端ナリキ然レトモ此法律ノ効果ハ猶將來ニ至テ見ルヘキナリ斯ノ如キ良法アルモ國家ヲ動亂セ
ントスルノ徒ハ猶盡キス殊ニ職工徒弟ノ暴舉ハ續々絶サルヲ以テ更ニ永遠ニ垂ルヘキ法律ヲ設
ケ以テ之レカ處分ノ法ヲ定メサル可ラス從來ノ經驗ニ依レハ一般ノ法律ヲ以テ官廳ニ與ヘタル
權利ニテハ未ダ内國ノ平和ヲ保ツニ足ラサルカ如シ故ニ相當ノ草案ヲ提出シテ諸君ノ議ヲ仰カ
ントス而シテ議員諸君ハ誠衷ヲ以テ此草案ニ贊同シ帝國人民チシテ平和ノ進歩ヲ爲サシムヘキ
コト聯邦諸政府ノ信ヲ疑ハサル所ナリ

千八百七十五年三月十四日裁可ノ帝國銀行法ニ據レハ昨年一月一日ヲ以テ同銀行設立ノ期限ト
爲スヲ以テ今ヤ此銀行ノ存續スヘキト否トヲ決定セサル可ラス此般ニ關スル議案モ亦不日諸君
ニ提出シ以テ憲法上ノ議決ヲ取ラント欲ス

東部亞非利加ニ在テハ幸ヒ國會ノ贊同ヲ得テ奴隸販賣ノ風俗ヲ絶滅シ併セテ獨逸ノ利益ヲ保護
スルカ爲メ十分ノ施設ヲ爲セリ國會ノ議決シタル資金ヲ以テ編制シタル保護軍隊ハ海軍ト力ヲ
協ハセテ大ニ其職務ヲ全フシ終ニ關係諸國ト協議ノ上東部亞非利加ノ砲擊ヲ廢シサンペール

國王モ亦屢ニ敕令ヲ發シテ奴隸販賣鎮壓ノ計畫ヲ爲セリ然ルニ此遠征軍ノ費用タルヤ種々ノ事
故ニ由リ本年二月二日ノ法律ヲ以テ定メタル額ニテハ未ダ足ラサルヲ以テ更ニ國會ノ議ニ附ス
ル所アラントス

サシニバル國及東部亞非利加トノ關係漸ク多事ニ赴キ且西部亞非利加海岸ノ保護地及南海ノ
事業益々進歩スルニ隨ヒ從來外務省ニ於テ擔當シタル殖民地ノ事務ハ彌々繁忙ニ赴キ到底外務
省ノ限リアル人員ニテハ之ヲ將來ニ繼續スルヲ得ス依テ左ナシモ常ニ繁務ナル外務省ヨリ此事
務ヲ分割シ更ニ相當ノ事務部ヲ設ケント欲ス此改正組織ニ關スル費用ハ既ニ來年度ノ豫算中ニ
豫定セリ

皇帝陛下ハ客年十一月二十二日ニ於テ議員諸君ニ向ヒ天帝ノ幫助ヲ以テ平和ヲ維持セントスル
ノ希望ヲ宣言セラレタリ今ヤ此希望ハ實際ニ行ハレタルノミナラス猶近來皇帝陛下ト同盟隣國
ノ諸君主トノ親密ナル交際ニ依リ倍々將來ニ向テ此希望ヲ存シ得ヘシ且又陛下ノ親密ナル交際
ハ外國ニ對シテ獨逸政略ノ平和主義ナルコトノ信用ヲ固クシ且歐洲ノ平和ハ現行ノ條約ニ據リ
天帝ノ幫助ヲ以テ來年度中ハ破ル、コトナキモノト信スヘキ理由ノ一端ト相成リタリ

小官ハ皇帝陛下ノ敕命ニ依リ聯邦諸政府ノ名義ヲ以テ國會開會ノ義ヲ宣告ス
右内務長官フオン、ビヨチヘル氏敕諭ノ朗讀ヲ了ルヤ前會期ノ議長フオン、レウヘチオー氏ハ聖壽
萬歳ヲ唱フ是ニ於テ列席ノ人員俱ニ同音ニ三回萬歳ヲ唱フ
敕諭朗讀ノ時ハ衆員悉ク默聽セシガ結末ニ當リ歐洲平和ノ破レマシキ云々ノ語ヲ聞クヤ議員中往
々感悅ノ聲ヲ發セリ

帝國國會開院式ヲ執行セラレタル白殿ハ壯麗ニ裝飾セラレタリ三足壇上ニ紅色ノ天鵝絨ヲ以テ掩
 ヘル玉坐ヲ設ケ玉坐ノ上ニ天蓋ヲ懸ケ金繡絹地ノ後壁ノ中央ニ普國ノ鷲章ヲ懸ケ其周圍ニ小鷲章
 及小玉冠ヲ懸ク左右ニ金繡絹地ノ幕ヲ垂レ掩フニ灰白色及黑色ノ絹地ノ薄キ幕ヲ以テス此灰白色
 及黑色ノ薄幕ハ之ヲ全室ニ張レリ玉坐ノ右側ニ紅色ノ天鵝絨ヲ以テ掩ヘル棚棧ヲ設ケ棧上ニ大椅
 子一脚及三脚ノ小椅子ヲ置ク白殿ニ於テ儀式ヲ開クノ前正午十二時皇帝ハ諸聯邦君主及多數ノ隨
 從ト共ニ祈祭室ニ入ラセラルル索遜國王及巴威里攝政親王ハ皇帝ノ兩邊ニ進ミ之ニ次テバーデン及
 ヘツセンノ兩大公ウニルテムベルグノウヰルヘルム親王普漏生ノレフボルドハインリヒ及アルプ
 レヒト三親王ザツクセンノワイマル及ノクレンブルグ、シニウモーリン兩大公進行シ其他ノ諸君主
 之ニ次ク祈念式中始終奏樂アリ式後又唱歌アリ祈念式中僧官ハ經文ノ一節ヲ朗讀ス唱歌後僧官某
 洗禮ヲ執行ス次ニ又唱歌アリ次ニ皇帝ハ諸君主及朝廷ノ諸官ト共ニ休息室ニ入ラセラルル午後一時
 頃白殿ハ代議士ヲ以テ充滿セリ當日代議士ノ各黨ヨリ參集スル者甚タ多シ皆帝國議會議長ノ周圍
 ニ集合ス午後一時大宰相ハ聯邦會員ヲ率ヒテ白殿ニ入ルバイエルンノ大臣フォン、ルツ氏大宰相
 ト並進ス大宰相ハ大禮服ヲ着用シ黑鷲勳章ノ鏈鎖ヲ佩リ右手敕書ヲ携フ聯邦會員ハ皆玉坐ノ左側
 ニ立ツ大宰相ハ少シク首ヲ低レテ議會ニ禮シ而ル後議會ノ參集ヲ皇帝ニ奏ス午後一時ヨリ少間ニ
 シテ守城隊史上ニ傳來アル「ブリキ」帽ヲ戴テ殿中ヲ進行通過ス此ヨリ次第書ニ定メラレタル班列
 順次ニ殿ニ入ル黑鷲勳社ノ貴紳ハ凡テ紫色天鵝絨ノ上衣ヲ著ケ國旗ノ後ニ隨フ將軍モルトケ伯將
 軍ノ杖ヲ携ヘテ皇帝ノ前ニ立テ進ム鹵簿既ニ殿ニ入レハ各々次第書ニ定メラレタル席ヲ占ムル事
 伯ハ國旗ト國劔ノ間ニ立ツ皇后ハ棧上ノ大椅子ニ著カセラルレ皇太子ハ黑色ノ童服ヲ著ケ宮女三名

ト皇后ノ側ニ在リ皇后ハ黑鷲勳章ノ鏈鎖ヲ佩リサセラレ覆面ヲ排開シ玉ヘリ皇室議長ノ前ヲ通御
 シ玉フニ方リ議長フオンウエツデル氏三タヒ萬歲ヲ唱フ皇帝モ同シク黑鷲勳社ノ服ヲ著サセラ
 ル皇帝ハ少シク體ヲ屈メテ禮ヲ施シ玉ヒ然ル後玉坐ニ上ラセラレ大宰相ヨリ捧呈セタル勅書ヲ高
 聲ニ朗讀シ玉フ其祖皇ノ事ヲ述ヘ就中言千八百八十一年十一月ノ勅書ニ及ヘル時ハ喝采ノ聲室ニ
 滿テリ皇帝ハ勅書ヲ大宰相ニ返シ其手ヲ握ラセラル大宰相ハ深ク身ヲ屈メ皇帝ノ手ニ接吻シ然ル
 後帝國議會ノ開會ヲ宣告スパイエエルン王國ノ大臣フライヘル、フオンルツ氏萬歲ヲ唱フ是ニ於テ
 鹵簿再ヒ前ノ順序ニ依リ殿ヲ出ツ此日外交官席ニハ各國ノ交際官悉ク夫人ヲ携ヘテ參集ス其他ノ
 席モ參觀者甚タ多シ敕語中皇帝サクセン王及バイエルン攝政親王ハ帽ヲ戴キ玉フ其他ノ諸君主ハ
 帽ヲ戴カズ云々

ロエトスレル氏曰右ハ新帝即位後始メテ議會ヲ開ケル時ノ儀式トス平常ノ開院式モ其大體ノ順
 序ニ於テハ之ト殊ナル事ナシ第一ニ神ヲ祭リ次ニ議員會堂ニ集マリ次ニ宰相ハ議員ハ參集ヲ奏
 シ次ニ出御次ニ宰相敕書ヲ捧呈シ次ニ皇帝敕書ヲ朗讀シ之ヲ宰相ニ返附シ宰相開院ノ宣告ヲナ
 シ上院議長三タヒ萬歲ヲ唱ヘ全院之ヲ和シ而ル後還御此順序ハ開院式毎ニ必ス同シ平常ノ開院
 式ニ在テハ鹵簿竝ニ裝飾前文ノ如ク盛ナラス鹵簿ハ時々皇帝ノ隨意ニ定ムル處ニ依ルモノニシ
 テ定式アルコトナシ

千八百五十年普國國會開會式ノ敕諭

國步艱難ノ今日ニ於テ汝衆議員ト當宮城ニ於テ相會スルコトヲ得朕欣喜ノ至ニ堪ヘス

前會閉會以來朕カ政府ハ銳意以テ汝衆議員ト協定シタル法律ヲ施行スルコトニ盡力セリ即チ町村制ノ如キハ國中何レノ處トシテ施行ノ端緒ヲ開カサルハナシ但該法律ニ豫定シタル如ク各地方狀況ノ相異ナルカ爲メ全國齊一ニ施行シ能ハサルコトヲ憾ム

本年二月二十四日ノ法律ニ定メタル地租假リ調査ノ事業ハ未タ成功ノ期ヲ告グルニ至ラスト雖モ朕カ政府ハ是ヨリ益々勉勵シ日ナラスニテ汝衆議員ニ此事業ノ結果ヲ知ラシムルニ至ラント想像ス

汝衆議員ノ協賛ニ依リ朕カ政府ニ於テ負擔シタル鐵道大工事ハ十分ノ進歩ヲ爲シ其効果最モ著シ其他ノ土木事業モ亦駁々トシテ行步シ且爲メニ細民ハ大ニ生業ノ途ヲ得タリ

民間信用ノ益々厚キニ趣キタル結果トシテ商工業ト爾來大ニ進歩ヲナシ且半ハ活潑隆盛ノ域ニ達セリ海岸諸港ノ船舶交通ノ頻繁ニ趣キタルハ物産起業ノ活潑ナルコトヲ徵スルニ足ル

曩ニ驛遞事業ニ改良ヲ加ヘ且獨逸列國ト郵便條約ヲ締結シ及交通便益ノ爲メ外國政府ト談判ヲ開キタル以來多少ノ結果ヲ顯ハセリ

朕嚮ニ大逆ノ難ヲ追レシトキ一方ニ於テハ身體安全ノ幸福ヲ悅フト雖モ一方ニ於テハ風俗衰頹ノ徵候アルヲ慨嘆セリ然レトモ朕ハ朕カ性命ヲ惜ムニ非ス朕カ性命ハ實ニ上天ノ指揮ヲ玉フ所ナリ

其大難ヲ追レシニ當テヤ國內各地方ヨリ忠愛恭順ノ上表ヲ呈シタルハ朕カ最モ満足スル所ナリ天意ニ反戻シ國法ヲ蔑如スルノ甚シキ終ニ國王ヲ弑セントスルニ至テハ殘壞極ハマリナシ

國體擾亂ノ主義ヲ抱ケル新聞ハ右大逆殺殿ノ爲メ大ニ與テ力アルモノトス而シテ前回會議ニ於テハ客年六月二十日ノ新聞條例ヲ評議スルノ邊ナカリシヲ以テ朕カ政府ハ憲法第六十三條ニ據リ更ニ假リノ新聞條例ヲ發布スルノ已ムヲ得サルコトヲ感覺セリ此條例ハ固ヨリ目前ノ急ヲ救フカ爲メノ方便ニ過キサルヲ以テ更ニ永遠ニ傳フヘキ大法律案ヲ提出セントス依テ汝衆議員ハ朕カ政府

ト力ヲ合セ人身ノ自由ト國家社會ノ安泰トヲ相調和平衡ヲ得セシムルコトヲ勉メヨ
憲法ニ記載シタル政教ノ關係ニ關スル規定ノ施行ハ即今專ラ準備中ナリ又朕カ政府ハ人民ノ正當ナル利益ヲ酌量シテ此重大ノ事業ヲ速ニ成就スルコトヲ怠ラサルヘシ
教育令草案ハ殆ト脱稿ニ近シ其調査ノ區域廣漠ナルヲ以テ開會ノ當初直チニ之レヲ衆議員ニ提出スルコトヲ得ス

醫制草案ハ近日諸君ニ示スニ至ルヘシ
多年ノ調査ニ係ル刑法草案モ亦日ナラスジテ諸君ノ會議ニ附スヘシ

ホーヘンツォルレルン國チ本國ニ合併シタルニ就テハ更ニ一ノ選舉法ヲ設ケ之ヲ同國內ニ頒布セサル可ラス依テ汝衆議員ハ速ニ本案ノ議決ヲ爲セヨ汝衆議員ハ朕ト共ニ同國代議員ノ速ニ此會議ニ列センコトヲ希望セラルハナルヘシ

汝衆議員ハ千八百五十一年度ノ歲計豫算ニ就キ國庫歲入ノ増加ヲ見ルノミナラス猶費用ノ節略ニ注意シタルコトヲ知ラルヘシ然レトモ千八百四十八年ノ動亂ヨリシテ生シタル國庫ノ費用ハ通常ノ歲入ヲ以テ支フヘキニアラス故ニ人民ノ納稅力ニ非常ノ負擔ヲ受ケシムルコト已ムヲ得サルナ

リ依テ此點ニ關スル朕カ政府ノ提案ハ汝衆議員宜シク細密ノ審査ヲ爲スヘシ
軍事ノ爲メ一千八百萬「ターレル」ノ負債ヲ爲シタルコトニ就テハ汝衆議員ニ細密ノ報告ヲ爲スヘシ

前陳ノ負債ヲ促シタル危險ハ未タ全ク消散セス朕ト歐洲諸大國トノ平和ノ關係ハ中絶シタルコトナシト雖モ唯憾獨逸列國ニ其需要相當ノ憲法ヲ與ヘントスル朕カ素志ハ未タ之ヲ果スコトヲ得サルナリ然レトモ朕ハ尙ホ素志ヲ改メスニテ將來ニ希望ヲ存シ他日獨逸聯邦ノ景狀如何ニ由テ方向ヲ定メ以テ朕カ素志ヲ果シメト欲ス

朕ハ右ニ關スル列國トノ談判ノ其結果ヲ爲サント希望ス
 丁抹トノ和約ハ既ニ締結批准ヲ經タリ然レトモ未タ該條約中ノ各條件ヲ實際ニ施行スルコトヲ得
 ス
 或ル獨逸聯邦ニ於テハ非常ノ爭亂ヲ作セリ或ル國ハ之ニ干渉シテ鎮定ヲ試ミタリシカ學國ハ之レ
 カ爲メニ權利ヲ害セラレ直ニ相互ノ猜疑ヲ醸セリ學國ハ其地理及軍事上ノ關係ニヨリ已ムテ得ス
 シテ其干渉ニ對シ異議ヲ唱ヘタリト雖モ干渉君主及其同盟國ノ容サル所トナレリ加之ナラス其爭
 擾地ト離レタル地方ニ於テハ我國疆ニ接シテ軍隊ヲ屯集シ以テ我國安ヲ妨害セントセリ是ニ於テ
 朕ハ之ヲ默止スルヲ得スシテ速ニ國中ノ兵力ヲ鼓動スルニ至レリ而シテ朕ノ強剛ナル人民ハ直ニ
 憤起シテ男子タルノ勇ヲ奮ヒ朕ニ忠順ヲ盡シタルハ朕カ大悅自負スル所ナリ
 兵力ヲ日ナラスシテ増加スヘシ吾人ハ戰端ヲ望ム者ニ非ス他人ノ權利ヲ滅殺スルヲ欲セス又我意
 見ヲ他人ニ強ユルヲ欲セス吾人ハ實ニ我本國ヲシテ獨逸及歐羅巴諸國ニ對シテ現今ノ地位ヲ保
 シメ且上天ノ賜リタル權利ヲ保全セント欲スルモノナリ吾人ハ正理ヲ有セリ吾人ハ飽マテモ此正
 理ヲ防禦シ遂ニ之ヲ貫徹スルマテ兵甲ヲ解カサルヘシ
 吾人ハ帝國及獨逸ニ對シテ此義務アリトス朕惟フニ我兵力ハ我權利ヲ保護スルカ爲メニ十分ナル
 ヘシ又果シテ此目的ヲ達シタル後ト雖モ歐洲ノ安否ニ關スルコトナカルヘシ何トナレハ朕カ人民
 ハ強剛ナル上ニ猶深慮アレハナリ
 前陳ソ目的ヲ達スルニ當テ之カ爲メニ要スル資財ハ汝衆議員之ヲ支給スヘシ朕ハ之レカ爲メ人民
 ニ重擔負擔ヲ受ケシムルコトヲ悲マサルヲ得ス然レトモ汝衆議員ノ銳意熱心ハ一般人民ニ比シテ
 相劣ラサルコト朕能ク之ヲ知レ汝衆議員モ亦我憲法ハ學國ノ運動力ヲ抑止スルモノニアラス
 テ却テ之ヲ獎勵スルモノタルコトヲ證認セラルハナルヘシ

時變ソ初ニ於テ民間ノ黨派委ク一時ニ消滅シタル如ク又兵ト民トハ一心同體トナリテ朕ニ對シ同
 一ノ感覺ヲ有シタリ此誠實ナル人民ノ代理者タル汝衆議員モ亦此國難ニ際シ一心同體ヲ以テ固ク
 朕ニ附從セヨ
 汝衆議員ヨ今ノ時機ニ當テ苟モ因循遲疑スル勿レ
 吾人ノ運命ハ「忠心一致」「一意信神」ノ二語ニ在ルノミ是レ學國古來本色ノ精神ナリ上天ハ從來此
 精神ヲ以テ吾人ヲ保護シ又必ス將來吾人ヲ保護セラルヘシ朕深ク此事ヲ信ス

千八百八十年六月廿七日普漏生王國國會開院式及敕語(同日夕刊北獨逸普通新聞所載)

花房直三郎譯

王國國會ノ開院式ハ本日正午十二時王宮ノ白殿ニ於テ盛大ニ舉行セラレタリ
 白殿ノ裝飾ハ前々日帝國國會開院式ノ節ト頗ル趣ヲ變セリ玉座ト同階ニ設ケタル獨逸諸君主ノ座
 ハ此度ハ設ケラレス紫色ノ天鵝絨ヲ以テ掩ヘル三階ノ壇上ニ普國ノ銀ノ玉座ヲ設ク天蓋モ亦帝國
 國會ノ開院式ニ用ヒタル金繡ノ絹張ノ天蓋ニアラスシテ普國ニ於テ從來使用セル紅色天鵝絨ノ天
 蓋ナリ後邊ノ壁ハブランデンブルノ紅鷲章ト普漏生ノ黑鷲章ヲ織込ミタル美麗ナルゴブラン製ノ
 織物ヲ以テ張レリ玉座ヲ設ケタル壇ノ第二階ニハ金色紫色ノ臺三箇ヲ置ク即チ國寶ヲ安置スヘキ
 臺ナリ
 皇后及內親王方ノ席ハ帝國議會開院式ノ時ト大異ナシ即チ玉座ノ傍ニ柵棧ヲ設ケ玉座ニ似タル大
 椅子一脚ト金色ノ椅子數脚ヲ置ケリ灰白色及黑色ノ幕ヲ以テ白殿ノ金色ノ裝飾ヲ蔽ヘルハフリ
 下リヒ及ウ井ルヘルム兩先帝ノ喪ヲ表スルナリ

十一時十五分上下兩院ノ議員悉ク白殿ニ參集シタル頃ヨリ白殿ノ戸口ニ近衛兵ヨリ選拔シタル雄壯ノ兵士盛服ヲ著テ立テリ議員ハ悉ク玉座ニ向ツテ其位置ヲ占ム即チ上院議員ハ玉座ノ左ニ皇后陛下ノ御坐ニ相對シテ整列シ下院議員ハ玉座ノ右ニ內閣大臣ノ席ニ相對シテ整列ス將官ハ庭ニ面セル廊下ニ樞密議官及一等參事官等其對面ニ列ス

滿殿ノ光景ハ頗ル壯麗ナル觀ヲ呈セリ兩院ノ議員ハ殆ント残りナク參集セルニヨリ殿中ハ人ヲ以テ充滿セリ軍人竝ニ朝廷近侍諸官ノ禮服ハ諸勳社ノ騎士ノ盛裝ト相映ス其他大學ノ總代加特力「プロテスタント」ノ僧官等各其官服又ハ法服ヲ著テ其間ニ在リ又市長竝ニ自治吏員ハ質素ナル燕尾服ヲ著ケリ

殿ノ南端ニハ外交官ノ席アリ北端ハ特ニ參觀ヲ許サレタル公衆ノ席トス

十二時少シ前內閣大臣ノ入場ヲ報ス第一番ニ總理大臣帝國大宰相ピスマルク公次ニ各大臣上任ノ順序ニ從テ場ニ入り玉座ノ左ニ列ス大宰相總理大臣ピスマルク公ハ少シク體ヲ屈シテ參集者ニ禮シ而ル後各員ノ參集ヲ國王ニ奏ス

十二時ニ國王ノ臨御ヲ報ス守城兵一小隊前駈ス(以下國王ノ行列ヲ記ス姑ク之ヲ略ス)

國王玉座ニ即カセラルハ大宰相ハ謹テ敕書ヲ捧呈ス國王ハ兜ヲ戴キ玉ヒタル後左ノ如ク朗讀シ玉ヘリ

國會兩院ノ諸君

悲慘ナル時期ニ於テ朕始メテ此位置ヨリ諸君ヲ勞徠ス國璽カ先考皇帝ノ掌中ニアリシハ實ニ數月ニ過キサリシ然レトモ我カ父母ノ國カ先考ニ於テ如何ナル君ヲ喪ヘルカヲ知ルニハ充分ナリシナリ先考ノ風神ノ高キト其思想ノ貴キト我國ノ大業ヲ扶持シ玉ヘル大勳ト其重患ニ耐ヘ玉ヘル乾剛トハ其ノ人民ノ心裏ニ不朽ノ記念ヲ銘シタリ此悲痛ノ際ニ於テ朕ニ對シテ忠信ト哀悼ノ

意ヲ表シタル無數ノ證徴ニ附朕ハ今朕ヲ慰藉セル諸氏ニ深謝ス

先考皇帝崩去ニ依テ祖宗ノ王冠ノ朕ニ傳ヘラレタル後朕ハ朕ノ統治ノ初ニ於テ諸君ヲ召集シ憲法ニ定メタル宣誓ヲ直チニ諸君ノ前ニ於テ行フノ必要ヲ感ス

朕ハ神明ノ佑助ニヨリ王國ノ憲法ヲ堅固ニ且不可侵ニ維持シ憲法及法律ト一致シテ統治セムトスルコトヲ誓フ

諸君ウ井ルヘルム皇帝ハ其功烈赫々タル御宇ニ於テ今日ノ普漏生國ヲ創建シ而シテ我カ人民カ久シク希望セル帝國ノ統一ヲ成就シ玉ヘリ先考皇帝ハ其即位ノ後公然ノ記録ニ於テウ井ルヘルム皇帝ノ政略及事業ヲ繼承センコトヲ示シ玉ヘリ今其記録ハ恰モ先考皇帝ノ政略上ノ遺囑書トナレリ朕ハ普漏生國ノ政治ニ於テモ獨逸帝國ノ政治ニ於テモ先考皇帝ノ先蹤ヲ追ハントス朕ハウ井ルヘルム皇帝カ既ニ模範ヲ垂レ玉ヘル如ク朕ノ宣誓ノ旨ニ從ヒ忠實誠意ニ法律ト代議體ノ權利トヲ敬重シ保護スヘシ竝ニ王室ノ憲法上ノ權利ハ之ヲ減縮スルコトナクシテ後嗣ニ傳フルヲ得ル爲ニ同シク誠實ニ保護シ施行スヘシ王室ノ權利ヲ擴張セントシテ法律上ノ堅固ナル状態ヲ動搖セントスルカ如キハ朕ノ思ヒ及ハサル所ナリ朕カ今日掌握スル所ノ王室ノ權利ニシテ動搖セララルコトアルニアラサレハ普漏生國カ其歷史上ノ發達ニ於テ必要トシ其今日ノ組織ニ於テ必要トシ其帝國ニ於ケル位置ニ於テ必要トシ其人民ノ感情ト習慣トニ於テ必要トスル所ノ王室ノ勢力ヲ國家ニ及ホスニハ充分ナリトス蓋シ我國ノ憲法ニ於ケル諸般權力ノ配當ハ固ヨリ正當ニシテ國家ノ生活ニ甚タ有益ナリ故ニ朕ハ獨リ宣誓ノ爲ノミナラス實ニ此理由ニ依リ憲法ヲ維持シ保護セントス

祖宗ノ模範ニ遵ヒ朕ハ朕カ國ニ於ケル各種宗教ノ爲ニ信仰ノ自由ヲ保護スルヲ以テ朕ノ義務ナリト信ス

近來ノ宗教政策上ノ諸法律カ我國ト加特力教徒並ニ其教主トノ關係ヲシテ雙方ニ満足ナラシメ
タルコト朕ノ固ヨリ喜フ所ナリ朕ハ國內ニ於ケル宗教上ノ平和ヲ維持セシムコトヲ勉ムニシ
内治ノ改革ハ國會最後ノ集會ニ於テ其大體ヲ終結セリ榮譽職ニ基ケル自治ノ制度能ク民心ニ浸
潤シ有力ノ人物好ミテ公共ノ安寧ノ爲ニ力ヲ盡スノ實證ハ新法ヲ施行シテ既ニ充分ニ之ヲ得タ
リ將來此進歩ヲ失ハサランコトヲ勉メ新制ノ基礎ヲ鞏クシテ之ヲ益々其効ヲ顯ハサシムル
ハ朕ノ希望スル所ナリ

財政ニ於テハ朕ハ普國舊來ノ慣例ヲ守ルヘシ普國ノ安全ヲ開キ普國ヲシテ艱難ノ時ニ際シテ能
ク其職ヲ盡サシメ舊來ノ慣例ヲ固守スヘシ朕踐祚ノ始ニ方テ今日ノ如キ財政ノ狀況ヲ見ルハ
皆祖宗ノ賜ニシテ朕ノ満足スル所ナリ財政ノ狀況此ノ如クナルハ以テ町村並ニ細民ノ租稅ヲ輕
減スルノ事業ニ著手スルヲ得ヘシ此目的ヲ成就シ且從來費額ノ不足ニ依テ放擲シタル緊急ノ需
要ヲ補充スルコトヲ得ルハ是亦朕ノ希望ナリ

當春我國ノ豐腴ナル土地ノ大部分ヲ汎濫セル洪水ノ災ハ朕ノ痛心スル所ナリ幸ニ諸君ノ容易ニ
支出ヲ承諾セルニ由リ朕ノ政府ハ今日ノ創痍ヲ癒シ並ニ將來ノ災害ヲ豫防スル準備ヲナスヲ得
タリ此不幸ナル地方ノ人民ヲ此際ニ慰藉シタル者ハ實ニ政府ノ措置ノ外ニ我カ國人民並ニ外國
カ爭テ之ヲ救恤シタルニ由レリ朕ハ今此位置ヨリ此ノ如キ不幸ヲ減スルコトニ盡力シタル諸子
ニ謝詞ヲ述フヘキノ必要ヲ感ス

諸君諸君ハ議會開期ノ終結ニ臨ミテハ諸君カ政府ト共同シテ成就スル重要ノ事業ヲ満足シテ同
願スルヲ得ヘシ朕ハ今之ヲ豫想シテ確信ス其執ル所ノ主義異同アルコト拘ラス將來相信シ相倚リ
互ニ相助ケテ以テ國ノ安全ヲ進捗スルヲ得ヘキヲ
諸君朕ハ此動搖セル時期ニ於テ王位ノ重職ヲ負擔セリ然レトモ朕ハ神明ノ命ニ依リ負擔シタル

職務ヲ誠實ニ遵守シ同時ニフリードリヒ大王ノ格言ヲ服膺スヘシ曰ク普漏生ニ於テハ王ハ國家
第一ノ吏員ナリ

千八百八十六年一月十四日普國上下兩院開會ノ期獨國皇帝兼普國王ノ敕語

上下兩院ノ高貴ナル代議士諸君ニ告ク

朕茲ニ新會期ノ始メニ於テ諸君ニ迎接ノ禮ヲ述フルニ方リ朕重テ茲ニ朕ノ臣民ニ向ヒ朕政府ニ臨
ミ二十五年間幸ヒニ天神ノ祐助ニ頼リ内外多祥ノ治ヲ施セシテ回顧スルヲ得タルノ日ニ當リ朕ノ
臣民カ翕然トシテ愛戴ノ意ヲ表明シタルヲ謝セントス是レ朕ノ心情ニ於テ寔ニ禁スル能ハサル所
ナリ

之ト同シク大ヒニ朕ヲシテ満足セシメタルハ自國ノ境界外ヨリモ亦此ノ機ニ於テ朕ノ祝儀ニ加與
シ朕ニ賀辭ヲ送リシ者ノ甚タ多カリシ事トス是レ實ニ獨逸帝國ト外國諸政府トノ親密ナル關係ヲ
表示シ並ニ朕カ歐土平和ノ安然持續ヲ固ク信スル所ニ符合ス

其他朕ハ朕ノ總理大臣ニ命シ進ムテ諸君ニ國庫歲入出ノ形況及諸君ノ議ニ附スヘキ立法上ノ議案
ニ關スル報道ヲ爲サシメント欲ス(以下一段下ケテ記載セル文)
(ハビスマルク侯ノ演說ナリ)

政府ノ財政ハ前年ニ於テ獨逸帝國國庫ニ納ムヘキ金額ノ已々ヘカラサル増加ニ因テ著シキ不足
ヲ告ケシカ本年ハ復ヒ良好ノ狀況ヲ呈セリ

既ニ完結セシ最終會計年度ハ殆ント一切ノ樞要ナル行政部ニ於テ財政上ノ好果ヲ呈シタリ該年
度ハ設令次回ノ豫算年度ニ對シテ支出ニ供スヘキ剩餘ヲ殘サハリト雖モ是レ畢竟鐵道事務ノ

年計剩餘金ノ使用ニ關スル法律ノ然ラザル所トス即チ今此法律ニ依リ該年度ノ豫算外ニ出テ
 マル多額ノ剩餘金ハ直ニ其年度ノ計算ニ入レ其額ニ相當セル官有鐵道公債ノ消還費トシテ之ヲ
 支出セサル可ヲサリシナリ
 當會計年度ニ於テハ今日ニ至ルマテノ經驗ニ據ルニ前年度ニ於ルカ如キ好結果ヲ豫期スルヲ得
 ス就中鐵道事務ニ關スル剩餘金ノ如キハ貿易交通衰減ノ影響ニ依テ蓋シ豫算金額ニ達スルコト
 覺東ナカルヘシ然リト雖モ總體ノ成果當年度ニ於テモ亦決シテ不長ナラサルヘシト期望スルモ
 不可ナルコトナカルヘシ
 次年ニ對シ特ニ着眼スヘキモノハ曩ニ法律ヲ以テ關稅ノ收入ヲ地方自治體ニ委託スル事ト小學
 校ノ教員ニ年金ヲ給與スルコトヲ決定メタルニ因テ地方自治體並ニ學校ニ關スル負擔上數年來顯
 出セシ需要ヲ始メテ給足スルノ第一歩ヲ爲セシ事はレナリ但シ此事タル國庫從前ノ收入ヲ以テ
 ハ之ニ應スル金額ヲ得ルニ由ナク又他日之ヲ得ヘキ見込ナカリシ所ノモノナリ故ニ右兩法律ノ
 發布ニ因テ増加セシ支出ハ曩ニ獨逸帝國ノ法律ニ依テ新ニ我國庫ニ受納シタル收入ノ増額ヲ大
 抵之ニ充テシタルニ至ルヘシ然ルニ獨逸帝國歲出入ノ次年ニ於テ更ニ聯邦分擔額ヲ増加セシ
 ルコトハ今日ヨリ之ヲ期セサルヲ得サルナリ斯ノ如キ狀況ナルヲ以テ次年ニ於テハ許多ノ官設
 營業ニ就キ精密ニ調製シタル豫算ニ依リ多額ノ剩餘金ヲ得ルモ又從前高利ノ公債ヲ四分利ノモ
 ノニ變改セシニ依リ國庫支出ノ利子額ヲ大ニ輕減スルモ加之新規ノ需要ニ就テハ力メテ節儉省
 略ヲ行フモ到底次ノ會計年度ニ於テ收支ノ權衡ヲ保ツニ尙不足スル所アルヲ免カレヌ
 是故ニ右ノ缺額ヲ補フカ爲メ設令當年度ニ於ルヨリモ少額ナルモ再ニ國債ヲ起スニ至ルヘシ
 我政府ハ前陳ノ理由アルニヨリ竝ニ地方費及學校費ノ負擔ヲ稍ニ輕減スルノ初メニ於テ忽チ弛
 慢ノ狀ヲ呈ス可ヲサルト及官吏俸給ノ改良延期ノ事ヲ其儘ニ放棄ス可ヲサルトヲ信認スルニ因

リ更ニ進ムヲ獨逸帝國稅法ノ改良ニ盡力スルノ要ヲ見ル就中火酒專賣法ヲ實施スヘキ帝國法律
 ノ規定ヲ起草シ且ツ之ヲ建議セシコトヲ企起セリ我政府ハ此法ノ果シテ採用セラレハニ至レハ
 我國及獨逸帝國ノ關クヘカラサル需要ヲ給足スルニ餘リアルノ收益ヲ得ヘキ而已ナラス亦德義
 上及健康上善良ノ成果ヲ得ヘキコトヲ期圖ス
 次年ノ歲出入豫算案及次年ノ國庫歲入ヲ補充スヘキ國債ノ募集ニ關スル法律案ハ日ナラスシテ
 諸君ノ議ニ附スヘシ

工業製造ノ事ニ關シテハ營業ノ各派ニ於テ販路ノ梗塞頗ル顯著ナリ

蓋シ此狀ハ從前工業ノ成果良好ナルニ因テ諸業奮起シ從テ生産額ノ増加セシト竝ニ獨逸ノ製造
 品ヲシテ製造ノ盛大ナル抗敵國トノ競争ニ於テ勝利ヲ保セシメシコトヲ希望スルトニ基因ス之
 ヲ救助スルノ策ハ我立法權ノ域外ニアリ獨リ我生産額ヲ需要ノ度ニ減縮スルノ一策ハ則チ彼ノ
 販路ナキニ苦ミテ物産ヲ重積セシムルカ如キ經濟上不良ノ結果ヲ排斥スルヲ得ヘシ

我鐵道政略ノ喜悅スヘキ成績ハ本年ニ於テモ亦國內ノ諸所ニ許多ノ連接鐵軌ヲ布設シ以テ交通
 ノ要路ヲ開キ經濟上ノ發達ヲ一層振勵セシカ爲メ該布設案ヲ諸君ノ議ニ附セシムルニ至レリ
 内地水運ノ業ヲ振起スルコトニ關シテハ歲入出豫算案中治水及水運ノ施設ニ就テ要求スル所數
 件アルノ外尙左ノ兩議案ヲ提出セントス即チドルトムントヨリエムス港ヘ達スル運河開鑿案ノ
 千八百八十三年ニ於テ一端無効ニ歸セシモノヲ便宜擴張セシ案及現今貿易ノ需要ニ應シテオ
 デル河ノ中流ヨリ伯林ニ達スル運河開鑿ヲ目的トスルノ案是レナリ

近時發行ノ郡治及州治章程ニ依テ行政改革ノ實施ハ阿諾威州ニ於テ豫期ノ如ク既ニ成功ヲ告ケ
 タリ又ヘッセンナッロー州ニ於テハ其目的ヲ達スルコト近キニアルヘシ之ニ依テ其要領ニ於テ
 復々勳スヘカラサルノ改革事業ハ尙國內ノ四州ヲ餘ス而已ニテ之ヲ完結スルハ立法上ノ重要ヲ

ル責務トス之カ爲メ今回先ツウエストツアールン郡治及州治章程案ヲ編成シ以テ諸君ノ憲法

上ノ議ニ附セントス
東方二三ノ州ニ於テ波蘭人ノ増殖ニ因テ獨逸人種ノ排斥セララル、事ハ我政府ヲシテ其義務トセ
テ獨逸人種ノ生存及増殖ヲ保スルニ足ルノ處置ヲ爲サシムルニ至レリ此目的ヲ以テ現ニ起草中
ノ議案ハ不日諸君ノ議ニ附セントス

高貴ナル諸君ヨ
諸君ハ右ノ朗讀ニヨリ國會ノ爲メ復ヒ貴重ナル事務ノ一大郊野ノ開カレシ事ヲ了知セララルヘシ朕
切ニ望ム其郊野ニ於テ諸君ハ本年モ亦美果ヲ結ヒ且ツ天神惠祐ノ下ニ立チテ我國ノ福利ヲ増進ス
ルノ勞ヲ取ラレンコトヲ

皇帝陛下ノ命令ニ依リ茲ニ國會ノ開場ヲ宣ス

千八百八十八年一月十四日普國上下兩議院開會式舉行ニ附當日皇帝並太政大臣ビスマル
ク公臨場ナキニ依リ太政大臣代理内務卿ホンベチヘル氏敕諭ヲ奉シ左ノ演說ヲ爲シタリ

國會兩院紳士貴下

我皇帝陛下ハ辱クモ予ニ任スルニ王國國會開會ノ事ヲ以テシ給ヘリ
我尊重ナル皇太子殿下ノ御達例ノ爲メニ上ハ皇帝陛下皇族ヨリ下ハ吾々臣民ニ至ルマテ未タ心ヲ
安スルコトヲ得ス然レトモ吾人ハ御快愉ノ望ヲ有スルヲ以テ更ラニ上帝ニ祈ルニ冥助ヲ以テ速カ
ニ皇太子ノ御反常アラシコトヲ以テセントス

國家ノ財政ハ企圖シタルモヨリハ更ニ良好ノ結果ヲ得タリ

千八百八十六年四月一日乃至千八百八十七年三月三十一日即チ最近ニ經過シタル會計年度ノ成跡
ハ請求額ノ豫算ニ超過シタルコト著シク該年度ノ歳出入豫算表ヲ調製スルニ際リテヤ一千二百萬
馬克ノ公債ヲ募リテ收入金ヲ増補シ以テ支出ニ供スルノ必要ヲ示シタリ然ルニ該年度ノ財政上實
際收入ノ増加シタルト支出ノ著シク減少シタルカ爲メニ請求額ニ比シテ總計三千二百萬馬克ノ餘
剩ヲ生シタリ是故ニ此金額ハ鐵道利益保證條例ノ規則ニ準シ承諾ヲ受ケタル公債高ノ違算ト見做
シ尙ホ本年度ノ計算上公債ノ消却ニ關スル餘分ヲ支出ニ充ツヘキモノトス

本年度即チ千八百八十七年四月一日ヨリ千八百八十八年三月三十一日ニ至ル會計年度ノ成跡ハ更
ラニ之ヨリ佳良ナルモノ、如シ本年度ノ歳計豫算表ヲ調製スルニ際リテヤ收支相償ハシムルカ爲
メニ四千萬馬克ノ公債ヲ起スノ必要ヲ見タリシニ今日迄ノ結果ニ依レハ本年度モ亦大ニ支出ヲ減
シ政府ノ作業殊ニ鐵道ノ收入金ヲ増加シ且帝國ノ保助金ヲ受ケタルコト多キヲ以テ餘剩ヲ生スル
コト昨年度ニ比スレハ非常ニ多カルヘシ此金額モ亦鐵道利益保證條例ノ規則ニ從ヒテ處分スヘシ
就中政府本來ノ財源ノ悅フヘキ發達ト千八百八十七年始メテ擴張スルコトヲ得ルニ至リタル帝國
租稅ノ改正ノ結果トハ非常ノ事件起ラサル以上ハ從前ノ如ク政府ノ歳出入ヲシテ將來平均ノ位地
ニ復セシムヘキ景況ナリ政府ハ又本年度ニ於テモ昨年度ニ於ケルカ如ク勉メテ費用ヲ節減シ從來
ノ財政ニ在リテハ其極メテ必要ニシテ公衆ノ是認シタルモノト雖モ執行スルニ困難ナリシ所ノ政
務ヲ執リ漸ヲ以テ進ミ確カニ其効績ヲ收メントス

常費額ノ増加シタル科目中第一ニ居ルモノハ曾テ國會ノ承諾ヲ受ケ且皇帝陛下ノ至仁至愛ナル敕
慮ニ出テタル僧侶ノ生計ヲ改良スルノ費目ナリ千八百七十四年三月九日ノ民籍律ナフヒールスヲ
以テ當時所得ノ關係上ヨリ生シタル僧侶ノ負債ヲ消却スヘキ特別ナル法令ヲ發スヘキコトヲ定メ

ダレトモ爾來未タ之ヲ發布セサルナリ是レ種々ノ困難アルニ由ルナリ而シテ此困難ハ今尙ホ依然
 現存シテ到底排除スヘカラサルモノ、如シ故ニ之レニ代ユルニ僧侶ノ増給ヲ以テシ今日ノ關係上
 生計ニ困マサル的ニ至ラシメントス
 政府カ官吏ヲシテ寡婦及孤兒養育金ヲ負擔セシムルノ權利ヲ棄却シ官吏俸給改良ノ初歩ヲ爲スモ
 亦頗ル必要ナルヲ覺ユルナリ
 其他地方稅及學校稅ノ負擔ヲ更ニ輕減スルカ爲メニ多額ノ費用ヲ要ス現政府ハ國庫ノ資力ヲ増シ
 タルノ度ニ應ジテ公立小學校教員ノ俸給ヲ補助シ之ヲ以テ永シ政府歲計豫算表中ノ支出義務中ニ
 編入セントス
 右ノ目的ヨリシテ編成シタル官吏ノ寡婦及孤兒養育金負擔ノ廢止ニ關スル法律案及小學校費負擔
 ノ輕減ニ關スル法律案ハ千八百八十八年四月一日乃至千八百八十九年三月三十一日ノ一ケ年度ノ
 政府歲計豫算表ト共ニ諸君ノ受領セララル、所トナルヘシ
 鐵道制度ニ於テハ官有鐵道線路ノ擴張及成功ニ必要ナル新接續線路其他ノ工事ヲ起スカ爲メニ諸
 君ニ請求スル所アルヘシ
 ワイヒセル河下流ノ土木費ニ關スル原案モ亦諸君ノ落掌セララル、所トナルヘシ
 尙ホ諸君ニ示スヘキモノハ政府ノ警察署ヲ設置セル市邑ノ地方警察費ノ支辦法ニ關スル法律案ナ
 リトス
 農林ノ營業上不幸ニ逢遭シタル勞役夫ヲ扶助スルコトニ關スル法律ハ雇主及地方官署ノ好意盡力
 ニ依リテ支障ナク執行スルコトヲ得タリ保險義務ヲ負フ所ノ諸協會ハ各集會ヲ開キ其保險事務ヲ
 自治體ノ機關ニ委任スルコトニ關シテ各協同一致ナル決議ヲ爲セリ此保險事務ノ爲メニ生シタル
 費用ハ各義務者ニ分擔セシムルコトニ關シテモ亦殆シト同一一致ノ決議ヲ得タリ

諸君予ハ皇帝陛下ノ敕命ニ由リ諸君ニ來會ノ好意ヲ謝シ再ヒ議事ニ就カシメ本年度ノ會議モ亦上
 帝ノ加護アラント祈ル
 皇帝陛下ノ敕命ニ由リ茲ニ王國々會ノ開會ヲ告ケ

一千八百八十七年十二月六日米國大統領敕書

永井久滿次譯

合衆國代議院ノ代議諸士ヨ今我國財政ニ附キ諸士ノ周密急速ナル討議調査ヲ要スヘキ事項生セリ
 現行稅則ノ規定ニ依リ毎年人民ノ商工業及必要品ヨリ國庫ニ徵收スル金額ハ政府ノ經費支出ノ額
 ニ超過スルコト著大ナリ
 我國憲法ハ人民ヲシテ其商工業ヨリ獲得スル利益ヲ充分ニ享有セシムルコトヲ保認シ之ヲシテ其
 保護ヲ受クル政府ノ維持費ヲ分擔セシムルニ必要ナル納稅ノ義務ヲ課スルコトヲ思フトキハ之ニ
 超過スル納稅ヲ爲サシムルハ人民ヲ虐クルモノニシテ亞米利加國ノ正義ヲ失フコト最モ甚シキモ
 ノナリ納稅ノ義務ヲ有スル人民ノ此被害ハ實ニ他ノ被害ト等シク夥多ノ災禍ヲ遺スモノナリ人民
 ノ租稅ヲ正當ナル用度ニ支供スヘキ種管ノ位地ニアル大藏省ハ徒ニ商業及人民ノ使用ヨリ扣除シ
 タル金錢ノ貯蓄所ト爲ルヘシ若シ夫レ如斯ナルトキハ之カ爲ニ我國ノ勢力ヲ挫折シ我國ノ發達ヲ
 支障有益ナル商工業ノ資本ヲ微弱ナラシメ財政ノ恐慌ヲ招來シ掠奪公行スルニ至ルベシ
 右ニ述ヘタル我國財政ノ形勢ハ一朝一夕ノコトニアラス今日ニ至ルマテ數回之カ救濟ノ方策ヲ有
 スル代議院ニ之ヲ通告セリト雖モ尙依然トシテ未タ其改良ヲ見ス而シテ益其弊ニ堪ヘサラシキ
 假令方今ニ於テハ未タ其弊害ノ急迫明瞭ナルコトナシト雖モ宜シク今日ニ於テ之カ矯正ノ途ヲ講

スヘシ若シ今日ニシテ之カ矯正ヲ爲サス等閑ニ附スルトキハ後日臍ヲ噬ムノ悔アルヘシ
 千八百八十三年六月三十日ニ於テ歳入ノ歳出ニ超過スルコト公債償却ノ額ヲ扣除スルモ尙千七百
 八十五萬九千七百三十五弗八十四「セント」ニ達セリ千八百八十六年六月三十日ニ於ケル年度ノ精
 算ニ依レハ其超過額四千九百四十萬五千五百四十五弗二十「セント」ナリ又千八百八十七年六月三
 十日ニ於ケル年度ノ精算ニ依レハ五千五百五十六萬七千八百四十九弗五十四「セント」ノ超過額ヲ
 見ルニ至レリ

以上ノ三年間ニ於ケル公債償却ノ總金額一萬三千八百〇五萬八千三百二十弗九十四「セント」ヲ右
 ノ超過額ヨリ扣除セントシテ三步公債ヲ償却セリ千八百八十七年六月三十日ヨリ前期六月間ニ於
 テ剩餘金ノ額非常ニ増加シタルヲ以テ民間ノ金融澁滞ヲ爲ニ商工業ヲ害セントヲ恐レ其剩餘金
 ヨリ七千九百八十六萬四千百弗ヲ支出シテ政府ノ隨意ニ依リ償却シ得ヘキ三步公債ノ元利金ニ充
 テタリ然レトモ尙民間ノ金融活潑ナラス之カ救護ヲ要スルヲ以テ殘餘ノ三步公債元利金額千八百
 八十七萬七千五百弗ヲ支出シテ次年度ノ公債償却ニ充テタリ夫レ如斯大藏省ハ之カ救濟ニ汲々
 リト雖モ益其弊害ニ堪ニス恐惶將ニ來ラントセリ故ニ未タ償却期限ニ至ラサル四分及四分半ノ利
 子附公債證書ヲ買上ノ爲ニ二千七百六十八萬四千二百八十六弗五十五「セント」ヲ支出セリ前者ハ
 額面ノ金額ヨリ其二割四分以上ノ價格ヲ以テ之ヲ買上ケ後者ハ額面ノ金額ヨリ八歩以上ノ價格ヲ
 以テ之ヲ買上ケタリ加之尙殘餘ノ公債ノ利子ヲ見積リ銀行ニ附託スル公金ノ高ヲ稍増加スルコト
 ヲ許可セリ

右ノ如キ方法ヲ以テ國庫ニ聚合シタル貨幣ヲ民間ニ支出シ急迫ノ危難ヲ救ヒタリト雖我國歳入ノ
 剩餘ハ益増加ヲ來シ本年十二月一日マテノ精算ニ依ルモ其剩餘金額ハ五千五百二十五萬八千七百
 〇一弗十九「セント」ナルヲ以テ翌年六月三十日ニ至レハ一億千三百萬弗ノ剩餘ヲ見ルニ至ルヘシ

而シテ之ヲ前年度ノ剩餘金額ニ算入スルトキハ一億四千萬弗ニ達スヘシ
 夫レ如斯民間ノ流通額ヲ減少スルヲ以テ再度前年ノ如キ恐惶ヲ來スモ計リ知ルヘカラス我國大藏
 省ハ勉メテ民間ノ事業ニ干渉ヲ爲サス善良ノ地位ニアルト雖徒ニ民間ノ金錢ヲ國庫ニ吸取スルハ
 其目的ニ反スルモノナルヲ以テ政府ニ於テ亂費冗費ヲ爲サスシテ民間ノ金融ヲ圓滑ニスルコト請
 求スルハ謂ハレナキコトニアラサルナリ

若シ國庫ニ吸取シタル金錢ヲ民間ニ散布セントスルモ之カ方策ナキニ苦ムナリ從來政府ノ隨意ニ
 由リ償却シ得ヘキ三步公債アリタルヲ以テ之ニ依リ民間ノ金融ヲ緩ニ爲スコトヲ得タリト雖モ既
 ニ悉ク之ヲ償却シタルニ依リ目下此方策ヲ取ルコトヲ得ス公債證券買上ノ費ニ充タル金錢モ少額
 ナラスト雖モ今日ニ於テハ最早此支出ヲ爲スコトヲ得サルナリ
 目下國庫ノ剩餘金ヲ民間ニ散布セントスルニハ大藏省ニ於テ償却期限ノ到達セサル政府ノ公債ヲ
 時價ヲ以テ買上グルノ一途アルノミ而シテ此買上ハ數年前ノ豫算ニ於テノミ之ヲ許可シ是一時ノ
 豫算ニシテ永遠ニ執行スヘキモノニアラス一ノ官吏ヲシテ隨意ニ國庫ノ公金ヲ民間ニ散布シ或ハ
 民間ヨリ之ヲ吸取シ我國ノ財政ヲ左右スルコトヲ得セシムルハ爲スヘカラスナルコトナリ故ニ目下
 大藏大臣ニ公債買上ノ權ヲ附與スルコトヲ必要ト認ムルモノトスルトキハ之ヲ附與シテ可成的之
 ヲ制限シ以テ同時ニ其責任ヲ輕クスヘシ

國庫ニ貯蓄シタル剩餘金ヲ民間ニ流通セシムル爲ニ公債ヲ買上クルノ策ヲ講スルトキハ宜シク額
 面ヨリ高價ニ之ヲ買上ケサルヘカラスナルコト買上クルコトヲ得サルモノ多數アルコト及賣人ノ團
 結ニ依リ不當ノ騰貴ヲ來スコトヲ記臆セサルヘカラス
 現今ノ公債ヲ更ニ低利ノ公債ト引換エ新舊公債ノ差ヲ現金ニテ支拂フヲ以テ國庫ノ剩餘金ヲ支出
 スルノ一方法ト爲スモノアリ然レトモ此事タルヤ現在公債證券所有者ノ意思如何ニ依ラサルヘカ

ラス而シテ公債買上ハ公債ノ元金ヲ減少スルヲ以テ此引換ヲ爲スハ買上ト何レカ其結果ヲ得ルヤ未之ヲ知ルコトヲ得サルナリ

國庫ノ剩餘金ヲ全國ノ銀行ニ附託シ人民ノ金融ヲ助ケントスルノ議ハ原理上之ニ反對セサルヘカラス何トナレハ是大藏省及全國ノ商工業トノ間ノ關係ヲ疎ニシ官民ノ金錢ヲ混合スルニ過キタルモノニシテ民間ノ事業ヲシテ公金ニ依頼セシムルノ弊アレハナリ若シ之ヲ爲サントスルトキハ宜シク之ヲ一時ノ方策ト爲スヘシ立法及行政ハ反對ノ地位ニアリテ益速カニ大藏省ト民業トノ關係ヲ疎ニスルノ傾向アリ

歳入ノ剩餘ヲ支出セシ爲ニ冗費ヲ爲スハ固ヨリ望マサル所ナリ冗費ハ公義務ノ正義ニ反シ我國人民ノ意思及政府ノ慈惠ナル目的ニ矛盾スル自放自棄ノ風ヲ來タスヘシ

予ハ如斯我國人及立法權ヲ有スル其代議士ニ我國財政ノ傾向ヲ示スノ義務アルモノト信ス從來代議院ニ於テ必ス發生スルコトノ明瞭ナル此危險ニ對シテ防禦ノ策ヲ講セサリシヲ以テ終ニ前期代議院閉會ノ後財政ノ恐慌ヲ生シタリ政府ハ行政上之カ救済ノ策ヲ悉ク施シタルモ既ニ盡キタルカ如シ夫レ如斯恐惶ハ代議院ノ不注意ニ原由シタルモノナルヲ以テ其責任ヲ負フモノモ亦代議院ナリ上來開陳シタル我國財政ノ現況ハ益危險ノ狀ヲ呈シ我國及國民ノ利益ヲ損害スルコト甚シト雖モ是レ明白ナル原因アツテ然ルモノナリ其原因トハ何ソヤ曰ク民間ノ貨幣ヲ國庫ニ吸取シ以テ金融ヲ澁滯セシムルコト是ナリ吾人ハ現況ノ救済ヲ求ムルト同時ニ自今此原因ヲ撤去シテ將來安全ナラシメント希冀ス

此無益ノ剩餘金ヲ國庫ニ堆積スル我國ノ租稅ハ輸入稅及煙草酒類ノ內國稅ヲ以テ成立ス内國稅ヲ課スル物品ノ必要品ニアラサルハ固ヨリ吾人ノ認ムル所ナリ此等ノ物品消費者ハ之ニ對シテ不服ヲ唱フルコトヲ得ス又國民一般ノ負擔ヲ輕カラシムルニハ之ニ若クモナシ

夫レ如斯内國稅ニ附テ一モ非難スルコトナシト雖モ我國現行輸入稅則ハ實ニ不當不法ノ規則ナリ以テ宜シク直ニ之ヲ改正セサルヘカラス此規則アルニ依リ凡テ輸入品ノ物價ヲ騰貴シ輸入費消費者ハ輸入稅ニ充ツヘキ丈高價ヲ以テ之ヲ購買セサルヘカラス輸入稅ノ額ハ輸入品購買者ヨリ支拂フヘキ稅金ノ額ニ相當スヘシ然レトモ方今貨物ノ過半ハ内國ニ於テ製造スルコトヲ得ルヲ以テ外國品ニ課スル輸入稅ハ内國産業ヲ保護スルモノト稱セリ何トナレハ内國製造人ハ之ニ依リ海關稅ヲ支拂ヒタル外國品ト同一ノ物價ヲ以テ其製造品ヲ販賣スルコトヲ得レハナリ故ニ比較的外國品ヲ使用スルモノ僅少ナリト雖モ曾テ外國品ヲ使用セサル我國數萬ノ人民ハ内國製造ノ物品ヲ海關稅ニ依リ物價ヲ騰貴スル外國品ト同價ヲ以テ之ヲ購買ス輸入品ヲ購買スルモノハ之ニ依リ其輸入稅ヲ國庫ニ支拂フト雖モ内國人民ノ大半ハ内國品ヲ使用スルヲ以テ殆ント輸入稅額ト同一ノ金額ヲ内國製造人ニ支拂フモノナリ今予ノ我國輸入稅則ニ附テ茲ニ述ヘタルハ諸君ニ之ヲ訓示スル爲ニアラスシテ吾人ハ常ニ内國品並ニ外國品ヲ消費スルモノノ之ニ依リ重稅ヲ課セラル、コトヲ記憶センカ爲ナリ

余ハ全ク此稅ノ徵收ヲ廢止セントスルモノニアラス反テ之ヲ以テ國庫歳入ノ原因ト爲サ、ルヘカラス而シテ輸入稅則ヲ改正セントスルニハ内國製造ニ使役サル、労働者及製造人ノ利害ヲ鑑ミサルヘカラス輸入稅ヲ稱シテ保護稅ト云ヒ或ハ他ノ名稱ヲ附スルモ余ノ關スル所ニアラスト雖モ内國製造ノ利害ニ注意シテ宜シク現今ノ弊害ヲ矯ムルノ策ヲ講スヘシ内國製造ノ利害ニ注意スルトハ社會ノ安寧國家ノ必需ヲ顧ミス内國製造人ヲシテ一朝利益ヲ得セシメントスルニアラスシテ漸時此輩ヲシテ利益ヲ得セシメントスルヲ云フナリ我國産業ノ益發達スルニ及ヘハ現行輸入稅則ニ依リ利益ヲ享有スト思惟スルモノハ益之ヲ繼續センコトヲ欲スヘシ現今ニ於テモ既ニ製造人等ハ團結ヲ爲シテ此改正案ニ最モ熱心ニ反對スルモノアリ

吾人ハ將ニ百年祭ヲ祝シ米國ノ熟練技巧勢力工業及天然ノ風土ヲ傲ルモノナリ然ルニ内國製造人ノ利益ヲ爲ニ不當ノ稅ヲ消費者ニ課スルヲ正當ト爲サントスルハ我國工業ヲ幼稚ト爲シ政府ノ最大ナル保護ヲ要スルモノト爲スナリ

現行輸入稅則ニ原由シテ内國製造品ノ高價ナルハ米國製造労働者ニ歐洲労働者ヨリ多額ノ賃金ヲ得セシムルニ必要ナリト云フモノアリ諸士ハ我國労働者ノ安全ヲ計リ相當ノ賃金ヲ得セシムルコトヲ至當ト認ムヘシ労働者ハ米國人民ノ尊敬スルモノニシテ我國發達ノ柱石タルヲ以テ普ク此輩ヲ厚遇スヘシ我國労働者ノ生計ノ度ハ他國ノ例ニ比スヘカラス彼輩ハ充分ニ我國ノ利益ヲ享有スルノ權ヲ有スルナリ

最近ノ戶籍調査ニ依レハ我國労働者千七百二十九萬二千〇九十九人ノ中農業ニ従事スルモノ七百六十七萬〇四百九十三人ニシテ雇人奴僕ト爲ルモノ四百〇七萬四千二百三十八人ナリ(内二百九十三萬四千八百七十六人ハ奴僕ナリ)而シテ商業及運漕ニ従事スルモノ百八十一萬〇二百五十六人ニシテ製造採鑛ニ従事スルモノ三百八十三萬七千七百七十二人ナリ

今製造採鑛ニ従事スルモノニシテ現行輸入稅則ニ依リテ利益ヲ享クルモノハ甚タ僅少ナルヘシ大工及指物師三十七萬五千四百三十三人粧飾師裁縫師縫衣女二十八萬五千四百〇一人冶金師十七萬二千七百二十六人仕立職工十三萬三千七百五十六人石工十萬二千四百七十三人屠獸人七萬六千二百四十一人麵粉職人四萬三千三百〇九人左官二萬二千〇八十三人及農具製造人四千八百九十一人ヲ合シテ百二十一萬四千〇三十二人トス之ヲ總計ヨリ減スレハ現行輸入稅則ニ依リ利スル雜貨製造人ハ二百六十二萬三千〇八十九人ナリ

此労働者ヲ煽動シテ以テ改正案ニ反對シ賃金ノ低落ヲ防カントスルモノアリ然レトモ余ハ之ニ對シテ此働者ハ一般ノ労働者ニ比スレハ甚タ少數ナルヲ以テ少數ノ利益ヲ擲テ物價ヲ低フシテ多

數ノ利益ヲ計ルヘシト云フモノニアラス彼輩ハ現行輸入稅則ニ依テ享クル所ノ利益ニ戀々タリト雖少シク考慮スレハ彼輩ト雖モ等シク是レ消費者ナルコトヲ覺ルヘシ彼輩及其一家ハ其得ル所ノ賃金ヲ以テ生計ノ要品ヲ購買セサルヘカラス然ラハ物價ノ低廉ナルハ賃金ノ高貴ナルト等シク生計ノ愉快ヲ保ツテ得ヘシ

然レトモ減稅ニ依リ爲ニ労働者ヲシテ其職業ヲ失ハシメ或ハ其賃金ヲ減スルカ如キコトアルヘカラス現行稅則ヲ改正スルモ尙製造人ヲシテ相當ノ利益ヲ享有セシメ其使役スル労働者ヲ解雇シ或ハ其賃金ヲ減額スルノ口實ヲ得セシムヘカラス労働者ハ高貴ノ賃金ヲ得ルニハ現行ノ重稅ヲ必要ト爲スモ之カ爲メ平素自ラ竝ニ其一家ノ使用スル物品ノ價値ヲ騰貴セシムルコトヲ覺ルヘシ蓋シ労働者カ労働シテ毎日雇主ヨリ受取ル所ノ賃金ハ其住家ニ歸ルニ先チ自己ノ労働ヲ以テ製造シタル物品ヲ一家ノ使用ノ爲ニ高價ヲ以テ購買セサルヘカラス是レ現行稅則ノ依テ然ラシムル所ナリ

農業者ハ一モ製造スルコトナク凡テ農具其他ノ消費物ヲ現行稅則ニ依リ騰貴シタル物價ヲ以テ購入セサルヘカラス其獲得スルモノハ家畜ノ仔子其他農作物ナリ然ルニ誘惑セラレテ現行稅則ヲ維持セントス彼輩ハ誘惑セラレテ曰ク輸入羊毛ニ重稅ヲ課スルハ内國ニ於テ羊ヲ飼養シ其剪毛ヲ販賣スルモノニハ羊毛ノ物價ヲ維持スル爲ニ必要ナリト彼輩ハ固ヨリ飼養セサル農業者ヲシテ必ス絨衣ヲ購買シテ羊ヲ飼養スル農業者竝ニ製造人及商人ヲ利セシムルコトヲ得ルト爲スモノニアラス又羊ノ飼養者及其一家ハ必ス自己ノ販賣シタル羊毛ノ織物ヲ購買使用シテ以テ其稅則ニ依リ得タル利益ヲ商人ニ還附スルモノト云フコトヲ得ス

全國各飼羊者ノ有スル羊ノ數ハ二十五頭乃至五十頭ナリ輸入羊毛稅ハ一封度ニ附キ三十「セント」以下ノ羊毛ニハ一封度ニ附キ十「セント」ヲ課シ三十「セント」以上ノ羊毛ニハ十二「セント」ヲ課ス一頭ノ羊毛六封度ト爲シタルトキハ其輸入稅ハ六十「セント」若ハ七十二「セント」トス是レ現行稅

則ニ依リ農業者ノ得ル利益ナリ故ニ廿五頭ノ羊毛ヲ以テ得ル所ノ利益ハ十八弗ニシテ五十頭ノ羊毛ヲ以テ得ル利益ハ三十六弗ナリ而シテ目下ノ相場ニ依レハ此純利ハ代價ノ三分ノ一ニ當ル若シ此純利ヲ算入シタル相場ヲ以テ羊毛ヲ賣却スルトキハ其稅額ハ常ニ羊毛ニ附着シテ終ニ消費者之ヲ償却スヘシ此羊毛ヲ以テ織物其他ノ品ヲ製造スルトキハ更ニ他ノ輸入稅則ニ依リ製造人ノ利益ノ爲ニ其代價ヲ騰貴セサルヘカラス而シテ農業者ハ冬季ニ向ヒ自己及其一家ノ使用ニ供スル爲メ絨衣其他ノ物品ヲ購入セサルヘカラス此時ニ當リ農業者ハ曩ニ得タル純利ノ外尙製造ニ依リ増加シタル輸入稅額ヲ支拂ハサルヘカラス終ニ彼輩ハ羊毛ヲ賣却シタルトキハ現行稅則ニ依リ純利ヲ得タルカ如ク見ユルモ今之ヲ購買スルニ當リ此稅則アルカ爲メ其支拂フヘキ代價ハ所謂純利ノ金額ヲ以テ償フコト能ハサルヲ見テ驚嘆スヘシ

羊毛ヲ賣却スル農業者ノ數ヲ全國農業者ノ數ニ比較シテ其僅少ナルヲ知リ飼羊者ノ現行稅則ニ依リ得タリト爲ス純利モ全ク空望ニ屬シタルコトノ明白ト爲リ此稅則ハ生計ノ費額ヲ増加シ老若男女貧富ヲ問ハス凡テ其負擔ヲ重クシ此稅ハ各人日用ノ衣服ニ附着スルコトヲ覺リタルトキハ我國輸入稅則ノ改正ニ當リ其稅率ヲ減スルコトノ必要ナルハ識者ヲ俟テ知ラサルナリ

外國製造品輸入稅則ニ依リ內國製造品ノ物價ヲ騰貴セシメタルコトヲ論スルニ當リ內國製造人ノ競爭ニ依リ稍其騰貴ヲ防止スルヲ得ヘキコトヲ考ヘサルヘカラス然レトモ製造人ハ同盟ヲ爲シテ供給及物價ヲ支配スルヲ以テ此競爭ハ充分ノ効果ヲ生セス而シテ人民ハ此製造人ノ專横ヲ止ムルコトヲ得サルナリ

若シ右ニ述ヘタル如キ同盟アラスシテ自由ノ競爭ニ依リ物價ヲ低落シ而シテ益其製造ヲ盛ソニ爲スコトヲ得レハ稅率減額ヲ企テ爲スモノ、宜シク周密ニ調査スヘキコトナリ

物價ノ低落ヲ防ク爲ニ同盟ノ必要ナルコトハ廉價ヲ以テ其製造品ヲ販賣セントスル者アルコト及

廉價ヲ以テ販賣スルモ相當ノ利益アルコトヲ證スルニ足ルヘシ而シテ競爭ニ依リ物價ヲ低落スルモ亦同一ノ事ヲ證スヘシ若シ夫レ如斯ナルカ然ラハ稅率ヲ減額スルモ何ノ妨ケナキカ如シ

上來開陳シタル我國輸入稅則ニ關スル意見ハ國庫ノ剩餘金ハ海關稅ノ減少ニ依リ之ヲ防クコトヲ得ルヲ諸士ニ勸告シ又之ト同時ニ若シ稅率ヲ減額スルコトヲ得レハ輸入稅ノ最モ必要ナル地方ニ於テハ輸入稅ノ負擔ヲ輕クシ竝ニ正當ニ課スルコトヲ得ヘキ稅源ヨリ人民ヲ救助シ以テ吾人ノ人民ニ對スル二個ノ義務ヲ免ルコトヲ得ヘキヲ告ケンカ爲ナリ

余ハ決レテ之ヲ以テ我國工業ノ利害ヲ慮カラス之ヲ重セサル者ト見做サルヘカラス

我國工業ノ利益ハ我國強大ノ要素ニシテ我國進歩ヲ傲ルニ缺クヘカラサルモノナリ然レトモ急迫ノ事情ニ依リ我國製造人ニ請フニ公益ノ爲メ一步ヲ讓リ目下ノ困難ヲ救ハンコトヲ以テスルトキハ彼輩ハ其愛國心及既往ノ利益ニ報スルノ心ヲ以テ喜ンテ之ヲ協贊スヘシ余ハ彼輩ヲシテ政府ノ保護スヘキ利益ヲ悉ク放棄セシメントスルモノニアラス然レトモ彼輩ハ目下ノ財政恐慌ハ他ノ緊要ナル工業ヨリ重大ノ保護ヲ我國製造ニ與フルモノニアラサルコトヲ知ルトキハ必ス其義務竝ニ利益安寧ヲ顧ミルヘシ既ニ安全周密ナル改正ヲ爲スノ時機熟セリ吾人ハ此改正案ニ反對スルモノアルニ拘ラス被害サレタル人民カ熱心ニ此弊害ヲ一掃セントスル時機ヲ忘却スヘカラス

現行稅則ヲ改正スルノ困難ナルハ固ヨリ予ノ認ムル所ナリ代議院ハ非常ノ勞力及注意ヲ以テ此重大ナル一國ノ問題ヲ審議シ愛國ノ心ヲ以テ全國ノ安寧ヲ害スル偏頗利己ノ說ヲ排撃セサルヘカラス

現行稅則ニ依リ輸入稅ヲ課スルモノハ四千種以上ニ登レリ其中內國ノ製造ト競爭ヲ爲サス或ハ輸入ノ一項目ト爲スノ價値アラサルモノ多シ今此等ノ稅ヲ免スルトキハ著シキ減額ヲ見ルヘシ奢侈品ニ稅ヲ課スルハ固ヨリ至當トス然レトモ人民ノ必需品ニ稅ヲ課シ生計ノ費ヲ高ムルハ其當ヲ得

サルヲ以テ此等ノ稅率ハ宜シク輕減セサルヘカラス
 今必要品ノ物價ヲ低フセントスルニハ製造ニ使用スル原料ノ輸入稅ヲ輕フシ或ハ全ク之ヲ免セザ
 ルヘカラス然ルトキハ原料ノ輸入稅ニ依リ騰貴シタル製造品ノ物價ハ低落スルノミナラス製造品
 ノ物價低落スルトキハ目下ノ原料ノ相場ニ對シテ內國製造人ニ報ユル爲製造品ニ課シタル輸入稅
 ヲ輕減スルコトヲ得此輕減若ハ免除ハ大ニ歲入ヲ減少スヘシ今此改正ヲ爲スモ我國製造人ニ如
 何ナル損害ヲ蒙ラスヤ明言シ難シ之ニ反シテ我國製造人ハ免稅ノ原料ニ依テ製造シタル低廉貨
 物ヲ外國ニ輸出シ外國ノ市場ニ於テ他國ノ製造人ト競争スルコトヲ得ヘシ夫レ如斯我人民ハ其販
 路ヲ擴張スルコトヲ得商工業ヲ活潑ニシ既ニ充實シタル內國ノ市場ニ於テ損害ヲ蒙ルノ恐レナ
 ク勞働者モ亦從テ其職業ニ就キ以テ其平穩満足ヲ保ツコトヲ得ヘシ
 今予ノ提出シタル問題ハ宜シク不黨不偏ノ思想ヲ以テ之ヲ觀察シ人民ノ福利ヲ信託サレタル者ノ
 必ズ保有スヘキ愛國誠心ヲ以テ之ヲ審議スヘシ然レトモ黨派モ亦事務ノ進捗ヲ計ルニ缺クヘカ
 サルモノナリ目下政府ニ於テ代表サレタル二大政黨ハ共ニ無用ノ稅ヲ徵收スル現行稅則ヲ非難シ
 嚴肅ニ之カ改正ヲ爲スヘキコトヲ約セリ故ニ我國民ハ其黨派ノ如何ヲ問ハス此約ヲ履行スヘキモ
 ノナリ
 吾人ハ保護及自由貿易ノ原理ニ基ツキ立論スルモノニアラス吾人ノ面前ニ來ルモノハ原理ニアラ
 スシテ現況ナリ此現況ヲ救治セント欲スレハ內國製造ノ利益ヲ稍減殺スルコトアリト雖モ全ク之
 ヲ放棄スルニアラス自由貿易ノ問題ハ予ノ茲ニ關係スル所ニアラス或地方ニ於テ不當不用リ稅ヲ
 輕減免除スル說ハ自由貿易家ノ說ナリト云フカ如キハ惡ムヘキ言ナリ公益ニ關スル事項ヲ論スル
 ニ當テハ毫モ之ヲ念頭ニ懸クルコトナシ
 吾人ノ人民ニ對シテ有スル簡明ナル義務ハ稅率ヲ減シテ政府ノ經費ニ充ツルモノヲ以テ制限トシ

政權ノ亂用ニ依リ徒ニ國庫ニ充實シタル貨幣ヲ民間ニ流通セシメントスルニアリ是レ我國ノ工業
 ニ傷害ヲ與ヘス勞働者ヲシテ職業ニ安ンセシメ一般人民ノ生計ノ費用ヲ低廉ニシ愉快ノ程度ヲ增
 進シテ以テ爲シ能フ所ノモノナリ
 憲法ニ曰ク大統領ハ時々合衆國ノ形勢ニ附キ代議院ニ告達スヘシト政府ハ此趣旨ニ基ツキ毎年會
 期ノ始メニ於テ代議院ニ全國ノ形勢ヲ報告シ各省ノ事務ヲ細明スルヲ以テ慣例ト爲セリ特ニ今年
 ハ各省ノ成績ニ付キ注意ヲ促スヘキ適當ノ時ナリトス然レトモ予ノ上來開陳シタル事項ハ最モ緊
 切ナルヲ以テ茲ニ他ノ事項ヲ告知スルノ邊ナシ故ニ予ハ吾人ノ安全及福利ノ根本タル我國財政ノ
 現狀ヲ諸士ニ告知シ之カ審議ヲ請ハントス
 各省長官ハ代議院ニ提出スル報告書ニ於テ各其事務ノ成績ヲ充分ニ說明シ公益上立法ヲ要スル點
 ニ附勸告スル所アルヘシ予ハ切ニ立法者ニ望ムニ此報告及勸告ヲ周密ニ審査セラレシコトヲ以テ
 ス

各省ヨリ提出スル報告書ニ掲ケサル事項ニシテ立法者ノ審査ヲ要スルモノアリ予ハ喜ンテ之ヲ立
 法者ニ提出セントス然レトモ其事項中或者ハ既ニ前ノ告達ニ於テ述ヘタル所アルヲ以テ其既ニ述
 ヘラレタルモノハ之ヲ重複セサルヘシ
 法律ハ內閣ノ報告ニ附キ規定スル所アラサルヲ以テ其事務ノ綱領及自今代議院ニ告知スルコトヲ
 要スヘキ事項ハ後日ノ告達ニ於テ更ニ開陳スルコトアルヘシ

華盛頓府ニ於テ

千八百八十七年十二月六日

グロバーハクリーブランド

諸君自由寛大ナル人民ノ代議士トシテ茲ニ其當務ヲ處理スルタメ集會セラレタル諸君ハ今一ノ銘肝スヘキ機會ニ遭逢セントス銘肝スヘキ機會トハ何ソヤ此次ノ國會々期滿ソルト同時ニ我國憲法制定以來ノ第一百年ヲ經過スルコト是ナリ此百年間ニ吾人ハ著大ノ繁榮ヲ致シタルコト論ヲ俟タス然レトモ百年ヲ完クシタルノ故ヲ以テ吾人ハ毫モ心ヲ安ニスヘキニアラス人民ノ自由ヲ基礎トシテ創建セル我政體ヲ保維スルニ當リ恐ルヘキノ危難憂フヘキノ禍害モ亦強チニ之ナキヲ必スヘカラス惟フニ吾人ハ既往ニ於テ常ニ能ク萬全ノ方針ヲ取レルヤ又將來ニ於テ國安民福ヲ永久ニ維持スヘキ進路ハ果シテ明瞭ナリヤ否ヤ之ヲ追想シ之ヲ推考スルコトハ實ニ今日ノ一要務ナルヘシ抑我政府創建ノ際ニアリテ吾人ヲ安路ニ導カシムルタメニ定メ置ケルモノハ憲法ニ外ナラス是ヲ以テ憲法ニ背反スルトキハ之ヲ一ノ失敗ト看做サヘカラス米國人民カ自治政體ニ適スルヤ否ヤヲ世界ニ向ヒテ證明セント欲セハ憲法ノ示ス所ノ方針ヲ固守シ其所定ノ制限範圍ヲ破ラサルコトヲ力メサルヘカラス

吾人ハ法ヲ施スニ平等正確ヲ以テ我百般制度ノ原則ト爲ス者ナリ平等正確ハ固ヨリ國民相互ノ關係ニノミ止ムヘキモノナラス政府モ亦配下ノ米國人民ニ向ヒテ至當至公ニ其職ヲ盡シ其權ヲ行フノ義務アルモノナリ法律上平等ノ取扱ヲ受クヘキコトハ國民ノ特權ナリ而シテ此特權ハ如何ナル事情アリトモ剝奪スルコトナキハ政府ト人民トノ間ニ存スル約束ノ然ラシムル所ナリ我共和國ノ人民ハ往時此約束ヲ充分ニ履行センコトヲ主張シテ各自ノ分限極テ明確ナリ其政府ニ納ムル租稅ハ政府經濟的維持ノ費用ヲ辨スルニ止マリ人民ハ其納稅ニ對スル保護ヲ得ルノ權ヲ享有シテ其產ニ安セリ加之當時國中舉リテ質素ヲ旨トセシヲ以テ政府モ亦儉勤ヲ力メ敢テ厘毛

ノ冗費ヲ致サス投機組合專商資本合併等ノ事ハ及フ限リ之ヲ避ケ若ハ嚴重ナル制限ヲ加ヘ以テ財產偏重ノ弊ヲ防ケリ之ヲ以テ虛飾ノ目ヲ喜ハシムヘキモノ少ク浮華人ヲ眩ハシムヘキモノ稀ナリ是ノ如クニシテ人民ノ一致親和ヲ得以テ能ク自由政體ノ問題ヲ實地ニ解説シ又能ク天帝カ賜ヘル此土地ニ將來ノ旺盛ヲ期スルニ至レリ

爾後百年ヲ經タル今日ニ至リテハ事情頓ニ一變シテ又舊時ノ觀ヲ留メス市府都會ノ地ヲ見レハ一トシテ富豪奢侈ノ地ナラサルハナク此ニ任スル製造家ハ孰レモ吾人ノ祖先カ夢ニタニ想ハサリシ鉅萬ノ富ヲ致セリ從ヒテ商業ハ利益競争場中ニ狂奔疾驅ノ勢ヲ呈シ各種ノ商業組合ニ資本ノ堆積スル高ト云ヒ此資本ヲ適用スル事業ノ規模ト云ヒ其巨大ナル遠ク思想ノ及ハサル所ニ達セリ吾人ハ之ヲ觀テ我國ノ繁榮ヲ喜ヒ昌盛ヲ誇ル者ナリ然レトモ纏リテ其内情ヲ熟察スレハ富豪豪華ノ中ニ貧窶困窮多クシテ利少キノ業ヲ執ル者アリ而シテ人民ノ競ヒテ市府ニ輻輳スルコト年一年ヨリ甚シ是蓋シ田舎ノ貧ナルカタメ農業ニ不滿ヲ生スルノ致ス所ナリ是ヲ以テ農家ノ子弟ハ其父母ノ業ヲ賤シトシテ從來ノ產ヲ擲チ身ヲ市府ニ投シテ一攫千金ノ利ヲ貪ラントスルニ至レリ斯ノ如ク村落ハ次第ニ衰ヘ市府獨リ益々盛ナル偏重ノ勢ヲ尙ホ一層詳察スレハ今日ニ於テ製造家カ得ル所ノ富ハ其勤勉ト先見ノ報酬ニアラス素ト是政府偏愛ノ致ス所ニシテ一般人民ノ負擔ヲ僅少人民ナル製造家ノ利ニ充ツルコト甚タ多キヲ見ル是ニ由リテ雇主ト雇人トノ懸隔ハ益々甚シク一方ニハ富ト權トヲ專ニシ他ノ一方ニハ勞シテ貧ナルニ階級ヲ生スルニ至レリ

堆積スル資本ヲ以テ成セル事業ハ甚タ偉大ナレトモ其裏面ニハ專商組合ノ弊アリ是ニ於テ一般人民ハ此資本ニ蹂躪セラレテ殆ト死地ニ陥リ夫ノ法律ノ制限ヲ受ケ人民ノ便益ヲ計ルヘキ會社ハ却テ人民ヲ苦ムルノ利器ナリ我國ノ富榮繁盛ハ實ニ賀スヘシ又此富榮繁盛ニ伴ヒテ離ルハカ

ラサル偏重ノ勢アルハ止ムヲ得サルノ事ト看過スル亦可ナリ然レトモ是ノ如クニ進歩シタル今日ニ於テ我政府ハ其人民ニ對スル約束義務ヲ果シテ能ク破ラサルヤ否之ヲ觀察スルコトハ憂國愛民ノ徒ノ一要務タリ抑々國民ニ徵スル租稅ハ政府ノ經濟的維持ニ必要ナル額ニ止ムヘキニ我政府ハ今現ニ無要ナル巨萬ノ金額ヲ徵收シテ徒ニ之ヲ國庫ニ停滯セシムルモノナリ是豈ニ怨スヘカラサルノ不正約束義務ノ違犯ト謂ハスシテ可ナランヤ政府ハ此不正ノ處置ヲ以テ人民ヨリ無要ノ金額ヲ絞取スルノミナラス尙ホ又全國ノ貨幣ヲ正當ナル流通路ニ向クルコトヲ妨害スルモノナリ然レトモ現行ノ法ニ據レハ政府ハ斯ク無要ノ金額ヲ徵收シテ人民生計ノ費ヲ増サ、ルヲ得ス多數ナル消費者ノ資本ヲ減シテ以テ少數ナル有力人民ノ利益ヲ増サ、ルヲ得ス語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘバ現行ノ關稅法ハ政府ヲシテ無要ノ上ニ無要ノ徵收ヲ重キシムルモノナリ之ニ從ヒテ人民ハ必要ナキニ非常ノ負擔ニ苦ミ以テ政府ノ特愛ヲ受クル僅少ナル人民ノ利益ヲ増シ以テ政府ニ無要ナル蓄積ヲ起サシム是政府ハ其徵稅權ヲ名義トシテ知ラス識ラス其特愛者ト組合ヲ爲シ大多數人民ノ困苦ヲ以テ特愛者ノ利益ヲ買フニ外ナラス是豈ニ法律上平等ノ實ヲ得タルモノナランヤ

現存ノ事情ハ實ニ我政體ニ大害ヲ生スヘキモノナリ是ノ如クニ止マヌンハ全國人民ノ愛國心ヲ消亡シテ私利貪婪ノ情ヲ養成セサルヲ得ス米國國民權ヲ國民權其物ニ對シテ尊重シ又國運及民福増進ノ事業ニ對シテ尊重スルノ念慮ハ漸ク衰滅シテ政府ハ平等ノ主義ヲ維持スルモノナラズ格段ナル個々人ノ利益ヲ計ルノ機關ニ過キストノ情感盛ナラサルヲ得ス斯ル情感ノ盛ナルコトハ今日既ニ掩フヘカラサルモノアリカ人私利ノミヲ計リテ毫モ公益ヲ顧ミズ又他人ヲ益スルヲメ自己ノ利ヲ棄ツルコトヲ爲サズ其私利ヲ永久ニ維持セシカタメニ動モスレハ組合ヲ爲シテ相黨援シ以テ立法ヲ左右シ他人ノ參政權ニ不當ノ關涉ヲ試ルカ如キハ即チ此感情ノ實地ニ顯レタ

ルモノナリ特愛ヲ受ケテ私利ヲ計ル者ノ情態ハ正ニ是ノ如ク之ニ反シテ特愛ヲ受ケサル人民ハ損害ヲ蒙ルルコト少カラサルハ早晚激昂シテ不滿ヲ訴フルコト疑ナシ現ニ農夫等ハ斷ユス至難ノ勞役ニ當リ具ニ生計ノ辛酸ヲ嘗メ能ク困苦ニ忍耐スレトモ其農産ハ外國農夫等ノ競争ヲ受ケル外國市場ノ價格ヲ甘受シ其身ノ負債ハ漸次ニ累積スレトモ其所耕ノ田園ハ益々荒廢ニ歸シ法律ヲメテ其必要品ノ價格ヲ高メラレ以テ格段ナル人民ヲ益スレトモ身ハ之ニ應スルノ報酬ヲ受ケス其勞働ヨリ生スル收入ハ其生計ノ費ヲ償フニ足ラス多少ノ貯蓄ヲ爲スカ如キハ固ヨリ希フヘカラス農夫等忍耐力ニ富ムト雖モ安ツ早晚其困難ノ基ク所ヲ感知セサランヤ

我勞動者モ最初ハ妄想ニ惑ハサレ關稅法改正ノメニ其賃金ヲ減セラルヘシトノ掛念アリシカ今日此迷夢ヲ破リタル上ハ關稅法ニ正當ノ改正ヲ施シテ以テ其産ヲ恒ニシ其生計ヲ廉ニシ雇主ノ壓束ヲ免レ進ミテ勞動社會ノ上ニ出ツルノ門戸ヲ開カンコトヲ熱望スルナルヘシ勞動社會ノ外ニ立ツ國民ニシテ尋常ノ收入ヲ仰キ此收入ニ劇シキ變動ナキコトヲ以テ其生計ノ安ヲ得ル者ハ亦自己及其家族ノためニ必要品ノ價格低廉ナランコトヲ望ムカ故ニ關稅法改正ヲ以テ公正至當ノ處置ト爲スコトナルヘシ若シ關稅法ニシテ改正ヲ加ヘサラン歟即チ法律ニ不正ノ愛憎アルカタメニ一方ニハ特愛ヲ受クル者其私利ヲ逞クスルノミナラス他ノ一方ニハ此愛憎ニ苦メラレテ不滿ヲ抱ク者多カルヘシ是ノ如クニシテ止マヌンハ人民ノ愛國心ト満足トニ依頼スル我政體ハ危險實ニ尠少ナラサルナリ

共產主義ハ嫌惡スヘキモノナリ社會ノ安寧政治ノ秩序ヲ紊亂スヘキモノナリ私慾貪婪甚シキトキハ富豪ノ共產主義(資本組合ヲ生ス)不正不滿甚シキトキハ貧民ノ共產主義ヲ生ス富豪ノ共產主義ハ利ヲ貪リテ自由制度ノ正道貞節ヲ破リ貧民ノ共產主義ハ憤懣ニ逸シテ秩序ヲ亂シ政法ヲ破壞ス兩者ノ害ヤ論スルコトヲ要セス人アリ政府ハ富者ヲ保護シ又貧者ヲ憐ムト云ハシ歟共產

主義ハ忽チ之ヲ嘲笑ニ附シ去ラシノ勢是ノ如クナラハ自由制度モ重シト爲スニ足ラス米國國民權モ尊シト爲スヲ得ス

現在ノ事情ノタメニ苦メラル、我國民ノ難チ救ハント欲セハ先ツ我關稅法ニ公正至當ノ改正ヲ加エサルヘカラス米國國民カ享有スヘキ公正及平等ヲ尊重スル人、政府カ國民ヲ保護スル權力ハ此公正及平等ニ賴リテ存スルコトヲ知ル人、我制度ノ眞意ニ適フモノハ少數人民カ不公平ニ得タル巨大ノ富ニアラスシテ多數人民ノ満足安樂ニアルコトヲ信スル人、米國人民一般ノ利益ヲ重シトスル克己心及親睦ハ國運進歩ノ基ナルコトヲ感スル人、米國ノ商勢ヲ挽回シテ世界各市場ニ米國製產品ヲ見ント欲スル人ハ皆我關稅法改正ヲ贊成セサルヘカラス

我歲入ヲ減スルノ必要ハ既ニ充分明瞭ナルコトナレハ何人タリトモ之ヲ疑フ者ナカルヘシ然レトモ之ヲ減スルノ方法竝ニ國民カ直接ニ受クヘキ便益ハ幾干ノ度ニ達スヘキヤ等ノ事ハ實ニ至要ノ疑問ニ屬ス惟フニ唯外觀ノミ人民ノ負擔ヲ減スルカ如キ方法ハ得テ満足スヘキモノニアラス況ヤ國庫ノ餘利ヲ除カンカタメ若クハ關稅率輕減ヲ防カンカタメニ故フニ費途ヲ増加スルノ方法ハ到底寬恕スヘカラサルノ惡法タリ現存ノ弊害及不正ハ宜シク明ニ之ヲ表露シテ之ニ對スル有効ナル救濟策ヲ運ラスヘシ要スルニ必要品ノ價ヲ廉ニシテ一般消費者ノ困難ヲ救ヒ又原品ノ無稅輸入ニヨリテ製造家ヲ益シ同時ニ我勞働者ノ利益ヲ害セサルヘキ方法ヲ完成實施スルハ今日ノ急務ナリ斯ル公平保守ノ方法完カラサル間ハ吾人ハ飽クマテモ論争シテ止マサルヘシ吾人カ執ル所ノ道ハ公ナリ明ナリ人民ノ道ナリ一步モ之ヲ讓ルヘカラス

今日ノ弊政ハ人ヲシテ政府正當ノ目的ヲ誤解セシム中央政府ハ個々ノ私人ニ補助ヲ與フルノ泉源ナリ格段ナル組合格段ナル國民ニ困難アレハ中央政府ハ宛モ慈母ノ愛兒ニ於ケルガ如ク直ニ手ヲ下シテ之ヲ助クヘシ國庫ニ夥シキ餘利アルカ故ニ苟モ公益ヲタメニストノ名義ヲ得ルノ機會アレ

ハ直ニ公財ヲ一私人若クハ一地方ノ特用ニ充ツハト思フ者往々アリ是等ハ今日頗ル世ニ盛ナルノ感情ナリ斯ル感情アルニモ關ラス私利ヲ貪ルノ徒ハ類ニ關稅法改正ノ正議ニ反對シテ止マヌ何ソ此等ノ感情ニ對シテ責ヲ思ハサルノ甚シキヤ私利ハ今日ノ弊ト相離ルヘカラサルモノナルコトヲ得テ掩フヘカラサルナリ又言フ者アリ商業ノ通則及制限竝ニ之ニ對スル正當ノ處置ハ寧ロ政體ノ不利タリトモ私利私業ノタメニ中止シテ可ナリト是モ今日漸ク盛ナラントスル感情ナルコト亦得テ掩フヘカラサルナリ此等ノ感情ハ固ヨリ毫モ理ノ當ヲ得サルモノナレハ頓ニ衰減ニ歸スヘキニ不幸ニモ立法的德通ノタメニハ却テ其勢ヲ増シ來レリ試ニ其例證ヲ舉グレハ政府ニ對シテ取結ヒタル契約モ一個人ノ利益ノタメニハ容易ニ之ヲ免除スルコトアリ政府ニ對スル請求ニ實跡ヲ舉示スルコトナクシテ單ニ政府ハ富ノリ請求者ハ貧困ナリトノ事ヲ請求ノ理由トシテ申立ツルコトアリ年金恩給等ヲ給與スルニモ其理由トスル所ハ單ニ受給者窮乏ナリト言フニアリ貧困窮乏等ヲ理由トスルハ尙ホ可ナリ請求及給與ノ非理不當ナルコト更ニ之ヨリ甚シキモノ往々之アリ此他修繕建築等公然ノ必要ト認ムヘキ理由ナキニ公財ヲ費スコト實ニ夥シ請求ト云ヒ建築ト云ヒ是等公財ヲ濫費スヘキ事柄ハ今日ノ政府ヲ煩スコト頗ル多シ爲ニ公務上至要至大ノ問題ヲ忽ニスルニ至ル是豈ニ一大注意ヲ加ヘテ改良ヲ施スヘキノ時ナラスヤ

政府カ些事ノタメニ要務ヲ忽ニスルノ弊ハ實ニ夥シ今其二三ヲ舉ケンニ大法院ハ事務繁雜ニシテ訴訟事件滯滞シ裁判ノ遲延甚シ之ヲ救濟セント欲シテ國會ニ建議シ諸大家ノ贊成ヲ得タル好案ノ提出アリシレトモ國會ハ未タ之ニ就キテ何等ノ決議ヲモ遂ケス却テ某地方ノ便宜ニ適スルタメ若クハ新ニ建築請求ノ口實ヲ得ンカタメニ劣等裁判所ノ開廷期日ニ關スル諸般ノ法律ヲ制定セリ公有地ハ宜シク之ヲ正當ナル殖民者ノ居住地ニ充テ、他ノ事ニ濫用スルコトヲ防クヘシトテ公有地ニ關スル現行諸法律ノ改正ヲ建議勸告セルモノ一二ニシテ足ラス然ルニ國會ハ世人ノ公認スル此

必要ナル改正方法ニ就キテハ何等ノ處置ヲモ爲サス却テ格段ナル州若クハ私人ノタメニ公有地請
 求ヲ許可セリオンデヤン人種處置問題ニ就キテ熟達ノ聞アル人々ハ該人種救助法案ヲ提出シタレ
 トモ是モ未タ立法部ノ裁可ヲ經ルコト能ハス然ルニ諸鐵道會社ヨリノ請求ニ應ジ理由ノ當否疑ハ
 シキニ關ラスインデヤン人居住地ヲ通過スル鐵道敷地ノ許可ヲ與ヘタルコト甚々多シ
 合衆國犯罪人ノタメニ獄室ヲ増築スル事竝ニ首府ニ郵便局ヲ建築スル事ノ必要ハ世人ノ一般ニ認
 知スル所ナルニ之ニ就キテハ未タ何等ノ處置ナク却テ必要ノ有無判然タラサル建築ハ既ニ數箇所
 ニ起レリ公正ノ主義ニ據リテ至當ノ人ヲ救ハシカタメニ恩給法ヲ改正スルハ決シテ困難ナル事業
 ニアラス然ルニ此容易ナル改正ヲ行ハス舊來ノ混雜不完全ナル法ニ據リ個々人ニ與フル恩給案ヲ
 通過スルコト毎年幾百件ナルヲ知ラス是實ニ不正ノ愛憎ニシテ民徳ヲ汚スノ原因タラサルヲ得ス
 政府維持費トシテ支出案ノ提出アレハ私利ニ適合スルト否トニヨリ其存廢ヲ擅ニス故ニ責任經
 アル某政事家等ハ常ニ公言スラク公然ノ支出案ハ公益ヲ主トセヨリハ寧ロ一地方又ハ私人ノ利
 益ヲ主トスルニアラサレハ贊成ヲ得難シト試ニ中央立法ノ景況ヲ見テ其私利ニ關係ヲ有スルコト
 幾許ノ比例ニ達スルヤチ察セハ此言ノ虛ナラサルヲ知ルコト益々深カルヘシ
 立法ハ私利ニ汚サルコト是ノ如ク甚シケレトモ人民ハ國安民福ヲ増進スヘキ愛國ノ事業ヲ期シ
 其選出セル代議士ニ望ヲ屬スルコト極テ深シ然レトモ此期望ハ方正無私ノ目的ヲ以テ公務ヲ執ル
 ニアラサレハ到底得テ達スヘカラス抑テ世界萬國ノ中ニ立チテ美事偉績ヲ舉ケタル米國人民ハ其
 法律ノ制定執行ヲ委子タル者ニ向ヒテ心ヲ公益ニ專ニセンコトヲ要求スルノ權ヲ有ス斯ク專心公
 益ヲ計ルトキハ勢自ラ中央權ニ對スル憲法ノ制限ヲ確守セサルヲ得ス名チ公益ニ藉リテ州又ハ格
 段ナル地方ノ立法權ニ干涉スルノ弊習ハ自ラ其跡ヲ滅スルニ至ルニシテ憲法ハ我國存在ノ大法ナリ
 中央權ト地方權トノ區別ハ憲法ニ最モ重シトスル所ナリ如何ナル便宜利益アリトモ此區別ハ決シ

テ亂スヘキモノナラス吾人ハ既ニ憲法ヲ示ス所ノ方針ニヨリテ以テ自由政體ヲ美果ヲ得ジコトヲ
 企テタリ宜シク飽クマテモ進ミテ憲法ノ指導ニ從フヘキナリ憲法ハ吾人ノ方向ヲ誤ルヘキモノナ
 ラス何ソ其指導ヲ疑ヘカンヤ憲法ヲ維持翼贊スヘキ重任ヲ擔ヘル輩ニシテ之ヲ破壞スルガ如キ事
 アラハ假令公益ヲ求ムルニ急ナルカタメニ道ヲ憲法ノ外ニ求メタリトスルモ安ソ内ニ自ラ快然タ
 ルコトヲ得ヘケンヤ

吾人ガ憲法的存在ヲ始メタルヨリ茲ニ既ニ一百年ノ坂上ニ達シタリ此坂上ヨリ俯ヒテ既往ニ米國
 人民カ蹈ミ來リタル道程ヲ看仰キテ又將來ノ通路ヲ求ムル今日ニ當リテ前段ノ如ク陳述スル事
 蓋シ失當ニアラサルヘシ軍人タリ政事家タリ且ツ終始人民ノ剛強ナル愛友タリシ合衆國第七大統
 領(民政黨ヨリ選舉セラレタル將軍アンドルー・ジャクソン)ハ言ヘルコトアリ曰ク余ノ大望ハ人民
 ノ重任ヲ全クシテ憲法カ受ケタル創傷ヲ醫シ此創傷ヲ再セシメサルニアリ人民ノ幸福ヲ許リ自由
 ヲ保護スルモノハ專權ヲ握ル赫々タル政府ニアラス質素ニシテ華飾ヲ避ケ博愛ニシテ特惠ヲ施ス
 大知ラス識ラスシテ民其澤ニ浴スルノ政府ニアリ人民ヲシテ此理ヲ熟知セシムルコト余カ終生ノ
 切望ナリト諸君請フ之ヲ思ヘヨ

外交 憲法ノ規定ニ據レハ大統領ハ時々合衆國々情ヲ國會ニ報告セサルヘカラス今此規定ニ從
 我國情ヲ報スルニ當リ余ハ幸ニシテ我諸外國トノ關係ハ甚々平穩ナリト公言スルコトヲ得ルナリ
 昨年以來諸外國ニ向ヒテカメテ好意ヲ表シ修好ノ通商、罪人引渡等ノ諸條約ヲ新定若クハ繼續シテ
 以テ益ト外交上ニ進歩ノ蹟ヲ著スヲ得タリ尤モ現ニ尙ホ決定ヲ要スル國際的問題アレトモ此等ハ
 孰モ平和ニ調定シ得ヘキ見込アリ故ニ正實ナル協議ヲ遂ケルニ於テハ毫モ葛藤ヲ生ズヘキ恐アル
 コトナシ

(漁業事件) 加拿陀及ニユーファウンドランドノ管轄水裏ニ於ケル米國漁業者ノ權利ヲ關スル

英國及合衆國間ノ議論ハ不幸ニシテ未タ満足ナル結局ヲ得ス此事ニ就キテハ本年二月二十日余ハ元老院ニ向ヒ詳細ノ報告ヲ爲セリ同月十五日余ハ英米兩國間ノ疑惑ヲ避ケンカタメ英國皇帝ノ政府ト一ノ約定ヲ取結ヒ元老院ノ批准ヲ請ヒシカ該院ハ之ヲ否決セシヲ以テ遂ニ批准ヲ得ルコト能ハス爾後ノ事情ニ就キテハ余ハ八月二十三日ヲ以テ其詳細ヲ國會ニ報告シ併セテ余ノ意見ヲ陳述セリ尋テ九月十二日元老院ノ議決ニ應シ余ハ再ヒ加拿陀及合衆國間ノ通商ニ關スル加拿陀政廳ノ動作ヲ報告セリ此等諸報告ハ孰モ刊行セテ之ヲ世ニ公ニシタレハ諸君ニ於テモ熟知セラル、所ナルヘキニヨリ今之ヲ贅セス爾後更ニ又報告ヲ要スヘキ事件アルヲ知ラス余ハ英米兩國ノ親誼ヲ全クセンコトヲ切望シ斯クマテ久シク決セサリシ漁業問題ヲ平定セント欲ス而シテ今モ尙ホ前説ヲ維持シテ去ル二月ノ約定ハ兩國ニ正當ノ満足ヲ與フヘキコトヲ信スルナリ然レトモ該約定ハ遂ニ元老院ノ排斥スル所トナリシニ由リ更ニ又當時ノ事情ニ應當スヘシト信シタル立法案ヲ國會ニ提出セシカトモ是亦贊成ヲ得ルコト能ハス余ハ唯此上ニ國會ニ向ヒテ此重要ナル問題ノ現情ヲ熟察シテ速ニ平定方案ヲ講セラレンコトヲ冀望スルノミ

(サックヅル事件) 十月末ニ臨ミテ外交上深ク痛嘆スヘキ事件起リ爲ニ英國政府ト數回ノ掛合ヲ爲スノ不幸ニ遭ヘリ抑、該事件ハ一官吏カ我大統領選舉ノ期ニ接シ助言ヲ以テ米國々民ノ選舉權ニ關涉ヲ試タルニ起レリ爾後該官吏ハ英米兩國間ニ久シク解ケサレ重要問題ニ關シテ合衆國行政部及元老院ノ不滿ヲ引起シタリ此等ノ事ハ外交上ノ權限ヲ破リテ一國ノ内事ニ關涉シ主權ヲ破リタル處置ニシテ合衆國及大不列顛ノ交誼上ニ害アルコトナレハ須臾モ忽ニスヘキモノナラス是ニ由リテ止ムヲ得ス英國政府ニ向ヒテ該官吏ノ處分ヲ求メタリ爾後外交ノ情誼ヲ重シテ至當ノ猶豫ヲ與ヘタレトモ満足ヲ與フヘキ處分ヲ得サリシヲ以テ最早評議ニ時日ヲ徒費スルヲ得スト認メ斷然該官吏ヲ英國ノ外交官ト認ムルコト能ハサル旨ヲ公報セリ以來此首府ニ在ル英國公使館ト我

政府トノ交通ハ平常ニ異ナラス

(臘虎保護) 余ハ諸外國ト協力シテベリリング海ニ於ケル臘虎ノ滅絶ヲ防クヘキ方策ヲ設ケント欲シテ斷ニス此事ニ盡力セリ遠カラスシテ諸海國ト取結フヘキ約定案ヲ起草シ以テ元老院ノ批准ヲ請フノ運ニ至ルヘシト信スルナリ

(アラスカ境界) 我アラスカ領ト英領哥倫比亞ノ海岸及境界ヲ測定スルコトハ極テ重要ナル事ナレハ余ハ數回之ニ就キテ國會ニ勸告スル所アリシカ未タ至當ノ注意ヲ受クルニ至ラサルハ余カ慨嘆スル所ナリ該地方ヲ露國ヨリ讓受ケタル時ハ露領ト我領地トノ分界甚タ明確ナリシカ英領地トノ境界ヲ定ムルコトハ是ノ如ク容易ニ明確ナル分界ヲ立ツルコト能ハス從ヒテ管轄權ニ就キテ紛擾ヲ起スノ恐アリ由テ此際先ツ充分ノ實地測量ヲ遂クルコト甚タ必要ナリ然レハ國會ニ於テモ速ニ右測量費支出案ヲ議決セサルヘカラス測量ハ實ニ此境界線ヲ定メ若クハ他ノ協議ヲ爲スノ準備ニ外ナラス之ヲ忽ニスルトキハ英米兩國ノ協議ヲ行フニ由ナキナリ

(湖上救援法) 合衆國ト英領地トノ間ニ位スル大湖水ニ於テ船舶遭難少カラス爲ニ人命及財產ノ損害甚タ多シ是不慮ノ災害ノ然ラシムル所ナリト雖モ兩國人民相救援スルノ情誼ヲ妨クルノ事情其一原因ナルヘシ由リテ此情誼ヲ妨害スルノ事情ヲ排除若クハ制限シテ右損害ヲ減スルタメ英國政府ト某種ノ約定ヲ取結フコト必要ナリ千八百七十八年六月十九日ノ我法律ハ遭難船舶救援ノ法ヲ加拿陀船舶ノ我領内ニ入ルコトヲ許セルモノナレトモ加拿陀政廳ニ於テ我國ニ對スル同様ノ方法ヲ施サ、ルタメ未タ其効ヲ奏スルニ至ラス

(歸化人民保護) 佛國人民若クハ其子孫ノ我國ニ歸化シテ合衆國々民トナレル者佛國ニ赴クモ佛國ノ兵役ニ服セシムヘカラストノ事ヨリ一場ノ議論ヲ生シ外交的談判ヲ開クニ至レリ其詳細ハ既ニ前回國會ニ之ヲ報告セリ此歸化ノ事ニ就キテ豫メ兩國間ニ約定ヲ取結ヒ置クコト余カ冀望スル

所ナレトモ斯ル約定ヲ取結ハサル間ハ合衆國ハ毫モ其正當ノ地歩ヲ讓ルヘキニアラス是管ニ佛國ニ對シテ然ルノミナラス凡ソ特約ナキ諸外國ニ對シテハ常ニ然ラサルヲ得ス

(獨逸ニ對スル處置) 本年中獨逸帝室ハ二回ノ喪ニ遭ヘリ其都度余ハ我人民カウケルヘキ老帝ノ德ヲ欣慕シ其崩御ヲ痛悼スルノ意ヲ表シ又老帝ノ子タル故フリードリッヒ皇帝ノ勇節及苦腦ヲ哀惜スルノ情ヲ致スコトヲ意ラサリキ

(サモアニ於ケル米國人ノ利害) 四月十二日余ハサモアニ於ケル米國人ノ利害ニ關スル詳細ノ報告ヲ代議院ニ提供セリ遠カラズシテ尙ホ又一篇ノ報告ヲ提供シ以テ該島ノ沿革ヲ示スヘシ

(支那人排斥) 千八百八十八年三月十二日此首府ニ於テ協議稿定セル清米條約ハ元老院ニ於テ多少修正ノ上批准セシカトモ支那政府ハ之ヲ排棄セリ右條約締結ノ顛末ニ就キテハ支那勞働者排斥案ヲ裁可セル十月一日附ノ教書ヲ以テ其詳細ヲ國會ニ報告セリ尙ホ又該教書ヲ以テ我暴動者ノタメニ支那人民カ受ケタル損害ヲ償ハシコトヲ申告セシカ國會ハ之ヲ可トシテ右損害辨償費支出ヲ可決セリ其金額ハ今既ニ政府ノ手ニアリ唯支那政府ノ之ヲ領收センコトヲ待ツノミ清米兩政府ノ意ニ從ヒ某種ノ支那人渡來ヲ禁シテ以テ永ク兩國ノ交誼ヲ全クセント余カ信シ且ツ望ム所ナリ

(日本トノ交誼) 日本ト諸外國トノ條約改正會議ハ中止セラレタリ但シ日本ハ引續キテ右改正事業ヲ行フノ意ナリト云フ斯ク條約改正會議ハ暫ク中止シタレトモ日本在留ノ外國人ニ對スル裁判官管轄法不日改良ノ實ヲ舉ケ日本カ從來商業上ニ受ケタル外國人ノ壓制關涉ヲ脱スルコト亦遠キニアラサルヘキコト期望ニ堪ヘス

我軍艦發砲演習ノ際過チテ壹岐ニ於ケル日本人民ニ損傷ヲ與ヘタリ右ニ對シテ相當ノ辨償ヲ爲シシコト余カ切ニ勸告スル所ナリ

(朝鮮トノ交際) 我國ハ既ニ朝鮮ヨリ發遣セル外交官ニ接セリ之ニ由リテ千八百八十二年ノ條約

ニ基ケル兩國ノ交通ハ今公然之ヲ開クニ至レリ我國ニ於テモ朝鮮ニ領事廳ヲ設置スルハ此際宜シク立法的處置ニ爲スヘキ

(波斯トノ交際) 波斯モ亦其外交官ヲ此首府ニ置ケル波斯人ハ我國民ノ企業ニ成績ヲ見テ大ニ感佩スル所ナリ此際彼我兩國間ニ有益ナル通商ヲ開カシコト余カ切望スル所ナリ

(イオチノ騷擾) イオチニ於テハ今又戰亂ヲ引起シ秩序ヲ破リ腥血ヲ流シ悲境ニ陷レリ余ハ深ク之ヲ痛嘆ス大統領サロモンノ有名無實ナル政府ハ暴力ヲ以テ顛覆セラレササリモンハ國外ニ逐ハレ遂ニ佛國ニ客死セリサロモン國ヲ去テ以來諸黨派所在ニ割據シテ戰爭休ムトキナカ政權ハ轉移常ニ爲ニ國務ニ當リテ其責任ニ一定ノ政府ト認ムヘキモノ斷テ之ヲ我政府ハ該國駐在スル我公使ニ訓令シテ右内亂ニ關涉スルコトヲ避ケシメ又右公使其他該國在留ノ米國々民ヲ保護スルヲ特ニ軍艦一艘ヲ發遣セリ此他我局外中立ノ法ヲ遵守シ且ツ我領地ニ於テハイオチ人ノ軍需品供給ノ便ヲ得シメサルヲ充分ノ準備ヲ施セリハイオチ國ハ其封鎖ニ就キテ未ダ正當ノ通知ヲ爲サズ又此封鎖ヲ充分ニ實行シ得ヘシトモ思ハレス然ルニ封鎖ヲ破リタリトノ口實ヲ以テ我國旗ヲ樹テタル船舶ヲ押取セリキノ報アリ依テ我政府ハ我無辜ノ商人等ニ加タル危害ヲ防キ且ツ救濟スルヲ其方策ヲ運セリ

(布哇トノ關係) 千八百八十七年十一月九日附ヲ以テ千八百七十五年六月三日布哇ト締結セル條約ヲ繼續スル旨ヲ布告アリタリ右條約ハ布哇トノ交通ニ特別ノ便益ヲ與ヘタルモノナルコト既ニ世人ノ知ル所ナリ東洋貿易ノ路大ニ開ケタル今日ニ於テハ我國ヨリホノルハ一通スル海底電線ヲ設ケルコト必要ナリ余ハ今國會ニ向ヒテ特ニ右電線設置ノ事ヲ勸告ス抑、布哇群島ト我太平洋諸州トハ利害ヲ相共ニシテ各互密接ノ關係アリ我現行條約ノ目的トスル所モ實ニ此關係ヲ固クシ

ルニアリ而シテ交通ヲ便ニスルハ必要モ亦此關係アルニ由レリ

六十五

(墨西哥事件) 墨西哥其通商條約ヲ結ビテ商業上互報ノ主義ヲ實施スルノ必要ナルコトハ既ニ前
 回國會ニ提供セル敎書ヲ以テ屢々之ヲ論セリ爾後歲月經過ト共ニ商業彌々増進スルニ從ヒ此必要
 ヲ感スルコト益々甚シク果シテ余カ前論ノ誤ラサルヲ知ル同國ト我國トノ境界ハ猶ホ未ダ確然
 ラサルモノアリ故ニ此次右境界線確定ノタメニ相當ノ支出ヲ議決セラレシコト余カ冀望ニ堪
 所ナリ墨西哥政府カ隣國ノ好誼ヲ重シ我政府ト協力シテ此境界地方ニ法律及秩序ヲ維持スルコ
 トニ怠ラサルハ余カ最モ欣喜スル所ナリ

(コスタリカ及ニカラグア) コスタリカ及ニカラグアノ兩國間ニ久シク結ビテ解ケサリシ境界論
 ハ余ニ仲裁ヲ求ムルニ至レリ余ハ本年三月二十二日ヲ以テ一ノ仲裁談判ヲ提出セシカ右ニ由リ兩
 國共ニ満足ヲ表セル結局ヲ得タリ

(伯利西爾廢奴事件) 伯利西爾皇帝ハ其領内ニ奴隸廢止法ヲ斷行セラレタリ是ニ於テカ基督教ヲ
 奉信スル國々ニハ全ク奴隸ノ跡ヲ絶ツテ得タリ我政府ハ右ニ就キ熱心ナル慶賀ヲ致シ以テ我人民
 亦此廢奴事業ヲ翼賛スルヲ意ヲ表セリ

(智利ニ對スル要償) 智利ハ曩ニボリグアイマ及秘魯ト戰爭セリ此戰爭ヨリ生セル損害對シ諸外
 國ヨリ要償ヲ受ケタリ右要償ハ概テ皆和解談判及ハ一時辨償等ニヨリテ其局ヲ結ビ我國亦同
 國ニ對シテ同一ノ要償ヲ爲スヨリ怠ラズ智利政府ニ於テモ之ヲ緩慢ニ附セサルハト信ス

(秘魯條約) 本年十一月七日秘魯國ニ修好及通商條約ヲ締結セリ此條約ノ實施ヨリテ同國ト我
 國ハ互ニ能ク交誼ヲ全クシ繁榮ヲ共ニスルコトヲ得ヘト信ス

(エルクワドル其他ニ對スル和解) 米國人民サツキスヨリクワドルニ係ル要求ヲ調定スルタメ
 グワドル及合衆國間ニ一條約ヲ議定セリ右條約ハ不日之ヲ元老院ニ提出シテ其批准ヲ請フヘシカ
 ルロスハベシト云フ事ハ前報ヨリ下抹ニ係ル要求及ヴァンポートケレンヨリバグアイマニ係ル要求モ之ト

同一ノ處置ニヨリテ調和ヲ得ヘシ
 (ウニオンズニ對シテ交涉事件) 千八百六十六年ノ條約ニ基ク合衆國人民ハ要求ヲ再審スルタメ千八百
 八十五年十二月三日ウニオンズニ取結ビタル約定ノ批准ハ豫定ノ期限内ニ交換スルコト能ハサ
 ルニ至レリ是全ク意外ノ故障ニ出テタルコトニシテ兩國政府ノ痛惜スル所ナリ依テ更ニ批准交換
 期限ヲ延期シ且ツ前約定ノ疑點ヲ說明セル附加約款ヲ定メ今正ニ元老院ノ意見ヲ諮問シ其再決ヲ
 請求中ナリ此事ハ唯國會ノ一院(元老院)ノ條約制定權ニ關スルコトナレトモ代議院諸君ニ於テモ
 迅速且ツ正當ニ該件ヲ調定センコトヲ熱望セラルカ故ニ特ニ茲ニ之ヲ報告スルヲ以テモ
 請求スル至當ノ條件ハ固ヨリ之ヲ應諾セサルベカラズ然レトモ前陳ノ附加約款ニ於テ雙方ノ承諾
 批准ヲ經ルコトキハ該件ヲ完結スルコト亦遠キニアラス且ツ之ニ對シテ特ニ立法的其他ノ處置ヲ要
 セサルベシ

(亞米利加列國會議) 墨西哥、ハイチ、サントドミンゴ等南北及中央亞米利加諸國ト協同シテ財
 務及商務ニ關スル諸般ノ要件ヲ議スルタメ明年當首府ニ於テ列國會議ヲ開設スルニ就キ我政府ハ
 國會ノ允准ヲ經テ其準備ヲ施セリ惟フニ兩國相隣接シテ土地及費用共ニ兩屬スルニハ互報
 的商業條約ヲ取結フコト雙方ノ便益ナルヘシト雖モ其他ノ場合ニ於テハ各互獨立ノ立法處置ヲ以
 テ雙方ノ無稅若ハ輕稅輸入ヲ計ルヘキ商策ヲ運スコト最モ有益ナルヘシ歲入ノタメニスル稅權ハ
 之ヲ我專權トシ他政府トノ約定ノタメニ制限セラサルコトヲ要ス

(海事會議) 諸海國ヲ招集シテ海上ニ於ケル生命及財產ノ安全ヲ計ルヘキ一定ノ方法ヲ議スル
 明年四月當首府ニ於テ諸海國聯合會議ヲ開設スルニ就キ國會ノ允准ヲ經テ右招集ノ照會ヲ爲
 諸海國ニ於テモ之ニ同意ヲ表セルモノ既ニ數多之アリ此會議ニシテ果シテ能ク其一致協力ノ目
 的ヲ達スルコトヲ得ハ實際ニ良効績ヲ舉グルルヲ疑ナシ

(噸稅法ニ關スル諸外國トノ照會) 千八百八十四年六月二十六日ノ噸稅法並ニ同改正法ニ就キテ現ニ我國ト航通及商業條約ヲ結ヒ居ル諸外國ヨリ談判ヲ受ケタルコト甚タ多シ不幸ニシテ右稅法ニ關シ諸外國ハ大ニ我國ト意見ヲ異ニシ評議未タ一決セズ此事ハ頗ル重要ナル問題ナレハ余ハ更ニ詳細ナル報告ヲ提出スヘシ

(歸化法) 我國ニ外國人ノ渡來益、盛ナルト同時ニ旅行ノ便モ又彌、開クルニ從ヒ我歸化法ノ寬典ヲ濫スルノ弊日一日ヨリ甚シ然レハ詳細ノ注意熟識ヲ加ヘテ該法ヲ改正スルハ今日ノ一要務ナリ現行ノ歸化法ニハ嚴重ナル取締法ナキヲ以テ外國人ハ米國國民證ヲ得ルコト甚タ容易ナリ之勿クニ動モスレハ國ニ對スル義務ヲ忘リ米國國民タル本分ヲ守ラサル不忠實ノ人民ヲ生シタリ此種ノ人民ハ不幸ニシテ其數甚タ多シ然レトモ既ニ我國民タル以上ハ假令國民タルノ義務ヲ盡サハルモ政府ニ向ヒテハ其保護ヲ要求スルヲ以テ外交上ニ非常ノ煩事ヲ惹起スコト往々之ヲ見現ニ我國務省(外務省)ハ歸化人民ノタメニ煩雜ナル問題ニ接スルコト夥シ由リテ此際外國旅行券附與ノ法ヲ改正シ首府ニ中央記録局ヲ設ケテ以テ嚴正ナル歸化取締法ヲ施スコト甚タ必要ナリ斯方法ニヨリテ歸化人アルコトニ一々其詳細ノ検査ヲ遂ケテ正當綿密ナル記録ヲ中央政府ニ保存スルコト其國民權詐稱ノ場合ヲ發見スルコトモ少カラサルヘシ從ヒテ我政府カ不當ノ責任ヲ免ルルハ如何モ亦少カラサルヘシ

(外交官及領事官) 我領事官ノ組織ヲ改正スルコト甚タ必要ナリ現在領事廳ノ數ハ實地ノ必要ニ照ラシテ考フレハ多キニ過クルヲ覺ユ之ヲ減シテ各領事廳ノ管轄區域ヲ擴メ其維持費トシテ相當ノ支給ヲ爲セハ可ナリ何ツ故ラニ數多シ官廳ヲ置クヲ以テ我政策トシテ必要ヲシヤシキニ我外交官及領事官ニ對スル支出方法ハ宜シク之ヲ改正スルニ現行ノ法ニ用レハ我在外ノ外交官ハ役徳トシテ格外ノ金額ヲ費スコトヲ得是亦嚴重ニ禁止セサルヘカラス領事管視ノ方法並ニ公使館

書記官ノ人員定限ハ速ニ之ヲ決定セサルヘカラス是等ノ事ニ就キテハ前同既ニ勸告スル所アリトト也今亦特ニ是ヲ申告ス

(ウニオントシ百年祭) ショゴヂ、ウニオントシカ大統領トシテ辭職以來第一百年ニ相當スルヲ以テ千八百八十九年四月三十日紐育府ニ於テ其祝祭ヲ行ハンタメ該府ノ有志者等ハ自費ヲ擲テ其準備ヲ施セリ右祝祭ハ全國人民ノ舉リテ贊成スヘキ所ナレハ余ハ茲ニ國會ニ向ヒテ合衆國人民ノタメニ此慶事ヲ補助センコトヲ勸告ス

(大藏省) 大藏卿ノ報告ハ我國財政ノ情況ヲ詳ニシ且ツ大藏省ニ關連スル政府各局部ノ動作ヲ詳ニセリ該報告ニ據レハ千八百八十八年六月三十日ニ終ル會計年度ノ歲入總額ハ三億七千九百二十六萬六千七百七十四弗七十六仙ニシテ此内二億九千九百九萬千七百七十三弗七十三仙ハ關稅、一億二千四百二十九萬六千八百七十一弗九十八仙ハ内地收稅トス(其他ノ收入ヲ合シテ前記總額ヲ得タリ)是ヲ千八百八十七年六月三十日ニ終ル會計年度ニ比スレハ歲入増加ハ七百八十六萬二千七百九十七弗十仙ナリ

千八百八十八年六月三十日ニ終ル會計年度ノ歲出總額ハ二億五千九百六十五萬二千九百五十八弗六十七仙ニシテ歲入ノ歲出ニ超過スルコト一億千九百六十一萬二千六百九十九仙ナリ右歲出總額ヲ千八百八十七年六月三十日ニ終ル會計年度ニ比スレハ年金支出ニ五百萬弗餘ノ増加アリ

モ拘ラズ八百二十七萬八千二百二十弗三十仙ヲ減セリ
又千八百八十九年六月三十日ニ終ル會計年度ハ千八百八十八年九月三十日ニ終ル三箇月ノ決算ト殘九箇月ノ豫算トヲ合シテ歲入總額三億七千七百萬弗歲出總額二億七千三百萬弗ニシテ大約一億四百萬弗ノ歲入超過ヲ生スル豫算ナリ
茲ニ又千八百九十年六月三十日ニ終ル一年度ノ豫算ヲ舉クレハ歲入ハ三億七千七百萬弗歲出ハ二

億七千五百七十六萬七千四百八十八弗三十四仙ニシテ一億百二十三萬二千五百一十一弗六十六仙ノ
剩餘ナリ但此豫算中ニハ消還費條例ニヨリテ要スヘキ毎年四千七百萬弗餘ノ費用ヲ加ヘス
關稅徵稅費ハ千八百八十五年ニハ三分七厘七毛ナリシカ前年度(千八百八十八年六月三十日ニ終
ル)ニハ二分四厘四毛ニ減セリ

内地收稅ハ前年度ト千八百八十七年六月三十日ニ終ル一年度ト相對照スルニ前年度ノ方五百四十
八萬九千七百七十四弗六仙ノ增加ニシテ徵稅費ハ三分四厘ヨリ三分二厘ニ減セリ脂油性物ノ稅ハ千
八百八十七年六月三十日ニ終ル一年度ニハ七十二萬三千九百四十八弗四仙ナリシカ前年度ニハ千
六萬四千三百三十九弗八十八仙ニ増セリ

(公債券買上) 本年度及前年度共ニ公債券ヲ買上ケテ以テ消還費條例ノ所要ニ應セリ斯クテ本年
十二月三十日迄割増ヲ以テ買上ケタル政府發行ノ未滿期公債額面ハ九千四百七十七萬四千四百弗ニ達
其割増高ハ千七百五十萬八千六百十三弗八仙ニ上レリ

右ノ如ク消還セル未滿期公債ノ割増高ハ滿期ニ至ル迄ノ殘年月ニ對シテ概シテ二分許ノ利息與ヘ
ルニ等シ而シテ政府ハ此處置ニヨリ元金トシテ支拂ヒタル金額及割増高ニ對スル二分利ヲ滿期ト
時ニ拂渡スヘキ利トシテ差ヲ益シタルモノナリ此益ヲ計算スルニ大約二千七百十六萬五千弗ニ下
ス然レハ政府ハ人民ノ利益ニ巨大ノ益ヲ得タルモノ、如ク見ユレトモ實際ハ決シテ然ラス大藏卿

カ論スル如ク右消還ニ費シタル剩餘金額ハ素ト政府カ其必要外ニ人民ヨリ徵收セルモノニシテ之
ニ國庫ニ停滯セシメシヨリハ寧ロ民間ノ流通ニ供スルニ若カストシテ斯ク支出セルモノナリ若シ
此剩餘金額ヲ以テ正當公平ナル法律ニヨリ初ヨリ民間ニテ得ル所ノ利ハ少ク
トモ毎年六分ニ當リシナルヘシ試ニ消還元金及割増高ニ對スル年六分ノ利ヲ附シタル高ヨリ消還
割増トシテ人民ニ與ヘタル二分利ヲ扣除スルトキハ五千五百七十六萬弗許ノ損失ヲ生シタルコト

明ナルニシテ政府ハ今日ノ儘ニ其不必要ナル過多ノ徵稅ヲ廢止セシメ時々割増ヲ以テ其自ラ發行シ
タル公債ヲ消還スルトキハ人民ノ損失ハ實ニ幾距離多額ニ達スルヲ得テ測ルルカラス加之某人
民ハ組合ヒテ故ラニ公債ノ價格ヲ騰貴セシムルコトアルヘシ

政府ハ割増ヲ以テ巨多ノ公債ヲ買上ケ尙ホ又二千萬弗許ノ金額ヲ年金支拂ノタメニ引出シタルニ
モ關ラズ千八百八十八年十一月三十日ニハ國庫ニ尙ホ五千二百二十三萬四千六百十弗一仙ノ剩餘
ヲ見ユリ

(銀貨鑄造) 千八百八十七年六月三十日ニ終ル年度ノ末ニ臨ミ銀貨強制鑄造法ニヨリ二億六千六
百九十八萬八千二百八十弗ノ銀貨ヲ鑄造セリ此內五千五百五十萬四千三百十弗ハ民間ノ通用ニ供
セリ千八百八十八年六月三十日ニハ二億九千九百七十萬八千七百九十弗ヲ鑄造シ此內五千五百八
十二萬九千三百三弗ノ銀貨ヲ民間ニ流通シ二億三十八萬七千三百七十六弗ハ銀券ヲ以テ同流通

供セリ銀券消還ニ對スル銀貨ハ現ニ政府ノ手ニアリ千八百八十八年十一月三十日ニハ三億千三百
五十七萬九千九百九十弗ヲ鑄造シ此內六千九百七十七萬九千九百九十弗ノ銀貨ヲ民間流通ニ供シ別ニ二億三千
七百四十一萬八千三百四十六弗ノ銀券ヲ發行セリ

大藏卿ハ此上ニ銀貨ヲ鑄造スルコトヲ害アリトシ此ヲ停止スヘキ旨ヲ論セリ余モ亦此論ニ同意ヲ
表シテ之ヲ國會ニ勸告ス他ノ重要ナル報告及勸告ニ就キテハ國會諸君ニ於テ宜シク同卿ノ報告ヲ
熟讀セラレシコトヲ冀望ス

(陸軍省) 陸軍卿ノ報告ニ據レハ本年ノ報告取纏期日ニ於テ陸軍兵數ヲ將校三千八百八十九人奉
萬四千五百四十九人ナリ本年六月三十日ニ終ル年度ノ陸軍省經費ハ四千六百十六萬五千七百七仙
ニシテ此內九百十五萬八千五百十六弗六十三仙ハ河港修繕等其他ノ工費ニ屬ス

(砲門及砲臺局) 去九月二十二日裁可ノ條例ニヨリテ規定セル砲門及砲臺局ハ千八百八十八年十月三十日正ニ之ヲ開設セリ而シテ該條例第四節ノ規定ニヨリテ八吋、十吋及十二吋砲製造及第五節ノ規定ニヨリテ鋼鐵嵌締鑄造鐵十二吋白砲製造ノ設計及仕方書ハ右砲門及砲臺局ニ廻附スルモノ同日砲門部ヨリ陸軍卿ニ差出セリ

右設計及仕方書ハ砲門及砲臺局並ニ陸軍卿ニ於テ速ニ之ヲ裁可セルニヨリ陸軍卿ハ更ニ請負人募集ヲメテ全國諸新聞紙ニ廣告文掲載ノ事ヲ本年十一月十日附ヲ以テ許可シ同月十三日指定シ諸新聞紙ニ向ヒ該廣告文掲載ヲ依托セリ鋼鐵鑄造請負人札ハ千八百八十八年十二月二十日白砲製造請負人札ハ千八百八十八年十二月十五日之ヲ開查スル筈ナリ

(陸砲製造所) 「ウツハル」兵器局所在地ニ陸砲製造所ヲ建設スルニ就キ其設計及仕方書ヲ調成スルメテ千八百八十八年十月四日ヲ以テ砲兵將校議會ヲ開ケリ該會ヨリ提出セル工場建築及將校營所設置ノ豫算報告ハ本年十一月初旬砲門及砲臺局ノ裁可ヲ得タルニヨリ更ニ又仕方書及請負規約等ヲ調成シ掘鑿工事、工場及將校營所建築ニ對シテ請負人募集廣告ハ既ニ之ヲ公發セリ製砲所ノ細圖並ニ仕方書ハ今取調中ナレハ三四箇月中ニ調成シテ其請負人募集廣告ヲ發スルニ至ルヘシ機械目錄ハ既ニ出來セリ大形旋盤ノ設計モ四箇月内ニハ完成スヘシ右完成ノ上ハ砲門及砲臺局ノ裁可ヲ經テ其請負人募集廣告ヲ發スルヘシ機械器具ハ工場落成次第ニ成工ノ見込ナリ其時日ハ凡ソ千八百九十年七月頃ナルヘシ

陸軍案ノ空氣「ダイナマイト」砲製造規定ニヨリ之ニ必要ナル仕方書ヲ目下調製中ナリ此請負人募集廣告ハ近々ニ發表スヘシ右「ダイナマイト」砲ノ口径十五吋ニシテニ發射力ニ破裂性「グレナド」五百封ヲ發スルニ足ルヘシ其竣工ハ六箇月乃至十箇月ナルヘキヲ以テ該規定ニ要スル所ノ砲門ハ千八百八十九年中ニハ悉皆完備ノ見込ナリ

(軍人登用試験法) 陸軍卿ノ報告中ニ載スル勸告ハ孰モ陸軍々人ノ適任力ヲ増シ訓練ヲ獎勵スルニ方方法ヲ示シ余カ疑ハサル所ナリ國會諸君ニ於テモ注意ヲ加ヘラレシコト冀望ニ堪ヘス就中軍人昇級試験法ヲ設クヘシトハ議ハ至要ノ問題ナリ右ニ就キテ陸軍卿前同既論述セル所アリ試験法ノ便益ヲ説クニト甚ク詳細確實ナリ故ニ今日ハ最早之ヲ擬議スルキニアラス宜シク速ニ之ヲ可決實施スルヘシ

(「リダン」將軍ノ訃) 本年八月「リダン」將軍ノ逝去セラレシハ實ニ全國ノ損害ナリ陸軍ハ之カタメニ其最良ノ一將ヲ失ヒ合衆國ハ之カタメニ武勇熟練ノ兵士、深謀遠慮ノ助言者、温良明智ノ人ヲ失ヘリ苟モ將軍ト知交アル者ハ將軍ノ偉勳ト大名ヲ欣慕シテ止マサルヘシ然レトモ將軍ノ淡泊、寛大、仁慈ノ徳ニ至リテハ尙ホ一層ニ人ヲシテ追悼ニ堪ヘサラシムル所ナリ

(アリゾナ「インヂヤン」人) アリゾナ「インヂヤン」居住地ニ住セル「アパシ」族ト稱スル「インヂヤン」人ハ千八百八十五年ヨリ千八百八十六年ニ涉リ政府ニ抵抗シテ國法ヲ亂シ殺虐ヲ擅ニセルヲ以テ政府ハ兵ヲ派シテ其暴徒ヲ捕獲シ該種族ヲ其アリゾナ居住地ヨリアリゾナ州ガウラノ山ノ營所ニ移シ現ニ戰時俘虜トシテ之ヲ留置セリ本年十月三十一日ノ調査ニハ其人員男八十三人女百七十八人童男七十八人童女五十九人合計三百八十二人アリ司令將校ノ報告ニ據レハ孰モ健康ヲ失フ事ナシ色ナシ可成的役務ニ服セシメテ餘暇ナカラシムル由ナリ其童兒ハ相當ノ年齢ニ達スル者ニ至ラザルニ至リテカカ「インヂヤン」及「インヂヤン」ノ「インヂヤン」學校ニ送リテ就學セシムル本年ノ夏某慈善家等ハ教員三名ヲ右「インヂヤン」人中ニ送リテ童兒並ニ丁年以上ノ者ニ授業セシメンコトヲ願出テタルニヨリ政府ハ早速之ヲ許可シ尙ホ又右教員ニ居室ヲ與ヘ營所ノ建物若干部分ヲ割キテ其教場ニ充テタリ爾後右教員ハ既ニ其授業ヲ始メ其俸給ハ前記慈善者タル淑女等ヨリ之ヲ支辨スルコトナレバ此等「インヂヤン」人ハ其舊來ノ居住地ニ復住スルコトヲ許スルコトヲ唱ヌル人アリ其言ヤ素

ヨリ慈愛ニ出テタルコトナレドモ其當ヲ失ロタルコトナレハ余ハ毫モ之ニ同意ヲ表スル能ハス該種族ヲ其居住地ヨリ移セザルハ然セサルヘカササルノ必要ニ出テタルコトナリ今何ヲ故ナクヤテ此蠻民ヲ其舊野ニ放ツヘケンヤ當局ノ責任者モ素ヨリ慈愛心ニ乏シカラサレトモ蠻民ノ暴舉ヲ再ササルヤ否ヤハ信シ難シ之ヲ放解散スルハ危險ヲ冒スノ處置ナリ然レトモ之ヲ其現在ノ場所ニ留置スルト同時ニ政府ハ之ヲ愛憐シテ其殘虐ナル蠻性ヲ和スルコトヲ怠ラス陸軍卿モ其報告書中此種族ノ來歴ヲ示シ其殘忍ナル惡性ヲ説キ政府ハ不幸ニシテ平和手段ヲ以テ之ヲ撫御スルコト能ハスル事情ヲ詳述セリ之ヲ一讀セハ慈愛其他ノ理由ニヨリテ該種族解放ヲ求ムルノ情ハ頓ニ消散スベシ若シ消散セズトセハ驚クヘキ一怪事ナリト謂ハサルヘカラス

海軍省 海軍卿ノ報告ハ該省執務ノ適實ニシテ軍艦改造ノ事業ニ於テモ最モ満足ナル進歩ヲ致セルヲ示セリ築造中ナル軍艦ノ中「チヤールストン」「バルチモール」「ヨルクスタオン」「ヴェニス」「ウァヤス」「ペトレル」ノ五艘ハ既ニ進水セリ其工事ハ遠カラスニテ完成スヘシ右ノ外ニ「フキラデルフヤ」「サン、フランシスコ」「ニューヨルク」「ワシントン」「コソコ」ト及「ハリネブルク」水雷艇（紐育「トリビュン」ニハ「ハレマ」フ「水雷艇」トアリ）ハ就緒次年ニ引渡サルヘキ契約ナリ右合計十艘ノ軍艦ハ工事皆著シク進捗シテ將來モ亦尙ホ進捗スヘキ見込アルヲ以テ來ル十二箇月中ハ之ヲ米國海軍ノ一部分トナシテ實地ニ運轉スルコトヲ得ヘシ

海軍卿ノ報告ニ據レハ前述新造ノタメニ勞力ヲ増シ費用ヲ要スルコト大ナルニモ關ラス千八百八十八年六月三十日ニ終ル三箇年ノ經費ハ千八百八十四年六月三十日ニ終ル三箇年ニ比スルニ三割餘ヲ減セリ斯ク經費ヲ減シタルハ主トシテ該省ノ執務方法ヲ改良セル由ル其詳細ハ同卿ノ報告ニ就キ之ヲ知ルヘシ

右事務改良ノ中最モ著シキハ必要品買入ヲ一手ニ取攝メテ之ヲ一局長ノ責任ニシテ事務改良ノ力

タメ通常買入法ニ代テ競賣法ヲ以テセル場合甚多ク千八百八十四年及千八百八十五年ニ通常買入法ヲ以テ買入レタル物品代價ハ海軍省買入代價概高ノ五割以上ナリシカ前年度ニハ一割一分ニ達セズ殘光割許ハ皆競賣法ヲ以テ買入レタルモノナリ買入ノ目ハ毎年二百萬弗（臺灣）ニ達スルニハ二千七百萬弗トアレトモ蓋シ課レリニ超スルヲ以テ此改良ハ著シク經濟ヲ遂ゲル

郵便事務 驛遞總官ノ報告ニ載スル如ク郵便事務ハ其各局部ニ著シク増加ヲ爲セリ郵便局ノ數ハ過ルル三箇年ニ六千二百二十四前年度ノミテモ三千三百九十九増シ現ニ本年七月一日ニハ其總數五萬七千三百七十六トナレリ前年度一箇年ノ増加ヲ所在地ヨリ別舉スレバ左ノ如ク

新英蘭諸州	五	太平洋沿岸諸州及州外地	一九〇
中央諸州	一八一	西部及西北部諸州及州外地	四三五
南部諸州	一三六五	哥倫比亞區	五
州外地	四一	計	五三一九

無稅配達事務所 千八百八十七年六月三十日ニ終ル一年度ニハ八百八十九ナリシカ千八百八十八年六月三十日ニ終ル年度ニハ増シテ三百五十八トナレリ郵便物委託鐵道モ亦百六十八線路ヲ増シ共一箇年通過ノ哩數ハ千五百七億千五百九十一萬七千四百一十一哩（紐育「トリビュン」ニハ千五百七十九萬五千九百七十七哩トアリ）ヲ增加スル豫算ナリシカ實際新委託ノ分ハ百二十七萬五千四百五十二哩（紐育「トリビュン」ニハ一萬二千七百六十四哩トアリ）ノ延長ナリ

郵便爲換事務 郵便爲換方ニ於テ取扱ヒタル金高ハ小爲換ヲ合シテ一億四千三百萬弗以上ニ達

(小包郵便定約) 前年度中バルバドス、パハマ、英領ホンチラス及墨西哥其小包郵便定約ヲ結ヒ
シカ今又中央亞米利加及南亞米利加諸國ト該定約ヲ協議中ナリ過クニ三年間諸外國ノ郵便往復
ハ頗ル増加セリ就中中央亞米利加南亞米利加及墨西哥其トノ郵便往復ハ殊ニ著ク増加セリ此等諸
國トノ郵便往復ハ重ニ商業的往復ナレハ其増加ハ實ニ商業取引ノ増加ヲ示スモノナリ右ニ言フ小
包郵便定約ハ既ニ締結セル諸國トノ交通ニ就キテ觀察スルニ豫テ期望ニ違ハス實地有益ナル
効果ヲ見ルコトヲ得ル本年一月中加拿陀ト取結ヒタル普通郵便定約ハ本年三月一日ヨリ實施ス
ルコトナリ加拿陀及合衆國ハ郵政上實際一國ト謂フモ可ナル有様ニ至レリ此定約ニ據リ小包商
品ハ總テ四等郵便物トシテ遞送スルコトヲ得
郵便事務ノ各局部ニ就キテ逐一ニ其事情ヲ説キ其事務ノ巨大迅速ナル増加ヲ示シ又之ニ就キテ立
法的處置ノ必要ヲ枚擧スルコトハ茲ニ違アラサルナリ此等ノ事竝ニ驛遞總官ノ緊要ナル勸告ニ就
キテハ宜ク同總官ノ報ヲ熟讀セラレハシ抑々我驛遞省ハ千八百七十年ニハ其收入千七十七萬三
千弗(紐育「トリビニ」ニハ千九百七十七萬二千弗トアリ)ナリシカ千八百八十八年ニハ郵稅輕
減ノタメニ收入ノ率ヲ減セルヨリ甚ク多キニ拘ラス收入總額ハ五千二百萬弗ノ巨額ニ達セリ是
ト如ク絶大ノ發達ヲ爲セル省務ニ就キテ提出セル當局者ノ報告竝ニ意見ハ國會諸君ニ於テ充分
注意ヲ加ヘスシテ登ツレ可クランヤ
(郵便局建物) 各地方ノ郵便收入ニ應シテ其地ニ郵便局トシテ政府ヨリ公有家屋ヲ建築スルノ法
ヲ設クルタメ前驛遞總官ヨリ一篇ノ議案ヲ提出セリ該案ハ郵便收入ニ一定ノ標準ヲ設ケ標準額
以上ノ收入アル地方ニ郵便局ヲ増設スヘシ斯クスレバ富ニ人民ノ便益ヲ増スノミカラス却テ經濟
上巨大ノ益アリト言フニハ從來各地ニ公有家屋ヲ設ケテ以テ郵便局ニ充ツルノ法カカリシ
タメ政府ハ每年右家屋建設費ハ七分乃至一割ニ當ル借宅料ヲ拂ヒ來レリ然レニ公然ハ必要ナキ場

所ニ公有家屋ヲ建設スル議案ヲ提出シ未タ曾テ斷ニス此際斯ル法案ヲ實施セバ一方ニ經濟上
益ヲ得他ノ一方ニハ公有家屋濫造ノ弊ヲ矯スルコトヲ得ベシ余ハ右議案ヲ今回法律トナラシ
メ期望スルナリ
(郵便事務員) 全國各地ノ郵便局長ノ中五萬四千八百七十四人ハ四等郵便局長オケ此等ノ局長
其事務上ノ費用ニ對シテハ何等ノ給與ヲモ受ケス而シテ其受ケル所ノ報酬ハ各自分擔ノ執務高ニ
應ジタル一定ノ比例アルノミ從前ニ對シテハ此比例報酬モ或ハ正當ナリシナラシ然レトモ郵稅
數回輕減ヲ經タル今日ニ至リテ報酬ノ比例ニ依然變更ナキハ報酬ヲ併シテ減スルノ處置ハ外
ヲスルハ報酬ハ減シタルニ相違ナケレトモ同時ニ事務ハ却テ増加シタルコト亦疑ナシ然レハ右四
等郵便局長等ノ報酬ヲ増加シテ少クモ往時ニ等シキ割合ヲ收得アラシメシコト當然ノ理ニ對シテ各
人ノ最も見易キ所ナルベシ
各郵便局在勤ノ書記ニ對シテ亦適當ノ立法處置ナカルヘカラ大驛遞總官ハ此等書記ノ階級法ヲ就
キテ屢々勸告セル所アリ余ハ國會諸君ノ之ニ注意セラレシコトヲ冀望ス無稅配送事務所ニ配達人
ニ對シテハ既ニ適當ナル立法アリ其昇級休日及祭日ニ代人ヲ立ツル事竝ニ勤務時間制限等ニ關シ
テハ既ニ充分ナル方法ヲ設ケタリ又右配達人ノ出勤セル事務所ノ數ハ前年度ニ於テハ五百五十八
本年度ニ於テハ之ニ唯四十四ヲ増スノ豫算ナレトモ配達人ニ對スル本年度支出ハ七百萬弗ナリ之
反シテ全國各地ノ郵便局ニ勤務スル多數ノ書記ニ對シテハ僅ニ五百九十五萬弗ノ支出ヲ爲スニ過
キス
(鐵道ト郵便事務ノ關係) 政府ト鐵道トノ關係ヲ定メタル法律ハ之ヲ改正セサルヘカラス諸鐵
道會社ハ概シテ驛遞省ニ對シテ充分ノ好意ヲ表シ能ク懇切ナル協力ヲ爲スニ雖モ之ニ對シテ政府
リ與フル報酬ハ現行ノ法ニ據リハ一定ノ制限ヲ超スルコトヲ得ス加之鐵道線路ヲ以テ郵便線路

ナスノ法ハアレトモ萬一鐵道待主ニ於テ郵便物委託ヲ拒絕スルトキハ政府ハ之ヲ強フルコトヲ得
 ス故ニ此ノ如キ場合アルトキハ驛遞總官ハ唯一種特別ノ方法ヲ以テ配送セシムルノ道アルヲモ尤
 モ現行法ヲ制定セル時ニ當リテハ該法モ適理至當ノモノナリシコト疑ナシト雖モ現今ニ至リテハ
 斯ル不都合ヲ生スルノ恐アリ是則チ改正ノ止ムヲ得サル所以ナリ
 驛遞總官ノ報告ニ附隨スル綿密ナル統計表アリ此表ニ據レハ郵便事務ハ大ニ擴張セルニモ關ラズ
 其費用ハ却テ減少シタルノミナラズ執務ノ續ハ甚々多ク加ヘタリ且ツ詐偽其他ノ犯罪並ニ郵便物
 損害ハ著シク減シ郵便局長又ハ驛遞總官ニ對シテ不平ヲ訴フル者甚々少キニ至レリ是等ハ余カ最
 モ喜ブ所ノ良事蹟ナリ
 司法省 司法卿ノ報告ニハ千八百八十八年六月三十日ニ終ル一年ノ司法省事務景況並ニ重切ナル
 勸告數多ク載セタリ右勸告ハ多クハ前回ニ提出シタル意見ヲ再示スルニ過キサレトモ宜シク諸君
 ニ於テ此次詳細ノ注意ヲ加フヘキモノナリ
 該報告ニ述フル如ク民事裁判ニヨリ政府ニ收入スヘキ金額ハ五千二百三十萬二千八百八弗(紐育)
 リロニ一ノ二五十五萬二千二百一十一弗八仙トアリナレトモ實地徵集スルコトヲ得タルハ僅ニ十三
 萬二千九百三十四弗ニ過キス罰金料沒收等ハ五十四萬千八百八弗四十三仙トモ此內政府ニ
 領收セルハ十萬九千六百四十九弗四十二仙ニ止マレリ此等ノ事實ヲ觀レハ政府ニ對スル負債ハ毫
 モ國民ヲ煩クヘキモノニ非ズ人ノ感情世ニ盛ナルコトヲ知ルニ足ルヘシ
 (多妻ノ禁) 千八百八十五年三月以前ニテハ夫ハ多妻及背法ノ同居ヲ罪トシテ罰金千八百
 六十二年及千八百八十二年ノ法律ニ據リエタリ及アイダボトノ州外地ニ於テ有罪ト決セル刑事件
 數ハ六件ニ過サリシカ爾後右法律及千八百八十七年ノ條例ニ據リ同様ノ處分ヲ施セルコト六百件
 以上トシ世ハ法律所禁ノ符爲テ嫌惡スル事同時ニ斯ク法律ヲ嚴重綿密ニ執行スルニ於テハ合衆

國內多妻ノ惡習ハ地ヲ拂フニ至ルヘキコト期シテ待タレハ
 未入移住資金會社及「チャチ」ホフ「シ」ガ「ス」グ「ラ」イ「ス」ト「ホ」フ「ラ」ッ「ダ」ル「テ」イ「セ」イ「シ」ウ「ト」稱セザル
 ヲ組合ニ廢絶スルタメ千八百八十七年三月三日ノ條例ニ據リ政府ヨリ起訴セル事件ニ就キテハ此
 等組合ノ免狀及財産ヲ沒收スル旨ノ言渡アリテ政府ノ勝訴トナレリ右沒收財産ハ八十萬弗以上ト
 レトモ今尙ホ合衆國大法院ニ控訴中ナルヲ以テ實際ノ授受ヲ了セズ
 內務省 內務卿ノ報告ニハ內務省ニ關係アル諸般ノ事項並ニ之ニ對スル執務景況ヲ詳細ニ舉示セ
 且茲ニハ唯其要ヲ摘ミテ簡略ニ之ヲ述フルコトヲ得ルノミ由リテ國會諸君ニ於テ右報告ノ全部ヲ
 通覽シ其中ニ載スル所ノ有益適切ナル意見ニ就キテ深密ナル注意ヲ加ヘラレシコト冀望ニ堪ハス
 (公有地) 我公有地ニ對スル正當ノ處置ヲ施スノ法ハ公正上ノ必要アルノミナラス尙ホ又後世ニ
 大關係アルコトナレハ速ニ之ヲ審議決行セサルヘカラス該法ヲ設クルノ必要ナルコトハ余カ數言
 ヲ以テ之ヲ盡シ得ヘキニアラス抑、我農作ニ適スル廣大ニシテ且ツ肥沃ナル土地ハ天ヨリ之ヲ開
 明ニシテ且ツ自由ナル人民ニ惠賜セルモノナリ開明ニシテ且ツ平等親密ナル人民カ善良ナル配分
 ニヨリテ之ヲ所有シ之ニ安居スヘキモノナリ吾人カ之ヲ公有スルニ當リテハ吾人ノ眼前ニ警戒ノ
 先例アリタルナリ警戒ノ先例トハ何ゾヤ他人諸國カ土地所有法ニ平等ヲ失ヒ今モ尙ホ其弊ヲ苦
 々實例是ナリ吾人ハ道理ト先例トニヨリテ善良ナル教誨ヲ受ケタリ吾人ニシテ此教誨ヲ破ラシキ
 我公有地ヲ私慾ニ充ツヘキ口實ヲ許スコトアリトモ不正領得ノ道ヲ開クノ法ヲ設クンカ多數
 人民カ安居スヘキ土地ヲ僅少人民ノ特惠ニ供スル行政處置ヲ爲サンカ吾人ハ又何ノ辭アリテ其實
 ヲ逃ルヘコトヲ得ン此等ハ情理ニ背反シ國幸ヲ妨害スルノ惡事ナリ吾人ハ宜シク之ヲ責罰シテ毫
 モ寬假スル所ナカレシ
 斯ク吾人ハ公有地處置ニ就キテ憂慮スル折柄此憂慮ヲ除キ人民ノ大患ヲ償フニ足ルヘキ事績ヲ少

シク現レタルハ余カ最モ喜ブ所ナリ前年度中不法ノ横領ヲ逃レタル土地ハ三千萬噶(紐育)トリ
「インヂヤン」ニ八千萬噶トアリ)ニ下ラス此面積ハ甚々大ナリト謂フヘカラサレトモ其人民ノ正當ナル
所有ニ歸スルコトヲ考フレハ從來ノ苦心ニ對シテ若干ノ報償ヲ得タルモノトシテ稍々満足スル
トヲ得ヘシ吾人ハ既ニ公有地ノ多分ヲ不正ノ私有ニ歸シ其弊ヲ受ケタルモノナリ吾人ハ願ル不廉
ノ價ヲ以テ吾人ノ經驗ヲ購ヘルモノナリ然レハ今尙ホ吾人ノ公有地タル殘餘ノ面積ヲモ今後ニ於
テ再ヒ不正ノ横領ニ歸セサラザルメ速ニ立法處置ヲ決行スルコト實ニ目下ノ一大急務ナリ
公有地ノ中ニ不毛ノ地ト稱セラル、廣大ナル土地アリ之モ亦會社又ハ私人ノタメ横領セラレサル
コトヲカメサルヘカラス現行ノ條例ニ據レハ不毛ト肥沃トヲ論セス舉ケテ私有ニ歸スルノ惡アリ
此所謂不毛ノ地モ灌漑ノ便ニシテ備ハラヘ豐饒肥沃ノ地ト爲スコト難キニアラス此灌漑法ヲ講ス
ルハ實ニ又一要問題ナリ故ニ不毛ノ地ヲ横領セシメサルコト固ヨリ必要ナレトモ之ニ對スル灌漑
ノ源ヲモ亦横領セシメサルコト肝要ナリ灌漑ノ源ニシテ會社又ハ私人ノ專有ニ歸スルトキハ所謂
不毛ノ地モ亦横領ニ歸セサルヲ得ス右不毛地開拓ノ第一着手段タル灌漑法講究ノタメ正確ナル學
術的調査ヲ行フノ手續ハ既ニ之ヲ行ヘリ該調査ヲ完了スル迄ハ當分土地貸下又ハ拂下等ノ處置ヲ
爲サ、ルコト無難ナルヘシ若シ輕々ニ斯ル處置ヲ爲ストキハ人民公共ノ利ヲ害スルノ惡アリ處置
ヲ猶豫スルモ損害ヲ生スヘキ謂ナシ惟フニ公共ノ利益上處置ヲ取急クヘキ必要ハ決シテ之アラサ
ルヘシ

「インヂヤン」我「インヂヤン」人ノ情況ハ益々改良ノ歩ニ進メリ之ヲ以テ開明ノ教化ヲ受ケ
シメ其蠻性ヲ脱セシムルノ道ハ彌々開ケタリ吾人ト此人種ノ關係ニ就キテ前年度中甚々キ札機
ヲ見ス却テ「インヂヤン」人ノ我ニ對シテ信ヲ置キ好意ヲ表スルノ厚キヲ見ル近來吾人カ此人種ヲ
遇スルコト正當ニシテ且ツ懇切ナリ之ニ由リテ彼モ亦我ニ對シテ情誼ヲ全クスルニ至レリ余ハ尙

ホ此上ニ飽クマテ此正當懇切ナル待遇ヲ怠ラズシテ以テ彼我ノ親睦セシムコトヲ切望ス
「インヂヤン」居住地配分ハ今尙ホ實行中ナリ之ヲ行フニ余ハ迅速ヲ目的トセシヨリハ寧ロ正當公
平ニシテ各「インヂヤン」人ヲ満足ヲ得シコトヲ目的トナスモノナリ元來此人種ハ精神及生活ノ獨
立ヲ缺キ且ツ無經驗若クハ怯弱ノタメ人ト談判スルニ臨ミテ往々自己ノ權利ヲ損スルコトアリ故
ニ土地配分ヲ行フニ當リ余ハ此點ニ注意シ一箇所ノ居住地ニ配分ヲ始メタルトキハ之ヲ完了シテ
該居住地内ニ在ル「インヂヤン」人カ各々平等ノ權利ヲ得土地共有ノ弊ヲ斷ツニ至ルマテハ之ヲ中
絶セサルコトヲ力メタリ右配分ヲ終ハリテ剩餘ノ地ヲ生シタルトキハ之ヲ我殖民用ニ供シテ可ナ
リ斯クスルトキハ「インヂヤン」人モ我農夫ト相隣接シテ其成績ヲ目撃シ自ラ開明人ニ模倣スル
風習ヲ生スルニ至ルヘシ

然レドモ「インヂヤン」人ヲ改進セシムヘキ最良法ハ内務卿カ勸告セル如ク完美適當ナル教育ヲ施
シテ其男女兒童ニ丁寧懇切ナル教誨ヲ加ヘ以テ其徳性ヲ涵養シ之ヲ以テ將來有要ナル産業ニ從事
セシムヘキ智識ヲ與フルニアリ「インヂヤン」人ノ性質能力ハ既ニ世人ノ知ル所ニシテ今之ヲ論ス
ル迄モナシ唯自下講究スヘキハ此性質能力ヲ充分ニ利用スルノ方法ニアリ此方法ニシテ完備スル
トキハ該人種ノ地歩モ自ラ進ミテ人世ノ快樂ヲ享有スルニ至ルヘシ從ヒテ往時吾人カ之ヲ壓抑セ
ル罪過モ之ヲ償フヲ得ヘシ斯ル成績ヲ得ルノ遲速ハ吾人ノ精神及公正如何ニアリ該人種ノタメ又
我國ノ利益名譽ノタメニハ可成的速ニ此目的ヲ遂ゲサルヘカラス

前年度中「インヂヤン」生徒ノ數ハ九百人以上ノ増加ヲ致シ其總數一萬五千二百十二人(桑港)シロ
ニクル)ニハ千五百二十一人トアリ蓋シ誤レリ)アリ生徒ノ數ハ著シク増シタルトモ教育費用ハ甚
シク増加ヲ見ス該人種ノ就學年齡ニ達シタル兒童ハ四萬人ニシテ之ヲ實際就學セル生徒ノ數ニ比
スルニ殆ト三倍ナリ是蓋シ悉皆ノ學齡兒童ヲ教育セント欲スルニ當リ止ムヲ得ヘカラサル故障ア

リテ然ルナリ
ダコタノ廣大ナル「インヂヤン」居住地ハ「シオツクス」種族ノ住スル所ナリ前同國會カ制定セラル法
律ニヨリ其一部分ヲ明渡シテ我殖民用ニ供スヘキ旨ヲ命シタルニ頗ル抵抗ノ色ヲ顯シタリ由テ更
ニ其拒絕スル所ノ簡條ヲ修正シテ明渡ヲ命シタレトモ尙ホ抵抗シテ止マズ該種族ノ要求スル所ハ
右明渡地一噎コトニ一弗二十五仙ノ買上料ヲ即急ニ領收セントスルニアリ然レトモ該種族モ亦法
律ヲ了解セサルニ非ズ其舉動モ亦強チニ非トシテ尤ムヘキナシ故ニ此談判ヲ速ニ結了スルコト實
ニ必要ナルヘケレトモ同時ニ政府ハ威迫シテ明渡ヲ命シ得ヘキニアラス此等竝ニ其他ノ「インヂ
ヤン」人處置ニ就キテハ余ハ内務卿ノ意見ニ同意スル者ナリ國會諸君ニ於テモ速ニ之ヲ熟議セラ
レシコトヲ冀望ス

(恩給局) 千八百八十八年六月三十日ニ終ル一年度中ニ受恩給者ノ名簿ニ加ハリタル者六萬二百
五十二人アリ又恩給増加ヲ許シタルコト四萬五千七百十六件ナリ同年中種々ノ原因ニテ受恩給名
簿ヲ脱シタル者一萬五千七百二十八人アリ而シテ受恩給者ノ總數ハ該年度末ニ於テ四十五萬二千五
百五十七人ナリ此内八百六十八人ハ千八百八十二年戰役ニ從事セル者ノ生存者一萬七百八十七人ハ該戰
役ニ從事セル者ノ寡婦一萬六千六十八人ハ墨西哥其戰役ノ兵士五千十四人(紐育「トリビーン」ニ五千
百四人トアリ)ハ該兵士ノ寡婦ナリ

右恩給トシテ拂渡セル金高ハ百二種ノ割合アリ一箇月二弗乃至四百十六弗六十六仙ニシテ其總額
ハ七千八百七十七萬五千八百六十一弗九十三仙之ヲ千八百八十七年六月三十日ニ終ル年度ニ比ス
レハ五百三十萬八千二百八十弗二十二仙ノ増加ナリ

恩給局維持費ハ三百二十六萬二千五百二十四弗六十七仙ナルヲ以テ恩給事業ニ要セル總金額ハ八
千二百三萬八千三百八十六弗五十七仙(七仙ハ蓋シ九仙ノ誤ナラン)ナリ之ヲ政府歲入總額ニ比ス

レハ實ニ三割一分五厘又歳出總額ニ比スレハ三割一分ニ當レリ

我恩給法ハ之ヲ改正セサルヘカラス百二種ノ割合アリトノ事實ハ受恩給者ニ對シテモ亦政府ニ取
リテモ公正ヲ得タルモノト謂フヘカラス恩給法ノ不完全ナルニ當リテ年々數多ノ恩給議案ヲ通過
スルトキハ平等公正ヲ失スルコト益々甚シ是該法改正ノ今日ニ急務タル所以ナリ是ノ如クニ
止マスハ恩給ノ精神ヲ誤リ恩給ハ軍功アル廢人又ハ其遺族ニ給與スルモノニアラスシテ貧者ヲ
補助スルモノナリトノ感想ヲ起スニ至ルヘシ是ノ如クナランニハ恩給ヲ受クルハ名譽ニアラス
テ却テ不名譽ノ事ナルヘシ諸君請フ之ヲ猛省セヨ

農務省 農務省ハ米國農業ノ方法ヲ改良シ成果ヲ増進セシムコトヲ力メ實地有要ナル報告ヲ蒐集
テ之ヲ各地方ニ分配シ新植物ヲ輸入試植シ畜類ノ傳染病有審ナル蟲類及菌類ヲ防禦驅除シ農業ノ
勞動ニ可成的多額ノ報酬ヲ與ヘント欲セリ其成績頗ル觀ルヘキモノアリ該省ノ報告ニ據レハ千八
百八十八年ノ農作ハ概シテ中等ノ出來ナリト云フ

(畜類肺病) 牧畜ハ我國ノ一大産業ナリ然ルニ四年以前歐羅巴ヨリ肺炎症ノ家畜疫ヲ傳播シ來リ
牧畜業ノ危害ニ當レルコト少カラス殊ニイリノイ、ミスソーリー、ケンタッキー、テンネシ等
ニ於テハ畜類ノ之ニ罹ルモノ甚々多カリシヲ以テ某地方ニ檢疫ヲ行フニ至レリ其他紐育州ニ於テ
ハ五郡ニ「ジョー、ジャルセイ、邊西爾威尼阿、デラウエヤ、マリーランド」等ニ於テハ一郡乃至四郡孰モ同
様ノ禍害ニ罹レリ

是ノ如ク業務ニ非常ノ災厄アルニ當リテハ迅速ノ方法ヲ施スノ必要ナルコト固ヨリ論ヲ俟タザレ
トモ右疫害ヲ受ケタル諸州ニ於テハ農務省ヲ以テ該疫根治法ヲ執行セシムヘキ法律ナク又州官吏
モ農務省ト協力マテ該法ヲ行フノ權ヲ有セス特ニ農務省ハ此目的ヲ達セシムコト欲スルモノニ必要ナ
ル支出ヲ得ス又職權ヲモ有セザリシナリ之ニ由リテ更ニ國會ノ議ヲ經テ其允准ニヨリ相當ノ職權

及資金ヲ得タル上罹害諸州ト協力シテ治療法ヲ執行セシカ幸ニシテ東西諸州ハ速ニ此惡ルヘキ疫
害ヲ攘フコトヲ得タリ目下尙ホ該疫ノ跡ヲ留ムル所ハ甚タ僅少ニシテ孰モ特別ノ監督方法ヲ行ヘ
リ爰ニ於テ一時各州ノ制限ニ苦メル商業ハ其舊來ノ便ヲ復スルニ至レリ
(製糖法其他ノ試驗) 黍及甘蔗ヨリ砂糖ヲ製スルニ交流法ヲ應用スルコトニ就キテハ過シル四年
間農務省ニ於テ種々ノ試驗ヲ爲シ遂ニ充分ナル結果ヲ得タリ交流法ハ最モ經濟的ノ方法ニシテ黍
糖製造業カ充分ノ見込ヲ得テ將來昌盛ノ基礎ヲ固メタルモ全ク該法ノ効果ナルコト既ニ世人ノ公
認スル所ナリ之ヲ以テレイシヤナ其他ノ製糖地方ニ於テモ續々該法ヲ行フコトハナレリ惟フニ遠
カラスシテ甘蔗糖製造家モ該法ヲ以テ唯一ノ製糖法トナスニ至ルヘシ同年間ニ又食品濫造ノ事ニ
就キテ綿密ナル調査ヲ遂ケ之ヲ發見スルニ最モ適當ナル分析法ヲ講究セリ其成績ノ若干部分ハ既
ニ該省ヨリ之ヲ世ニ公ニセリ
抑々農務省ハ農事ノ改良進步ヲ求メ學術的發見ヲ實地ニ應用シ以テ經濟ト實業ノ改良ヲ併セ期ス
ルモノナリ而シテ各地ニ試驗場ヲ置キ以テ諸般ノ農業ヲ監督スルノ方法ヲ行フハ該省ノ本職トス
ル所ニシテ現ニ其實行中ナリ政府カ農業ニ與フル補助ヲシテ真正ノ公益タル結果ヲ得シメント欲
セハ此監督法ヲ行フコト甚タ必要ナリ
補助鐵道 政府ヨリ敷地特許及擔保ヲ受ル諸鐵道會社ト政府トノ關係ニ就キテ速ニ詳細ノ注意
ヲ加ヘサルヘカラス此等鐵道會社ノ政府ニ對スル負債並ニ其業務景況調査ノ命ヲ受ケタル委員等
ハ曩ニ一篇ノ報告書ヲ呈出セリ該報告書ニハ右負債返納ヲ少クトモ或ル一會社ニ對シテハ延期ス
ルコトヲ許ササルヘカラスト言ヘリ右三言ヲ一會社ノ理事トナリテ政府ノ利益ヲ守ルヘシトソ内
命ヲ受ケタル某紳士等モ亦同様ノ勸告ヲ爲セリ是蓋シ至當ノ言ナリ國會諸君ニ於テ宜シク之ヲ熟
議スヘシ但シ之ヲ議スルニ當リテ毫モ偏固ニ逸セヌ又既往ノ過失ニ對シテ處分スルノ意ヲ抱カサ

ルコトヲ要ス飽クマテモ之ヲ實業的問題ト看做シ政府ヲシテ該負債ニ對スル辨償ヲ得シムルコト
ヲ目的トセサルヘカラス
哥倫比亞區 哥倫比亞區委員ノ報告ハ該區政廳各局部ノ事務景況ヲ詳ニシ其財政ノ満足スヘキ有
様ヲ證明セリ該區行政法ハ頗ル錯雜ナルヲ以テ右委員等ハ之ヲ編纂スルタメ至當ノ立法ヲ請求セ
リ火酒小賣免許日曜休業法租稅徵集法輕小ナル犯罪ニ對スル處分法國會ノ支辨ヲ受クル感化院及
慈惠院處理法等ニ關シテモ亦種々ノ改良法案ヲ提出セリ余ハ諸君ノ特ニ之ニ注意セラレシコトヲ
冀望ス

該區ノ市街及道路ヲ通行スル汽車鐵道ハ生命及財產ニ危害ヲ與フルコト少カラス此事ニ就キテハ
曩ニ既ニ述フル所アリシカ今又茲ニ之ヲ再言ス蓋シ右鐵道ノ危險ヲ除キ之ヲ眞ニ國民ノ便利
安全ヲ計ルノ具ダラシムヘキ法ヲ設クルノ必要ハ言ハスレバ明ナルヘシ
結論 余ハ我國ノ情況ヲ述フルニ當リテ言尙未タ盡サハルモノアリ然レトモ我國國民ノ信任ヲ受ケ
テ立法ノ責ヲ擔ヘル諸君ハ余カ報告不完全ナリトモ之カタメニ我國情ヲ了解セサルコト之ナカ
ルベシ吾人ハ國民ノ臣僕トシテ其職ヲ執ル者ナリ此職ヲ行フニ當リテ能ク吾人ノ貞節ヲ維持シ愛國
心ヲ汚サス克己心ヲ以テ公益ヲ專一ニ計ラハ庶幾クハ以テ過ナキコトヲ得シ

千八百八十八年十二月三日

華盛頓ニ於テ

グローヴァークレブランド

一千八百八十九年十二月三日米國大統領敎書

時事新報

我政府ノ事務ハ公務ヲ行フノ任ニ當レル者カ假令ヘ一時タリトモ隨意ニ執行スルコト殆ンド皆無ニシテ如何ナル處置モ英敏綿密ナル人民ノ注目スル所ナレバ合衆國ノ事情ハ日々知レ渡リ必要ナル立法ニ關スル忠告ハ大統領ヨリ毎年國會ニ送ル教書ヲ待タズシテ既ニ明カナリ我國ト外國政府トノ關係ハ好意信實ヲ現ハシ將ニ終ヲ告ケントスル本年中ニ重大ナル外交事件ノ落着セサルモノ僅少ニシテ尙ホ未定ノ問題ヲ速ニ都合好シ定ムル能ハサルノ障害アリト思ハレス外國ニ對スル我政府ノ處置ハ公明誠實ヲ旨トシ我目的ハ明白ニシテ我手段ハ少シモ陰險ノモノニアラス之ニ依テ既ニ好結果ヲ奏シタレハ過去百年間ニ吾々カ外國政府ニ誠實ヲ盡シテ得タル名譽ヲ保維スルハ國民タル吾々ノ義務ナリ

米洲列國ノ大會 米洲獨立國間ノ相互ノ利益及ヒ和親ヲ維持シ且ツ擴張スルノ方法ヲ熟議セシカ爲メ來會シタル南北兩米獨立國ノ委員ヲ我國ノ名譽賓トナレタルハ頗ル大切ニシテ祝賀スヘキ事ナリ斯クシテ列國ノ關係チ一層親密ニシ其繁榮ヲ増加スルノ機會ハ諸國相互ノ利益ヲ計ル爲ニ用ヒラルハコト余ノ信シテ疑ハサル所ナリ我國民モ亦大會ヨリ生スル結果ニ信用ヲ置キテ注目スルナルヘシ卓識アル諸政事家ノ集リタル此大會ヲシテ著名ナラシムル爲ニハ國會ヲ注意ヲ要スルヲミナラス列國間ノ交通ヲ妨クル障壁ヲ破壊スルタメ其ノ共働セシコトヲ要ス此會ニ伴フノ望アル商賣上ノ結果ハ實際甚ク價值アルニ相違ナシト雖トモ最大利益ハ列國間ノ平和ヲ維持シ且ツ耶蘇文明ノ賞讃スル方法ニ依テ總ヘテノ爭論ヲ調停スルタメ王風ヲ得ヘキ良策ニアリ列國ノ委員ハ我國ノ財寶ト產物ヲ實見シテ我國ト列國トノ交際シ無私ナルニ満足スルハ余ノ保證スル所ナリ海軍會議 好結果ヲ奏スルノ見込アル他ノ萬國同盟會ハ近頃首都華盛頓府ニ開キ今尙ホ開會中ナリ我政府ハ千八百八十八年七月九日國會ニテ議決シタル議案ニ從ヒ船舶規則ヲ改正シ海上ノ信號ヲ一樣ナラシムル事ニ關シ討論スル爲メ委員ヲ派出セラレ度キ旨海上國ニ照會シヨリシニ諸國ハ

好意ヲ以テ我案内狀ニ答ヘ廿六箇國ノ委員ハ當會ニ出席シ皆ナ熱心ニ事務ニ取掛レリ此會ハ議決ヲシテ有効ナラシムルニハ國會ノ共働セシコトヲ要ス以上ノ二大會カ三十三箇國ノ委員ヲ當國ニ集ヤラシメハ大切ニシテ先例ナキ事實云フベシ

外交上ノ關係 ポリグアイア、エノオトトル及ヒボシヂユラスハ現今特命全權公使ヲ我國ニ派遣セリ是ニ依テ西半球ノ列國ハ唯一國ヲ除テハ孰レモ皆華盛頓府ニ大使及ヒ全權公使ヲ駐在セシムルトモ我國ハ之ニ反シテ吾々ノ姊妹ナル共和國ニ劣等ノ使節ヲ派出シポリグアイアニハ辦理公使ト總領事ヲ送りパラグワイ及ヒウルグワイニハ辦理公使ヲ駐在セシムルノ米洲列國ト我國ノ關係ノ重大ナル事ヲ考フレハ諸國ト同等ノ大使及ヒ全權公使ヲ派出セサル可カラス前國會ニテハ二三使節ノ位地ヲ高メタレバ余ハ布哇、ハイチノ二國ガ米洲聯邦ニ對スル關係ヲ考察シテ此二國ヲ加ヘ斯ク着手シタル改革ヲ全クセシコトヲ望ム余ハ猶又目下華盛頓府ニ於テ開會中ナル萬國會議ハ代表者ヲ派出セラレ度キ旨ヲ速ニ布哇ニ通知スルノ用意ヲナサン事ヲ希望ス

支那ト我國ノ關係ハ重大ノ利害ニ關スルヲ以テ熟慮スヘシ前政府カ一層支那人ヲ移住ヲ嚴禁セシカ爲メ談判シタル米支兩國條約ノ失敗及ヒ其カ爲メ前國會ノ可決シタル法律ハ今回國會ガ公明正大ノ精神ヲ以テ熟慮スヘキ若干ノ問題ヲ殘セリ此精神ハ米支兩國ノ關係如何ヲ現ハスヘキ事ナリ我國ノ最大利益ハ支那勢力ノ元素ヲ全ク排除スルニアレトモ是ハ從來ノ經驗カ我社賣上ノ生活ト兩立シ難キ事ヲ證シタルモノニシテ此目的ニ達スヘキ處置ハ目下正當ニ我國ノ取扱ヲ望ム支那人ノ請求ヲ承認スルニアリ吾々ハ支那新帝ノ即位ハ支那ノ進歩ト繁榮ノ一紀元ヲラシムコトヲ望ムナリ

サモア群島ノ現狀ハ頗ル確カナリ千八百八十七年ノ夏該島ノ事件ニ關シテ我合衆國獨逸及ヒ英國ノ委員カ當府ニ會議ヲ催シタレトモ議合ハスシテ中止シタリシニ其後該島ノ出來事ハ重大ノ問

題ヲ生シ本年二月四日當府駐在ノ獨逸公使ハ本國政府ニ代ハリテ伯林ニ三國委員會ヲ開カント欲スル旨ヲ告ケシカハ之ヲ承諾シ余ハ上院ノ助言ト贊成ニ依リテ出席委員ヲ任命シタルニ委員ハ伯林ニ赴キテ會議ニ臨ミ數週間討議ノ上一條約ヲ締結シタリ是ハ上院ニ迴送シテ其贊成ヲ求ムヘキモノナリ余ハ此問題ヲ定ムル爲メオシタル盡力ハ土民ノ權利ト利益ヲ維持スヘキ法度ヲサモラニ永久設立スヘキモノナルヘシト信スルナリ

英國 過去數年間我合衆國ト英國ノ間ニ起リタル問題ハ中止又ハ落着ノ方向ニ傾ケリ英領加奈陀政府ノ方ニテハ前期間ニ成ル可ク衝突ノ時機ヲ避ケテ漁獵ニ適用スヘキ律令ヲ定メンカ爲メ盡力シ而シテ不當ナル困難ノ事件ニ關シテ我政府ノ温和ナル陳述ハ概テ一時補償ノ處置ニ出會ヘリ蓋シ現行條約ニ從ヒ且ツ兩國ノ一致シタル立法ニ依テ我カ正當ノ權利ヲ得ルハ遠キニアラザル事及ヒ現在ノ紛議モ公平ニ局ヲ結フ事疑ヒナカルヘシ余ハ大ナル湖水ニ接續スル海峽ニ於テ我國ト加奈陀ノ間ニ水上ノ境界ヲ明カニスルノ用意ヲサソコトテ望ム先年測量シタル境界線ハ常ニ裁判上ノ問題ヲ裁定スルニ足ルモノナリト云フ可カラス次ニ犯者ノ引渡ヲ要求及ヒ許容スヘキ罪惡ノ項目ヲ正當ニ増加スルハ我カ國ト英國ノ間ニ最モ望マシキ事ニシテ雙方ノ土地ヲシテ一方ノ犯罪人ノ避難所ヲラシム可ラス此問題ニ關スル新條約ハ近頃兩國間ニ締結セラレタレハ遠カラズシテ上院ニ迴送スヘシ

西印度ト西班牙 キニペ、ボルトリコト我國トノ商賣ノ大切ナルヲ考フレハ現在ノ關係ヲシテ一層密ナラシメントノ期望ヲ起スモ當然ナリ西印度諸港ニ於ケル我船舶ノ繁雜ナル取扱及ヒ航海稅ノ變更ヨリ生スル障害ハ除去セラレヘシ我國ト西班牙ノ間ニ橫ハレル要求ノ落着ハ望ノ如ク急速ノ運ビニ至ラス

米國ノ鐵道敷設者 白露ニ於ケル我國民カ敷設使用シタル鐵道ト密接シテ米人ノ利害ト關係ヲ及

ホス問題ハ我政府ノ注意ヲ促スニ至レリ他國政府ハ白露ニ對シテ米國市民ノ所有權ヲ輕シタリト申説スレハ公平ノ裁定ヲ得ル目的ヲ以テ事實ヲ精査スヘシ又目下葡萄牙トモ右ト同様ノ交渉アリ即チ我米人ハ葡萄牙政府ノ特許ヲ得テ亞非利加ノテラゴア灣鐵道ノ敷設ニ從事シ工事將ニ終リ告ケントセシ時同國政府ノ代表者ハ該道路ヲ差押シタレハリスホン府ニ駐在スル我公使ノ手ヲ經テ葡國政府ニ談判ヲ始メタリ而シテ適當ナル補助ヲ得ル爲メニハ盡力ヲ惜マサルヘシ

ニカラガ運河 兩洋交通運河會社ハ國會ノ免狀トニカラガ共和政府トノ約定ニ遵ヒ太西太平洋ノ間ニ緊要ナル水路ヲ開ク工事ヲ始メタリ元來サンジユアン河ノ右岸ハコスタリカ國ノ領地ニシテ同河ニ於ケル工事ニ對シコスタリカ政府ヨリ附與スヘキ特許ニ關シテ同政府トニカラガ政府トノ間ニ裁判上ノ紛議ヲ起サントシタレトモ余ハ兩國ノ間ニ相談ノ纏リシコトヲ聞クヲ喜ヘリ我政府ハ我國ノ商賣及ヒ實ニ全世界ノ商賣上ノ利益ヲ増ス爲メ斯クノ如ク大切ナル事業ノ成功ヲ妨クル問題ヲ定ムル事ニ盡力スヘシ

巴里博覽會 我國ト佛國トノ間ニ繼續シ來リタル好情ハ當夏巴里ニ於テ開會シタル萬國博覽會ハ我政府並ニ人民カ加ハリタル爲メ一層厚クナレリ我出品人ハ満足ノ結果ヲ奏シタリ委員ノ報告書ハ適當ノ時機ヲ見計ヒ國會ニ提出スヘシ

亞非利加ノ奴隸貿易 我政府ハ自耳義政府ノ照會ニ應シテ十一月十六日ブラツセル府ニ於テ亞非利加ノ奴隸貿易ヲ廢止シ且ツ奴隸ノ輸送ヲ禁スル方法ヲ討議スルノ目的ニテ開會シタル大會ヘ加入スル旨ヲ諾シタリ吾々ハ自國內ノ奴隸ヲ解放シタル結果ヨリシテ其習慣尙ホ減セサル地方ニ於テ賣奴ヲ廢止スル事ニ關シ吾々ノ利害ヲ感スル大ナリト云フヘシ

獨逸トノ交情 獨逸トノ交情ハ依然親密ナリ我國ニ歸化シタル獨逸人ガ本國ニ歸ル事ニ關シテ起リタル疑問ハ雙方穩ニ熟議シ兩政府モ全ク満足セリ

ハイチ及ドミニカ共和国ノ内訌ハ遂ニ局ヲ結ヒ現ニ鞏固ナル政府ヲ組織スルニ至
 リシハ満足スヘキ事ニシテ我國ハ之ヲ承認シタリダニシテ共和政府ニ對スル要求ヲ裁定スル
 爲メ目下當府ニ於テ委員會ヲ開キ居レハ速ニ満足ナル落着ヲ見シコトヲ望ム我政府ハ英國トウエ
 テシユラトノ間ニ横ハレル境界問題カ雙方ノ歴史上ノ所有權ニ從フテ穩ニ判定セラレシコトヲ希
 望スル旨ヲ述フルニ猶豫セザリシ
 諸外國ノ日本帝國ノ進歩ハ近頃自由ヲ保證シ責任内閣ノ用意ヲナス新憲法ヲ發布セタルヲ以テ證
 スヘシ我條約文ヲ實行スル爲ニ必要ナル機關ヲ用意シテ朝鮮ニ於ケル裁判上ノ權利及ヒ詞訟法ヲ
 確定スルコト大切ナルヘシ波斯政府ノ友情ハ同政府カ布教ニ從事スル米人ヲ歡待シ且ツ波斯王カ
 波斯ノ富源ヲ開發スル我國人ノ企業ヲ獎勵スルノ意アルヲ見テ知ルヘシ土耳其古ニ於ケル我國ノ裁
 判上ノ條約權ニ關スル討議ハ着々歩ヲ進メタレハ兩政府ノ満足スル様此權ヲ確定スル爲メ大ニ盡
 カスヘシ
 歸化人ノ歸化シタル市民ノ權利ニ關シテ常ニ我國ト諸國ノ間ニ疑問ヲ生シ特ニ佛伊露土トノ關係
 多ク瑞西之ニ次ケリ同盟條約ニ依テ此問題ヲ定メシカ爲メ屢々盡力セリ歸化人ノ不當ナル使用ハ
 決シテ許セ可カラサレトモ正當ニ歸化シタル人ノ權利ハ輕ンヌ可カラス此事ニ就テ特別會議ヲ採
 用ハ我國ト歐洲中ノ若干國トノ間ニ結ヒタル條約中ニハ承認セラレ而シテ現今此問題ニ關シ我國
 ト諸強國ノ間ニ起ル紛議ヲ裁定スルコト宜シカレハシ
 巴西共和國ノ共和政府ヲ設立スル爲メ起リタル巴西ノ革命ハ我國ノ等閑視可カラザル出來事
 我政府ハ直ニチチテシヤチト政府ニ駐在スル我公使ニ向ケ臨時政府ヲ和親ヲ維持スベキ旨ヲ訓
 令シ當府ニ在留スル巴西公使ハ依然事務ヲ取扱フヘキ命ヲ臨時政府ヨリ受ケタレハ少シモ我國ト
 巴西ノ實際ニ障害ヲ與フル事トナシ我政府ハ猶又我公使ニ向ヒ巴西人民ノ過半數カ新共和政府ノ

設立ヲ贊成スレハ直ニ之ヲ承認スル旨ヲ訓令シ置ケル
 財政 我國ハ益々繁榮以有様ニシテ夏期ノ收穫非常ニ多ク目下ノ商況ニテハ商人及製造人ノ幸福
 ナルヲ望ムナラス我職人ニ一般ノ業ヲ興フルノ見込アリ大藏卿カ計算シタリ千八百八十八年七月
 日ヨリ本年六月三十日迄ノ歳出入報告書ハ國會ニ提出スヘク以テ之ニ依テ財政ヲ明カニスル事得
 ベシ余ハ茲ニ其二三ノ事實ヲ記シ總歳入ハ三億八千七百零五萬零五百八十八弗八四ニシテ其内譯
 金關稅ヨリ三億二千三百八十三萬二千七百四十一弗六八内國稅一億三千零八十八萬一千五百十三
 弗九三其他ノ財源ヨリ三千三百三十三萬五千八百零三弗三三ナリ又通常ノ歳出ハ二億八千一百九
 十九萬六千六百五十五弗六零ニシテ臨時費豫備金ヲ合スレハ歳出總額三億三千九百五十七萬九千九
 百二十九弗二五ナレハ臨時費豫備金ヲ用意シタル上ニテ歳入ノ歳出ヨリ多クヨリ五千七百四十七
 萬零二百二十九弗五九ナリ而シテ本年度ノ豫算ハ歳入三億七千五百弗ニシテ通常ノ歳出ハ三億九
 千三百萬弗之ニ臨時費豫備金ヲ加フレハ歳出ノ總額三億四千一百三十二萬一千一百十六弗九九ニ
 シテ三千三百六十七萬八千八百八十三弗零一ノ剩餘ヲ見ル豫算ナリ
 國庫剩餘金 千八百九十一年六月三十日ヲ以テ終ル年度ノ豫算ハ歳入三億八千五百七十萬弗ニシ
 テ歳出ハ臨時費豫備金ヲ加ヘ三億四千四百四十三萬零四百七十七弗七十仙ニシテ莫大ノ剩餘ヲ見ル
 都合ナルカ國會ハ須カラシク此クノ如キ剩餘ヲ減スルノ法ヲ講セサル可カラズ元來公共ノ事ニ不用
 ナル金ヲ集ムルハ徒ニ人民ヲ苦シマシムルモノニシテ國庫ニ莫大ノ剩餘アルハ人民ノ業務ヲ妨ク
 ル一元素トナルハシ
 關稅 余ハ關稅ノ目錄及ヒ取扱法ヲ改正セシコトヲ忠告ス取扱法改正ノ必要ハ一般ノ認ムル所ニ
 シテ其不便不利ヲ改ムルハ良策ヲ行フコト難キニアラザルヘシ我國ノ諸港ニ於テ評價ヲ一定スル
 頗ル夫切ナレハ爲ニ相當ノ處置ヲ行ハサル可カラズ關稅ノ新目錄ヲ用意スル事ハ全國ノ商賣ニ

影響ヲ及ホスノミナラス法律ニ依テ定ムヘキ物品ニ關シテ異論多ケレハ大ニ熟考スヘキ事ナリ國
 會ニテ此問題ヲ討論セハ恐ラクハ幾分カ民間ノ事業ヲ動搖セシムルナラント雖トモ改正ノ爲ニ我
 内國工業ノ正當ナル保護ヲ害セサル保證ヲ示サハ此一時ノ弊害ヲ救フヲ得ヘシ勿論關稅法ノ不公
 平ナル點ハ改ムヘシト雖トモ保護ノ主義ハ公平ニ我農商ニ適用スヘキモノナリ關稅ハ必ス歲入ノ
 外ニモ關係ヲ及ホスヘキモノニシテ内國ノ產物事業資金及ヒ我國ノ商賣上ノ獨立ニ關係ヲ有スレ
 ハ立法者ハ其眼界ヲ廣クシテ是等ノ點ニモ注目セサル可カラス而シテ免稅ハ我内國ノ產物ニ有害
 ノ競争ヲ與ヘサル物品ニ及ホスモ差支ヘナカルヘシ煙草ノ内國稅ハ關稅ノ歲入カ國費ヲ支辨スル
 ニ足ラサルヲ以テ課セシモノナレハ之ヲ廢スルヲ得ヘシ又若シ詐術ヲ防クノ準備ヲナサハ技術及
 ヒ製造用ニ供スル火酒ノ稅ヲ廢スルモ異論ナカルヘシ

流通金 大藏卿ノ統計案ニ從ヒテ千八百七十八年ヨリ今日マテ毎年流通スル諸種ノ金高ヲ見ルニ
 ト大切ニシテ其時期中ニ國立銀行紙幣ノ流通高ハ一億一千四百十萬九千七百二十九弗ヲ減シ内三
 千七百七十九萬九千二百二十九弗ハ昨年中ニ減シタルモノナリ又千八百七十八年三月一日ニ流通
 セシ各種ノ總金額ハ八億零々五百七十九萬三千八百零七弗ナリカ本年十月一日ノ流通高ハ十四
 億五千萬弗ニシテ金銀貨及ヒ金銀兌換券ノ流通高ヲ増セリ

銀貨鑄造 本年十一月十一日ニ於テ銀貨ノ鑄造總額ハ三億四千三百六十三萬八千零々二弗ニシテ
 内三億八千三百五十三萬九千五百三十一弗ハ國庫ニアリテ六千零々九萬八千四百八十弗ハ流通セ
 リ儲テ四百十二「セント」半ノ銀貨ヲ鑄造スル爲メ毎月二百萬弗ノ銀塊ヲ購求スルノ法律ハ大藏
 省ノ遵守スル所ナレトモ毎月四百萬弗ノ銀塊ヲ購求スルハ現大藏卿及前任者ハ贊成セザルモナ
 リ右法律ヲ千八百七十八年二月二十八日ニ制定セシ時ニ銀價市價云々「オンス」ニ附シテ「弗」ニシ
 ヲト「四」ニシテ「弗」ノ地銀九十二「セント」ナリモ爾後其價ハ「オンス」ニ附九十一「セント」ニ

ニ下落シ「弗」ノ地銀ハ七十「セント」六トナリタリ然ルニ過去數月間市價稍ヤ上進シ十一月ノ初
 ハ地銀七十二「セント」ニ上レリ銀貨ノ鑄造及ヒ使用ニ伴フ弊害ハ未タ現ハレズ尤モ貨幣ニシテ
 一般ニ使用セラレズシテ止テ得ス國庫ニ貯タルニ至レリト雖トモ是ハ兌換銀券ノ便利ヲ實證シ
 示スモノニシテ世人カ兌換銀券ヲ使用スルヲ見テ銀貨ノ信用アルヲ知ルヘシ而シテ商業上金銀兩
 貨カ同等ニ使用セラルハ事情ノ好キ爲メナレトモ是等ノ事情中ニハ法律ハ支配セサル商賣上ノ
 事情モアレハ其永續ヲ期スル能ハス若シ吾々カ今日ノ割合ヲ以テ銀貨ノ鑄造ヲ自由ニセハ金銀貨
 ノ地金ノ價ニ差違ヲ生シ鑄造ノ割合ヲ著シク増加スルニ至ルヘシ此ノ如キ結果ハ商業上及ヒ理財
 上ヨリ見ルモ弊害多ケレハ此事ニ關シ商賣上兩貨ノ平等ヲ得ル爲メ安全ナル法ヲ設クハ余カ常
 ニ銀貨主義ヲ主張スル一人ナリ我國ハ多量ノ銀塊ヲ產出スルヲ以テ之ヲ下落セシム可ラス大藏卿
 カ提出スル方案即チ市價ヲ有スル銀塊ヲ抵當トシテ兌換銀券ヲ發行スルノ方案ハ余カ未タ精査セ
 ザル所ニシテ此ノ如キ法律ノ細則ハ大ニ熟慮スヘキモノナレトモ大藏卿ノ提出スル方案ハ大體
 通貨トシテ銀貨ノ使用ヲ維持シ且ツ余ノ述ヘタル害ヲ防グニ足ルモノナラン余ハ他日此事ニ關シ
 テ國會ニ通知スヘシ

支那人ノ上陸 我西北境ニ於テ支那人放逐令ヲ實施スルコト極メテ困難ニシテグイクトリア港ヨ
 リ上陸スル支那人ハ我稅關吏ノ手ノ届カサルニ乘シテ我國内ニ進入スルコト容易ナリ大藏卿ハ支
 那人ノ入國ヲ嚴禁スル爲メ關稅吏ノ數ヲ増セリ而シテ其他放逐令ヲ實行スル手段ヲ運テハ
 加奈陀政府ハ上陸シタル支那人一人ニ附五十弗ノ入頭稅ヲ課シ我關稅吏カ國內ニ進入シ來ル是
 等ノ支那人ヲ追ヒ歸サントスルモ同政府ノ官吏ハ右ノ支那人ヲ再ヒ入頭稅ヲ拂ハサズトモ
 ラスンハ歸ルヲ許サハルヲ以テ我關稅吏モ太ニ其處置ニ究セリ此困難ヲ救フノ方法ヲ行ハサル可
 カラス

海豹ヲ捕獵 余ハ海豹其他ノ海獸ヲ捕獵スル事ニ關スル本年三月二日ノ法令第三十條ニ依テ要セ
 ラレタル布告ヲ本年三月廿一日ニ發シテ而シテ法令ヲ實行シ且ツ我國ノ利益ヲ保護スル爲メ巡
 同船ヲ派遣セリボイノントパーローニ於ケル避難所ノ設置ハ國會ノ指示セシ如ク充分ニ出來上リ
 海防 現今我國ハ實際海防ノ備ヘナシト云フヘキ有様ニシテ我砲臺等ノ過半ハ實用ニ適セス元來
 我國ノ海邊ニアル市府ハ外國ノ好意ノヨリニ依賴シテ攻撃ヲ受クルノ憂ナシト云フ可カラサレハ余
 ハ國會カ當期間ニ於テ防禦ノ備ナキ我港灣ヲ固ムルノ用意ヲサシコトヲ望ム
 國立銀行 政府ノ公債證書ヲ抵當トシ無利息ニテ國庫剩餘金ヲ銀行ニ貸附クルハ余ノ危險ナル方
 略ヲ考フル所ナリ之カ爲ニ銀行資本ハ不當ノ増加ヲナシ商業上ノ害ヲ避クルカ爲ニ次第ニ預ケ金
 ナ引出スモソアルニ至ルヘシ左レト是等ノ預ケ金ヲ有スル銀行ハ目下ノ好都合ノ續ク限リ大藏省
 ニ公債證書ヲ賣ルコトヲ目下銀行ハ實際公債證書ヨリモ亦營業上ヨリモ利益ヲ得ル都合ナリ今
 後此ノ方略ニ依テ剩餘金ヲ流通セシム可カラズ余ハ國會カ歲入ヲ減スル處置ヲ取ラザコトヲ望ム
 國防兵 陸軍卿カ毎年一定ノ期限間國防兵若干ヲ海岸ノ砲臺ニ派出シ銃砲ヲ操練ササセザシ
 スル方案ハ余ノ贊成スル所ナリ又同卿カ陸軍ノ砲兵ヲ増加セントスル方案モ亦國會ノ討論スル所
 ナリ
 河流及ヒ港灣 大切ナル河流及ヒ港灣ノ改良ハ舉行セサル可カラズ左レト政府ハ公益トナラサル
 事業ニ着手スヘカラサル點ニ注意スルヘシ
 保護ノ必要 本年八月カリタオトルニヤ州ヲスロトブニ於テテトトトナル者カ我合衆國高等法院判
 事フ井トトト氏ヲ攻撃シタレトモフ井トトト氏ヲ保護スルヘキ命ヲ受ケテ氏ニ隨行セシト官吏ノ爲
 メニ銃殺セラレタル事件ハ國會ノ注意ヲ促スニ足ルヘシ余ハ聯邦官吏保護ノ爲メノミナラズ我國

ノ裁判所ニ於テ此ノ如キ事件ヲ充分ニ審問スル爲メ一層明白ナル法律ヲ設ケシコトヲ望ム斯ク云
 ハトテ余ハ市民保護ノ爲メ設ケタル國法ノ條項ハ無効ナリト云テニアラス又官吏ニ保護ヲ與フ
 且ツ法律ヲ實行スルノ責ヲ負ヘル人々ノ好意少ナシト非難スルニモアラズ然レトモ官吏ヲ保護
 且ツ官吏カ職務上ナセシ事ヲ怒ミテ之ヲ攻撃スル者ヲ罰スルノ責任ハ地方官ニ任スヘカラズト云
 フゾ
 裁判上ノ改正 高等法院ニ於テ最終ノ審判ヲ要スル爲メ移サレタル訴訟ヲ一層速カニ處理スル方
 法ヲ設ケルノ必要ハ年々明白トナレリ余ハ考フル所ニテハ或ル種類ノ訴件ニ關シ最後ノ控訴裁判
 權ヲ有スル一種ノ裁判所ヲ設立スル方法ハ特ニ地方裁判官ノ贊成ヲ得タリ余ハ其細則ヲ討議セ
 茲テ此ノ如キ裁判所ヲ設立セシコトヲ望ム地方裁判所判事ノ俸給ハ不充分ナル地方多シ余ハ俸
 五千弗以下ノ判事ノ俸給ヲ同額ニマテ高メシコトヲ希望ス實際是等判事ノ俸給ハ業務ハ同一様
 ナラサレトモ彼等ハ歲入ノ乏シキカ爲メ傍ラ他ノ業ニ從事スルカ故ニ其ノ俸給ヲ増シテ獨立シ生
 活ヲ營マシムヘシ
 合資組合ノ監督 通常「トラスト」ト呼ハレタル合資組合ノ制限ハ如何ナル邊マテ聯邦ノ裁判權内
 ニ屬スルヤハ國會ノ注意スヘキ問題ナリ若此組合カ正當ノ競争者ヲ壓倒シ商品及ヒ一般ノ必需品
 ノ生産及ヒ販賣ヲ專有スルニ至ラハ公益ヲ害スルヲ以テ之ヲ禁止スヘシ
 萬國版權 余ノ前任者ハ屢々萬國版權所有ノ問題ニ關シテ國會ノ注意ヲ促セリ此ノ如キ法律ヲ制
 定スルハ得策ナルヘシ
 歸化法 我國ノ市民ヲラント欲スル人ノ性質及ヒ其人カ我政府ニ對スル好意ヲ一層明カニ檢査ス
 爲メ我歸化法ヲ改正セシコトヲ要ス此改正ヲナスニハ歸化ノ願書ヲ受納スル時期ヲ定メ且ツ檢
 査ノ際政府ノ代表者ヲ立會ハシメテ一層檢査ヲ嚴シスルニ若クハナシ然ルニ社會ノ秩序ヲ亂ス者

ニシテ我國ニ來リ我國法ニ抵觸スル黨ヲ結ラ者ハ我國ノ市民タラシム可カラズ
 破産法ニ我立法ノ永久ナル一部分ナルヘキ性質ヲ有スル國民破産法ノ制定ハ望シキ事ナリ左
 レト其方法ハ簡單ニシテ執行ノ際多費ナラサルヲ要ス
 郵便事務 驛遞總監ノ報告ハ本年度ニ取扱ヒタル本省ノ事務ヲ現ハスノミナラス郵便事務ノ改良
 及ヒ擴張ニ關シテ注意スヘキモノヲ有ス實ニ政府ノ事務中郵便事務ホト人民日常ノ生活ト密接ノ
 關係ヲ保ツモノナラシテ一時間タリトモ配達時間ヲ速カニスルハ人々ノ爲ニ大切ナルハ實際ニ照
 シテ明白ニシテ近頃桑港ト紐育間ノ郵便配達ニ一日ヲ省略スルニ至リシハ特筆スヘキ出來事ナリ
 目下本省ト市府郵便局ノ共用ニ供フヘキ建物ヲ設立スルノ必要アリ
 海軍 海軍卿ノ報告ニ從ヘハ海軍ノ實力ハ新軍艦ノ築造及ヒ裝置品ヲ改良シタル爲メ速ニ増加セ
 リト雖トモ海上ノ用ニ適スル軍艦ノ數ハ容易ニ増加セス去ル三月四日ノ調ハニ據レハ實用ニ適ス
 ヘキ軍艦三十七艘ヲ有シ其後四艘ノ軍艦ヲ新造シタルトモ之ト同時ニ損失又ハ廢棄シタルモノ四
 艘アリシヲ以テ其數ヲ増サス而シテ既ニ廿六艘ノ軍艦ヲ追加スル事ニ決シタルモ是等ノ軍艦
 悉皆出來上ル總數四十三艘ニシテ唯僅ニ五艘ヲ増スノミ何ソトナレハ木製ノ舊艦ハ新造艦ノ出
 來上ルト同時ニ廢棄セラルレハナリシモ戰爭ノ場合ニ臨マハ新艦ニ艘ハ舊艦ニ艘ト同一ノ用ヲ
 能トモ巡洋ノ際ニハ一艘ニシテ舊艦二艘ノ用ヲナス能ハス左レハ速ニ實用ニ適スル軍艦ヲ新造ス
 ルコト必要ナルヘシ余ハ甲鐵艦八艘砲艦三艘水雷船五艘ヲ新造セントスル陸軍卿ノ方案ヲ贊成ス
 ザモア島ニ於ケル不幸ニ去ル三月廿モア島ニ於テ我軍艦三艘暴風ノ難ニ逢ヒ士官四名水兵四十七
 人死亡シタリ獨逸軍艦三艘モ亦同様不幸ニ出會ヘリ我士官及ヒ水兵カ戰爭ヨリモ恐ルヘキ危難
 遭遇シテ命ヲ失ヒシハ實ニ悲哀スヘキ事ナレトモ同島ニ於テ我海軍ノ名譽ヲ失ハサリシハ喜ブヘ
 キ事ナリ

印度人 内務卿ノ報告ハ印度人種族ニ對スル我政府ノ處置ヲ現ハスモノニシテ同種族ノ學齡ノ小
 兒ヲ教育シ且ツ壯年者ニ土地ヲ分與スルノ處置ハ大ニ擧取リシカ早ク同種族トノ關係ヲ打破シ印
 度人チ一個獨立ノ人間トシテ取扱フノ政略ヲ立法止ニ現ハサリシハ實ニ惜ムヘキ事ニシテ彼等
 ヲシテ莫大ノ土地ヲ共有セシメ其會長ヲシテ依然權力ヲ握ラシメシメ爲メ一個獨立ノ氣象ヲ失ハ
 守シ且ツ無智ナル印度人ノ利益ヲ増進ヘキ處分ヲナサハル可カラス印度人ノ土地ハ現今白人ノ
 殖民地ヲ以テ圖アレタレハ吾々ハ最早彼等ヲ指導シテ獨立ノ市民ヲラシムヘキツミ左レハ第一着
 ニ壯年者ニ土地ヲ分與シ小兒ヲシテ是非トモ入學セシメサル可ラス
 シオキス印度人 前國會ハダコトニ於ケルシオキス印度人ノ所有スル土地ノ一部分ヲ合衆國ニ讓
 ラシメ且ツ其殘餘ヲ區分セシムル爲メ彼等ト談判スル事ニ關スル立法ヲ定メタリシカ兩法トモ三
 月二日ニ贊成セラレタリ其法ハ一ハ印度人ニ一種ノ申出ヲナシ他ハ大統領ニ談判委員指命ノ權ヲ
 任セタルモノニテ余ハ四月十六日フオスター、ワーナー、クロークノ三氏ヲ委員ニ任セタリシニ委
 員ハ遂ニ其目的ヲ果シタリト云ヘリ
 チエロキトノ出口 經度九十六度以西ニ横ハル土地ヲ所有シ又ハ要求スルチエロキト印度人及其
 他ノ印度人ニ向テ右ノ土地ヲ合衆國ニ讓ル事ヲ談判スル爲メフエーアチヤイルド、ハートランド
 ト、ウイソッソ、二氏ヲ委員ニ任セタリシカ二氏ハ去ル七月二十九日タールレシオト於テチエロ
 キトノ代表者ト始メテ談判ヲ試ミタレトモ其効ナク其後ハハートランド氏ハ病ニ罹リ遂ニ黃泉ノ
 客トナリシヲ以テセーレ氏ヲシテ之ニ代ラシメ委員ハ去ル十月六日チエロキト第二回ノ會議ヲ
 開キタルトモ未タ好結果ヲ奏セス又速ニ局ヲ結ブヘシトモ思ハレシ現今牧畜ノ目的ヲ以テ是レ等
 ノ土地ヲ占有スル家畜買占組合ハ我政府トチエロキトノ談判ヲ妨グル一原因ナリチエロキトノ

出口ト呼ル、廣大ノ農地ヲ牧畜ノ爲メ少數者ノ手ニテ使用セシム可カラズ而シテ我國ハ條約ニ依リ是等ノ土地ニ於テ或ル權利ヲ握レリト雖トモ強テ此權利ヲ用フ可カラザルモ左ノハトテ是等ノ土地ヲ占有スル者ヲシテ我政府ノ有益ナル目的ヲ破ラシメ難ク

オシラホマテリトリト 千八百八十八年一月十九日我政府ト印度人種族ノマスコギト人トノ間ニ結ビタル約束ニ從ヒテ凡ソ二百五十萬「エー」ノ土地ヲ得タリ殖民ニ適スル土地ハ百八十八萬七千七百九十六「エー」ナレトモ其周圍ハ印度人種ノ住スル土地ナルヲ以テ余ハ此地ニ住民ヲ移スチ好マサリシモ新ニ得タル土地ニ住スルノ見込ヲ以テ印度人地方ノ境ニ來ルモノ數千ノ多キニ及ヒ若シ因循セハ此等ノ人々ヲシテ損失ヲ受ケ困難ニ遭遇セシムルカ故ニ去ル三月二十三日一令ヲ布告シ其翌四月廿二日正午十二時ニ發布スル法律ニ從ヒ右ノ土地ヲ移住地トナスル旨ヲ告ケタリ最初移住民カ宅地ヲ爭フテ爲ニ血ヲ流スニ至ルヤモ計ラレストノ憂アリシモ幸ニシテ其事ナカリシ目下オクヲホマテリトハ人口凡ソ六萬ヲ有シ多クノ市府モ現ハレタリ余ハ國會カ速ニ右人民ノ爲ニ地方政府ヲ設ケンコトヲ望ム又目下種々ノ入込ミタル事件モアレハ速ニ之ヲ處辯センカ爲メ裁判所ヲ設立セサル可カラズ

アラスカカテリトリ アラスカニ於テ設立セラレタル諸市府ヲ市有地ヲ定メ市府ノ位置及ヒ市廳ノ設置ニ關シテ法律ヲ設ケシ礦山條例ノミ既ニ此テリトリニ施行セラレタレトモ土地所有ニ關スル他ノ規則ハ今日實行スル能ハス農業地ノ處分ニ關シテハ法律ヲ編成シタレトモ之ヲ當テルトモトニ行フハ利益ナルカ疑ハシ吾々ハ幸ニ印度人種ノ爲メ特別ノ居住地ヲアラスカニ設置セザリシカ故最初ヨリ一個獨立人トシテ印度人ヲ取扱フヲ得ルナリ左ノ土地公有法及ヒ材木漁獵ニ關スル規則ハ印度人ノ利益ヲ熟察シテ定ムル

土地法 土地法ノ取扱ニ就テハ正當ノ要求ヲナス移住人ヲ容易ニ公有地ニ移ラシムルノ政略ヲ行

アリ前政府ノ治世ニハ西部及西北部ニ起リタル多クノ事件ニ對シテ一時最終ノ處置ヲ施スコトヲ止メタルノミナラス其後非常ノ試驗法ヲ行ヒレヲ以テ未タ結局ヲ告ケサル事件少ナカラズ我宅地條例及ヒ土地先占條例ノ目的ハ誠實ノ意思ヲ以テ移住セント欲スル人ヲレテ公有地ニ移住セシムルニアリ左レハ其意思明白ニシテ法律ニ合フノ要求ヲナスモノアラハ之ヲ助ケヘケレトモ若シ志願者ハ小地主ヲ作り我法律ヲ破ラント企ツル人ノ代理者タルニ過キスレテ其内實ハ奸計ヲ以テ材木地及ヒ其他ノ地方ヲ占領セントスル者ナラハ速カニ之レヲ罰スヘシ

養老金 我法律ハ内亂ノ際軍ニ從フテ服役中其責任ヲ盡サントシテ受傷シ又ハ病ニ罹リテ今日尙ホ困難スル海陸軍人ニ養老金ヲ給與ス元來服役及ヒ疾病ノ二事ハ容易ニ證明スヘシト雖トモ其疾病ハ果シテ服役中ニ起リシモノナルカハ證明シ難キ場合多ク我カ大戰爭ニ從事シ困難ニ遭遇シタル者ニシテ實際服役中ニ起因セシ病ニ苦ムモ其證據ヲ求ムル能ハサルモノ多クハ吾々ノ疑ハサル所ナリ右ノ外ニ又三箇年間ノ現役ニ服シタル後尙ホ一年間服役シテ服役中ハ傷ヲ負ハズ病ニ罹ラズ戰爭シタレトモ戰亂平定後疾病等ノ爲メ困難スル人アリ余ハ養老金額ハ既ニ毎年莫大ヲ支出ス要スルヲ知レリ然レトモ余ハ國會カ内亂ノ際盡力シタル海軍人ノ不幸ニシテ自活スル能ハサル者ニ養老金ヲ與ヘシコトヲ望ム此ノ如キ人ヲシテ通常ノ貧人ト同様ニ地方ノ救恤金ヲ受ケシメ養老金ヲ與ヘサルハ國ノ不名譽トナルヘシ

新四州 南北兩ダコタ、モンタナ及ヒ華盛頓ノ四テリトリカ我憲法ニ從ヒ月ヲ同フテ聯邦ニ加ハリシノミナラス各々同時期ニ代議士ヲ國會ニ出スニ至リシハ實ニ先例ナキ事ナリ右新四州中其面積最モ小ナル華盛頓ハ我聯合四十二州中第十三番ニ位シ最モ大ナルモンタナハ第三番ニ位スル面積ヲ有セリ是等新州ノ人民ハ既ニ教育ヲ受ケ才智ニ富ミ且ツ愛國ノ念強キ市民ニシテ舊諸州ト利害感情ヲ一ニシ共ニ國家ノ名譽ヲ全フセント欲スルモノナリ

鐵道夫ノ保護 內國商業委員ハ國內ノ鐵道ニ從事スル人々特ニ制動機ヲ取扱フ人々ノ生命ヲ保護スル爲メ法則ヲ定ムルノ必要ヲ説ケリサテ鐵道事務ニ從事シテ制動機ヲ扱フ人々凡ソ一萬人ハ連署ノ上一通ノ歎願書ヲ右委員ノ許ニ送リテ自動制動機ヲ貨物車ニ使用スルノ處置ヲ取ラントテ望メリ昨年六月三十日ヲ以テ終ル年度間ニ鐵道夫ノ職務ノ爲ニ死去シタルモノ二千人以上ニ及ビ負傷シタル者ハ二萬餘人ナリ余ハ國會カ鐵道夫ヲ安全ナラシムル様ノ改良ヲ施サントテ希望ス此ノ如キ改革ハ一時ニ行ヒ得ヘキモノ有ラスシテ多クノ歲月ヲ要ス可ケレハ速ニ着手セサル可カラス元來必要ナル業務ニ從事スル我職人ヲシテ戰爭ノ際ニ於ケル兵士ノ如ク生命ヲ危クセシムルハ我文明ノ一缺點ナリ

農務省 去ル二月九日ノ條例ニ從ヒ農務省ヲ設立セシハ全國ノ農民ノ希望ニ應セシモノナリ然レトモ當省ノ組織ヲ完全ニシテ農民ノ期望ヲ達セシムル爲メ舉行スヘキ處置少ナカラス此事ニ就テハ農務卿ノ報告書中ニ國會ノ注意ヲ促ス點アリ他ノ行政省ニ於ケル如ク當省ニモ亦一ノ法律局ヲ設ケルノ必要明白トナレリ
信號事務 余ハ氣象事務ヲ陸軍省ヨリ分離セシメ農務省中ニ新ニ一周ヲ設ケテ其事務ヲ扱ハシメシコトヲ望ム之ニ依テ氣象局ト信號隊ハ全ク分離シ信號隊ノミ陸軍ニ屬スルニ至ルハ信號長官ノ報告ニ據レバ同隊ノ事務ハ衰微ノ方ナリ
博覽會 米國發見ノ四百年期ヲ祝スル爲メ我國ノ大市府中ニ萬國博覽會ヲ開クノ議ハ國會ノ熟慮ヲ要スヘシ此ノ如キ博覽會ノ價值ト利益トハ中央政府ノ獎勵ヲ要求スルニ足ルナラン
文官吏登用ノ試驗 去ル三月十六日ニ於テ我文官試驗委員ハ一名ノミナリシカ五月七日委員若干名ヲ任命シテ空席ヲ補ヒ爾後委員ハ精ヲ勵マシテ事務ニ從事セリ元來受験者及第表ハ官吏任用ノ要求ノ爲メ證書ヲ要スル時ノ外何人ニモ示サントモ秘密ハ疑ノ起ル原因ニシテ法律執行ノ際偏

頗ノ處置ヲナストノ非難ヲ受ケル譯ナリ抑モ秘密ナルモノハ人々之ヲ疑ヒ公開スルモノハ判斷ヲ下スヲ得ヘケレハ試驗委員一同ノ贊成ヲ得テ及第者ノ表ヲ公ニスルニ至レリ而シテ郵便局及關稅局ニ對スル及第者ノ表ヲモ各々其局ニテ公ニシ任命證書モ亦然リ文官登用法ノ精神ハ試驗ノ成績ヲ見テ處置スヘキモノナレハ試驗局モ登用官吏モ受験者ノ政事上ノ意見及ヒ黨派ノ關係等ニ就テ決シテ判斷スヘカラス余ノ前任者ハ去ル一月四日布告ヲ發シテ三月十五日ヨリ鐵道郵便官吏ニモ文官試驗法ヲ用フル旨ヲ告ケタリ試驗委員リ一人ライマン氏ハ三月十一日余ニ向ツテ五月一日前ニ及第者ノ表ヲ作ル能ハサレハ同日マテ布告ヲ實施スルコトヲ延期スベシト要求シケレバ余ハ之ヲ諾シテ其用意ヲナシタリ斯クテ試驗法ヲ改正シ鐵道郵便官吏ヲモ登用法ノ中ニ加ヘシヲ以テ委員ノ事務ハ大ニ増加シ目下ノ書記生ニテハ不充分ナレハ余ハ其數ヲ増サントテ望ム

教育 人民ノ教育ニ關シテハ屢々我卓識アル政事家ノ忠告ヲ受ケシハミナラス新州ニ於ケル教育ヲ扶助スル爲メ其地方ヨリ多クノ費用ヲ出スベシトノ議アリタリ從來教育費ハ地方ニテ分擔セシヲ以テ國會ニテ國民ノ教育獎勵ノ事ニ關シテ大議論起ラス余ハ地方分擔ノ法ヲ改メテ直接ニ國庫ヨリ支出スルヲ得策ト思ハス此ノ如キ國庫金ノ補助ハ或ル格別ノ場合ニ於テスヘシ南部諸州ニ於テ奴隸ノ解放是等ノ新市民ニ選舉權ヲ與ヘタル事及ヒ是等市民ノ爲ニ教育上ノ利益ヲ與ヘタル事等ハタメ其州中ノ財力ヲ損セシハ格別ノ場合ト云フヘキモノナレハ國庫金ヲ出シテ補助スヘキナリ黑人ハ我國ニ進入シ來リタル者ニアラス皆鐵鎖ニ繫カレテ此地ニ來リシ者ナリ左レト現今彼等ハ自由ノ身トナリ無智貧窮ノ極點ヨリ進メテ教育ヲ受ケテ財產ヲ得ルニ至レリ彼等ハ白人勢ノ力ニ導カレ一市民トシテ白人ニ對シ誠實友愛ノ情ヲ表セリ彼等ハ又勇氣及ヒ兵士ノ性質ニ富ミ能ク軍律ニ服ストノ譽レアル兵隊ヲ我陸軍ニ送レリ又彼等ハ彼等ノ從屬スル社會ノ勞役者トナリ其社會ヲシテ大ニ繁榮セシメ居レリ若シ俄ニ彼等ヲ取去ラハ生産ヲ止メ大ニ混雜ヲ生スヘシ

船舶ノ保護 其國ノ財力及ヒ海岸線ヲ見レハ海上ニ於テ我國ヲ壓倒スルノ理由ナシト思ハル、諸外國ノ爲ニ實際我國ノ海運業カ壓倒セラレ、ハ實ニ我國ノ不名譽ト云フヘシ然ルニ我國ノ海運業ハ常ニ諸國ニ劣リタルニ非ス又國民カ今日ノ有様ヲ永續スル者ナリト思ハサルハ余ノ信スル所ナリ余ハ此教書ニテ我海運業ノ衰微シタル原因及ヒ之ヲ回復スル爲ニ提出セラレタル方案ニ就テ論スル能ハサレハ唯二三ノ正確ナル事實ト立法ニ關スル忠告ヲ述フヘシソモ英佛獨西伊等諸國ノ商船ハ各々大ニ本國政府ノ補助ヲ蒙リ其業ヲ盛ナラシムルヲ得タレトモ我國ノ船舶ハ政府ノ保護金ヲ受ケスレテ他國ノ補助ヲ受ケ居ル船舶ト競争セシヲ以テ遂ニ敗北シ今尙ホ倒レサルモノモ頗ル不利益ノ有様ナルハ世人ノ知ル所ナリ今日ノ有様ニテハ紐育ト南米ノ諸都府トノ間ヲ往復スル旅客ト貨物ハ屢々リザアブル港ニ立チ寄レリ目下華盛頓府ニ開會中ナル米洲同盟會議ニ南亞米利加ヨリ出席セシ委員數名カ此迂回ナル航路ヲ取リシ事實モ亦又之ヲ證スルモノナリ余ハ我國ノ諸港ト中央及ヒ南米諸港支那日本及ヒ其他大洋中ノ要島間ヲ往來スル米國漁船ニ補助ヲ與ベンコトヲ望ム我國以南ノ米洲諸國ハ此事ヲ贊シテ助力スルナルヘシ

商船ノ改良 我商船ノ構造噸數及ヒ速力等ヲ改良レ一朝事起ルノ日之ヲ巡洋艦ニ轉用スルノ用意ヲナスコト必要ナリ英國ハ此方法ヲ採用シ事有ル時ハ世界ニ於テ最モ迅速ナル汽船數艘ヲ海軍用ニ供フヲ得ヘシ元來商船ヲ軍艦ニ轉用スルハ困難ノ事ニアラサルナリ

余カ以上述ヘタルモノハ我國ノ平和ト名譽ヲ高メ國民ノ繁榮ト安全ヲ増スモノナリ余ハ國會カ是等ノ方案及ヒ之ト同一ノ大目的ヲ以テ提出セラル、方案ヲ熟議センコトヲ切望ス

千八百八十九年十二月三日

ベンジヤミン・ハリソン

一千八百八十九年二月廿八日伊國國會開場式ニ於テ上下兩院議員ニ傳ヘラレタル同國皇帝ノ勅語

代議士及元老議員諸子

茲ニ經過シ來リタル國會年期(前開會ヨリ今回開會迄ヲ謂フ)ハ實ニ伊國ニ立法上ノ一大便益ナル成果ヲ與ヘタリ是皆諸子ノ功績ニシテ即チ國家カ諸子ニ對シ拜謝シテ止マサル所ナリ

我法律ノ統一事業ヲ完成シタル新刑法ヨリ夫ノ曾テ強盛ヲ極メタル我祖先ノ榮名トモナラヘキ町村自治ノ制度ヲ大ニ隆盛ニ向ハシメタル諸改正ニ至リ又一方ニハ軍事上ノ諸法ヨリ公共ノ保安衛生ニ關スル諸則ニ至ルマテ朕ノ政府カ諸子ニ附シテ議セシメタルモノハ諸子正ニ之ヲ承ケ總テ國家ノ保護安寧及國民ノ道德進歩ニ關スヘキ一層善良ナル法律ト爲シテ之ヲ政府ニ還附シタリ其ノ始メ斯ノ如ク美ナリ其ノ續ク所ヲ美ナラシムルコト何ノ難キコトカ之レアラゾ

朕ノ政府ハ諸子カ新ニ議決シタル諸法律ノ執行ニ著手シテ怠ラサルノ傍更ニ他ノ法案ヲ提出セシトス此ノ法案ハ即チ前案ノ結果ニシテ又其補充案ニ外ナラサルナリ

新刑法 ハ懲治上ノ改良ヲ要スヘシ其ノ改良タルヤ眼目トスル所ハ處罰ト懲戒トニ止マラス又又能ク感化ノ目的ニ出ツヘシ

慈惠院ノ制度ハ保安ニ關スル目的ト齊シク其ノ業實ニ廣大ナルカ故ニ必ス諸子ニ其ノ法案ヲ提出スヘシ蓋シ罪惡ノ萌芽ヲ出スヤ往々窮困ノ者ヨリ長ス是ヲ以テ之ヲ除クニ必ス其ノ芽ヲ絶タサルヘカラサルナリ貧民ガ苦難ニ陥ルヘキノ患禍ヲ退治セシカタメ我祖先ハ我ニ財貨ヲ蓄積セシメ又能ク財貨ヲ遺シタリ然レトモ救恤ノ法常ニ目的ト相合ハス目的ハ又時勢ニ適セズシテ今日ニ至レリ然レハ則チ慈惠ノ事業ヲ復興シテ之ヲ近世ノ需求ニ應セシメ而シテ能ク純一ナル目的ニ向ハシ

ムヘキハ一ニ諸子ノ任務ニ在リ
 諸子ハ移住ノ法律ヲ議定シ隨意移轉ノ人民ヲ保護シテ他人カ詐欺ヲ行フコトヲ防ケリ
 又將ニ諸子ノ討議ニ附セントスル内地開拓ノ法律ヲ以テ目下移住者カ外國ニ求ムルノ土地ヨリモ
 必ス利益ノ多カルヘキ土地ヲ近ク我伊太利ニ於テ供給スルヲ謀ルヘシ
 右事業ニシテ能ク成ルヲ得ハ疾病無職業給金不足ノ三問題ノ如キ不幸ノ難題ハ漸次緩和ニ歸スル
 ニ至ルヘシ
 然レトモ今吾人カ治療ヲ加フヘキ所ノモノハ獨リ有形ノ貧苦ニ止マラス須ラク一層ノ不幸ヲ覺ユ
 ヘキ無形ノ病モ治セサルヘカラサルナリ夫レ普通教育ハ諸子ノ力ニヨリ各邑ニ効驗ヲ得タレハ隨
 テ教員ニ一大安全ナル廣袤ノ地位ヲ與フルニ至ルヘシ中等教育ノ事ニ至リテハ著々改良ヲ加ヘ又
 其ノ保存ヲ相謀リ各州ニ利益ヲ平分シ其ノ組織ハ常ニ國民ノ性質ニ適セシメ以テ堅固ナル自由教
 育ニ歸セシメサルヘカラサルナリ
 法律ノ執行ヲ完全ナラシム且ツ清廉ノ國政ヲ見ルニハ公務ニ從事スル國民ヲシテ將來ノ安堵ヲ保
 障シメサルヘカラス故ニ有益ナル裁判構成法ヲ改正ヲ行ヒ法官ノ品位獨立ヲシテ益安固ナラシム
 隨テ國家ト官吏トノ間ニ存スル權利ト義務トヲ明定シ官吏ヲシテ其ノ進退ハ一ニ法律ニ依ルヘキ
 コトヲ知ラシムルハ實ニ必要ノ事タルヘシ
 州邑ノ制度ヲ改定シテ次ニ國家ノ希望ニ應ジ更ニ改革スヘキノ一項ハ即チ裁判事務ノ構成ナリト
 ス通常裁判所ノ管轄權限ハ千八百六十五年ノ法律ヲ以テ制定セラレタルヲ以テ行政權ニ屬スルモ
 ノ亦許多ナリ然リト雖モ爾來ノ經驗ニヨリ是等ハ必ス一名ノ裁判官ニ附スヘキ事ヲ證シタリ故ニ
 以來ハ必ス裁判官ニ屬スルニ至ルヘシ
 今諸子カ從事スル所ノ立法事務ハ巧ニ平和ヲ持續スト雖モ軍備ナキノ平和ハ誠ニ頼ムヘカラズ軍

備ハ國家ノ統一ヲ堅クシ併テ獨立ヲ安固ナラシム故ニ一朝若シ朕ノ政府カ苟モ陸海ノ軍備ニ力ヲ
 竭スコトナカラシカ是即チ政府ハ國家ニ對スル背戾者タランノモ
 財政上ノ狀況ニ就キテハ務テ經費ヲ節減セシムルニアリ土木ト軍事上ノ組織ニ關シテ既ニ決定セ
 シ契約ノ外ハ更ニ新約ヲ結ハサラシムヘシ然リト雖モ國家ノ歳出歳入ノ平均ヲ保持スルノ必要ニ
 至リテハ朕ノ政府ヲ信任シテ諸子ノ協力ヲ仰ク處ナリ斯ノ如キノ協力ハ愛國心ノ盛ナル伊國人民
 カ未タ嘗テ肯セサリシコトアラサルナリ
 然レニ我ニ非常ノ需求生シテ國民ニ出費ヲ仰クノ場合到來セハ朕カ政府ハ公共ノ繁榮ヲ擴張スヘ
 キ方法ヲ設ケテ其資力ヲ回復スルヲ怠ラサルヘシ故ニ政府ハ商工ノ業務ヲ便利ナラシメ貨幣ノ流
 通ヲ安固ナラシメンカタメ紙幣發行制度ノ再定ヲ諸子ノ討議ニ附セシムヘシ
 元老議員及代議士諸子
 堅ク法律ヲ遵守シ此ヨリ生スル自由ノ享有ヲ愈々全カラシムルニ至ルハ我立憲制度ノ鞏固德澤ノ
 致ス所タルコト益々明確ナリ我國力ハ我同盟國ニ由リテ愈々増加シ來レリ爲ニ伊國ハ續テ天下ニ
 一ノ平和ヲ俟ツニ至レリ
 朕向キニ「ローマーニシテ」及ヒ其他ノ諸州ヲ巡遊セシ時朕ハ更ニ人民ノ親愛ト其誠衷ヲ盡スノ徵證
 ヲ得タリ實ニ到ル處ノ人民唯一ノ意思ニ富ミ共和親ナルコト全ク朕カ意思ト同一ニシテ所謂愛國
 ノ一心アルノミ
 又伊國ニ巡遊シテ羅馬ニ來リ朕ヲシテ朕ノ伊國巡遊中ニ於ケルト同一ノ歡喜ヲ感セシモノアリ
 リ即チ此巡遊ニヨリ獨逸帝國及同皇帝ト伊國人民及朕トノ間ニ成立スル交誼ヲシテ愈々親密ナラ
 シメタルノ効幾干ソヤ此ノ交誼タル伊國ハ勿論他各國ノ大ニ熱望スル所謂平和ヲ維持スルノ擔保
 ナリ蓋シ平和ハ國民ノ幸福ト文明ノ進歩トニ缺クヘカラサル必要ナルモノナリ能ク平和ヲ維持シ

テ侵サレサルハ朕カ誓ヒテ疑ハサル所ナリ

千八百八十五年一月十九日瑞典國議院開場式舉行ニ附皇帝演說

諸君

卿等重大ナル國事ノ爲メニ人民ノ信用ヲ得テ選舉セラレ今其國事ヲ議セシト參集セラレタルヲ賀ス
朕幸ニ茲ニ卿等ニ報道スルヲ得ル者ハ卿等去年ノ集會ヲ了セシ後朕カ家ニ於テ第二孫ヲ舉ケタル
ノ件ナリ

我聯邦外國諸方トノ交際ハ歡好舊ニ依ル

日耳曼帝國政府ハ佛蘭西共和國政府ト與ニ我伯林府ノ會議ニ招ケリ此ノ會議ハ即チ西亞非利加ノ
諸大川ニ於テ貿易及航行ノ自由ヲ保護スルニ便宜ノ方法ヲ協議スルヲ爲メノ者ニシテ朕其ノ招ニ
應セリ

國務日ニ其ノ數ヲ増ス乃チ之ヲ朕カ政府ノ職員ニ不當セザルヲ得ス故ニ朕將サニ憲法ニ更正ヲ加
ヘ以テ農商工務省ヲ新立セシコトヲ卿等ニ勸メントス

立法上許多ノ議案卿等ノ衆議ニ附スルキアリ又右ニ等シキ緊要ノ案件尙調理ノ途ニアル者アリ就
中去年法制委員ノ調整セル所ニ係ル裁判改正案ヲ以テ第一項トス此ノ議題ハ極メテ重大ナル其所
取ノ決當サニ以テ國ノ法度ニ深キ關係ヲ來タスヘシ乃チ調査ヲ嚴正ナラシムルハカラサル所以ナリ
故ニ朕特ニ大ニ委員ヲ命シ以テ此ノ新法案ノ基礎ヲ調理セシムルニ決セリ

吾護國軍備改正ノ事タル從來阻碍ヲ見ルト雖トモ護國力ヲ具備セシムルノ念ハ我敢テ之ヲ斷ッ

能ハズ此ノ目途ヲ達セシテスルノ手段ニ就キ之ヲ言ヘハ尙今日ノ兵制ヲ基礎トシ之ヲ存スルモ曾
テ制定セルカ如キ不可免兵役ノ制ヲ整理スルヲ以テ第一策トス陸軍竝ニ海軍ニ於テ出費ノ止ムヘ
カラサル者アリ殊ニ海軍ニ於テ水雷用具ヲ増補セントスルヲ以テ其等ノ費用ニ充ンカ爲メ卿等ニ
就テ資金ヲ要請スルコトアルヘシ

今卿等ニ呈出スル所ノ豫算表ハ卿等各種ノ案ニ同意セラレハキヲ期シテ調整セシ者ニテ卿等其ノ
案中ニ於テ地租竝ニ地方ニ駐屯スル騎歩兵ヲ養フカ爲メニスル賦種各三割ヲ減スヘキヲ見ルヘシ
又朕更ニ卿等ニ勸メントスル者アリ即チ噸稅ト名ツケ航海船舶ニ課スル一種ノ稅ヲモ右相當ノ
割ヲ以テ減スルニ在リ國庫ノ費用新稅ヲ要セス又現行租稅ヲ増スヲ要セス

我國ニ於テ未度スルカンヂナズ博覽會ヲ舉アリシ以來殆ト將サニ二十年大ラントス今製造家及工業
家近々如此博覽會アルヲ望ム者其數少ナシトセス我工業家隣國ト相競フヤ其ノ利多ク競争ハ以テ
我工業上將來ノ進歩ヲ期スルニ足ルヘキハ朕信シテ疑ハズ故ニ千八百八十六年スカンヂナフ工業
博覽會ヲ斯德克恒府ニ開シカ爲メ投票シテ資本ヲ定メシコトヲ卿等ニ要求スヘシ

卿等去年ノ集會ニ於テ臨時豫算ニ加フル小學教師俸給假增ノ事ヲ以テセリ朕今此ノ加俸ヲシテ確
定ノ性質ヲラシメシコトヲ卿等ニ望メントス是レ彼ノ教師退職ノ權ヲ改良スルノ基礎トシコト
ヲ欲スルニ由ル

宗教ノ改革ハ久シカラスシテ瑞典國民ノ教育ニ於テ其ノ功績ヲ現セリ宗旨ノ改革ヲ主張セシ者
ハ即チ其ノ保護者ニ外ナラサリキ今ヨリ數年ヲ出テ夫ノウブサラ大僧會ノ著名ナル議決ノ
三百年期ニ屆ルヘシ何ソ僧會員屢次集合神佑ヲ仰キシ彼ノ寺觀ヲ修メ昔日ノ美麗ヲ復シテ以テ右
僧侶ノ紀念ヲ奉セサル此ノ頃有志者此ノ著キ事業ニ對シ自望釀金ノ舉アリ卿等其ノ感ヲ同フセ
ラルヘキハ朕深ク之ヲ信ス即チ右寺觀修復ノ爲メ已ニ今回ノ集會ニ於テ朕卿等ノ助力ヲ請フコト

アラントス
諸君

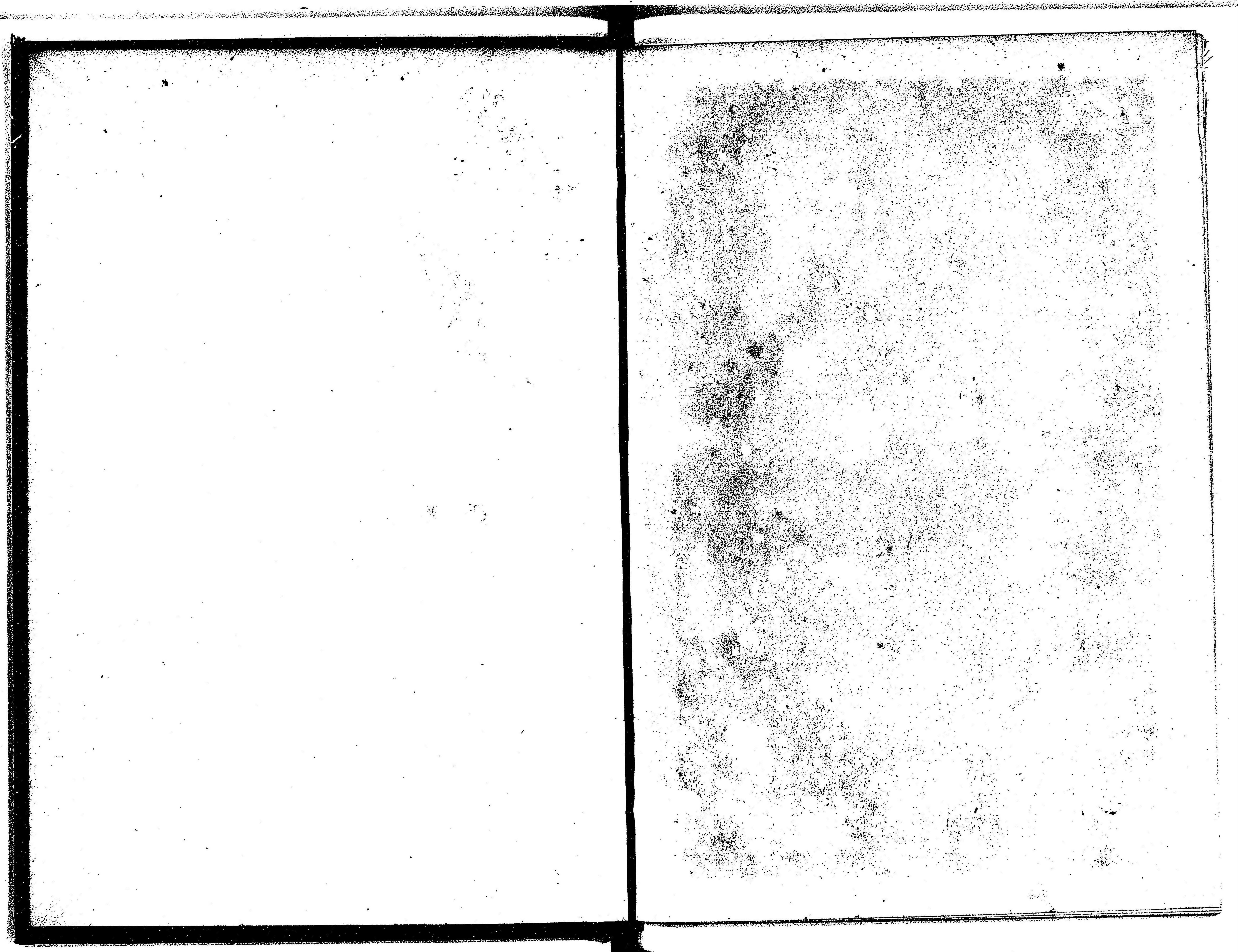
今卿等ノ爲メニ神佑ヲ仰キ以テ開會ヲ告ク併セテ朕カ卿等ニ對スル好厚ノ意ヲ表ス

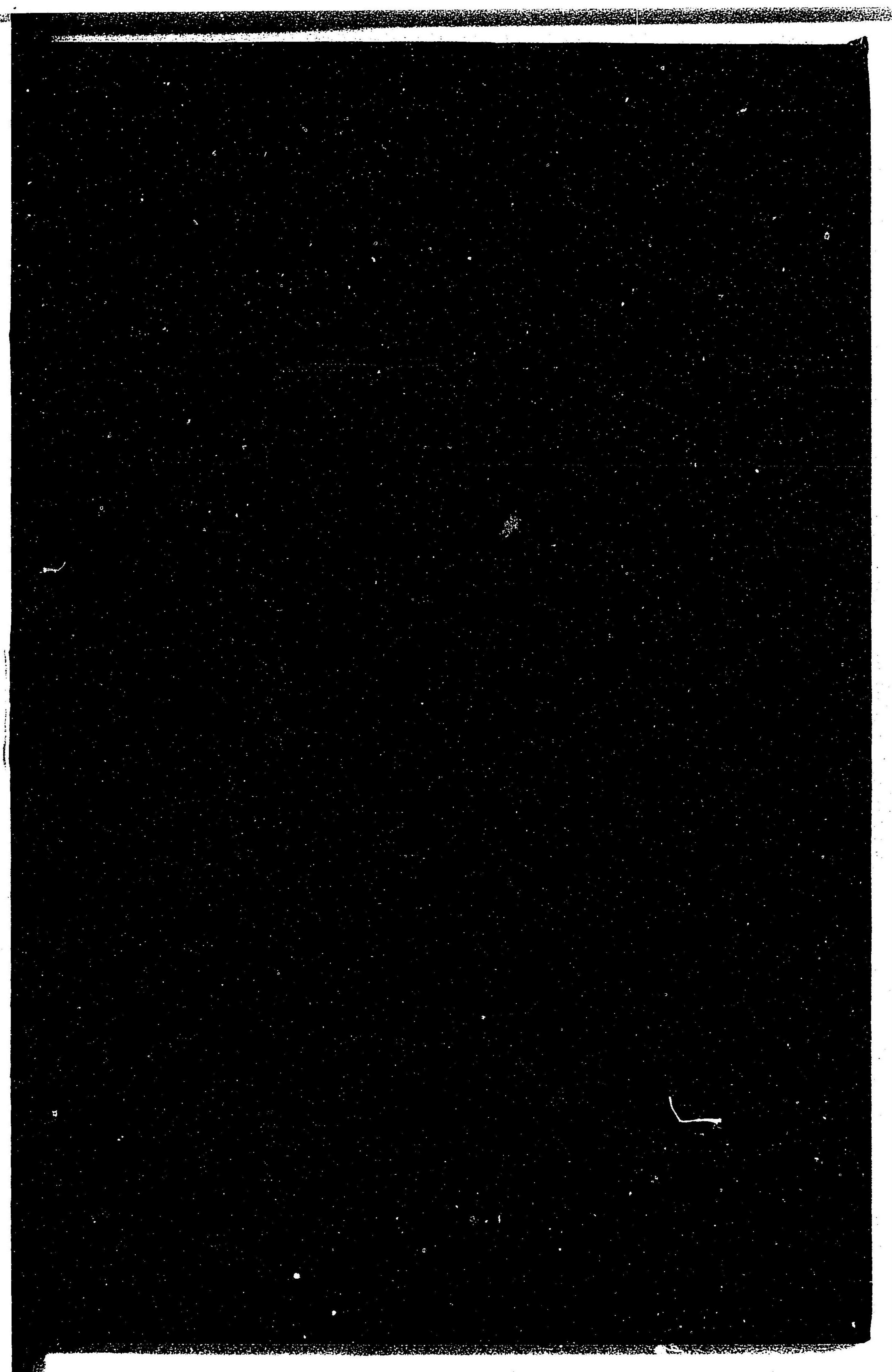
千八百八十八年九月十八日和蘭國議院ノ開場式ニ同國皇帝臨場ナキニ附總理大臣男爵
マツカイ氏敕ヲ奉シ代理演說ス

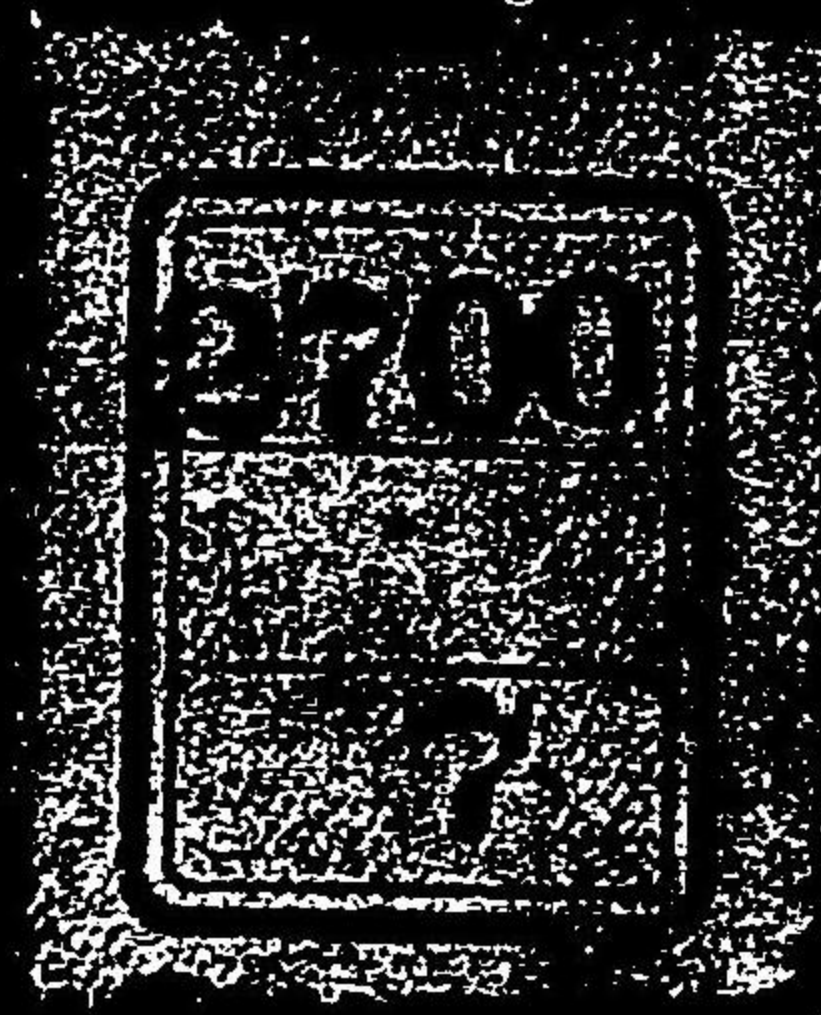
常蘭國ト諸外國ノ關係ハ最モ友誼平和ノ位地ニ在リ不順ノ氣候ニ因リ收穫ニ良果ナシト雖モ牧畜
充足ノ景況ナリ商工及海上運搬ノ各事業ハ幾何カ再興ノ兆候アリシモ尙未ダ振起ニ至ラス又各
地方ニ於テ勞働者ノ同盟罷工ニヨリ時々騷擾アリシモ地方官ノ有効ナル施政ニ依リ鎮定スルヲ得
タリ政府ノ財政ハ都合悪キニシテ萬緒節儉ヲ爲セテ更ニ歳入ノ増加ヲ要セス憲法改正及ヒ教育
ニ關スル法規ノ改正竝若干都府ヲ數個ノ選舉區ニ分開スルニ附テハ數多ノ法律案ヲ提出ス可シ近
頃各國トノ會議ニ依リ砂糖輸出獎勵金廢止ノ約案ハ己ニ常蘭國委員ニ於テ記名セリ若シ此約案議
院ノ同意ヲ得テ實施スルニ至レハ從來ノ砂糖稅ニ關シ新法案ヲ提出スヘシ海軍擴張ノ爲メニハ
目下嚴重ノ施政必要ナレハ不日提出スベキ豫算表中ニ於テ同費額ヲ算入セラルヘシ許多ノ原因ヨ
リシヤロ島ニ於テ數回ノ騷亂起リタレトモ印度殖民地(蘭領)政府ノ施政ト印度軍ノ功勞トニヨリ
平和ニ回復セリズマトラ島北部ヲ印度諸酋長ハ稍シ我ト講和ヲ傾アレハ其關係モ平和ニ至ルヘシ
アチトニ在ル軍隊中ノ流行病モ幸ニ蔓延セザリヤ但衛生及軍略ノ兩點ヨリ今後ノ政策如何ニ關シ
タル問題ニ附テハ既ニ皇帝陛下ノ委員ヲ設ケラレタリ

2700
7

5736







028563-000-0

特70-467

国会ニ対スル勅諭及教書集

臨時帝国議会議務局

M23

BAB-0234

